

**古賀市市民意識調査  
報告書**

**令和 5(2023)年 1 月  
古賀市**



# ◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査主体と調査実施機関	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 住まいの小学校区	3
(4) 家族構成	3
(5) 職業	4
(6) 勤め先の業種	4
(7) 古賀市での居住年数	5
(8) 現在の居住形態	5
(9) 移住の有無	6
(10) 通勤・通学の有無	6
(11) 通勤・通学先	7
(12) 通勤・通学の交通手段	8
(13) 日用品や食料品等の買物先	9
(14) 日用品や食料品等の買物の交通手段	10
(15) 衣料品や家電等の買物先	11
(16) 衣料品や家電等の買物の交通手段	12
2. 古賀市での暮らし・まちづくり	13
(1) 市の施策に対する満足度	13
(2) 市の施策で重要だと思うこと（上位5項目選択）	18
(3) 市の施策の満足度×重要度プロットによる施策評価（参考）	22
(4) 地域の将来像	24
(5) 移住者を受け入れることに関する考え	26
(6) 移住者を歓迎する理由	27
3. 古賀市の地域活動・情報・防災	28
(1) 地域活動への参加状況	28
(2) 参加している、または参加したい地域活動の種別	29
(3) 地域活動に参加しない理由	31
(4) 自治会への加入有無	33
(5) 自治会に加入しない理由	34
(6) 外国籍市民等との関わり	36
(7) 市の広報誌を読んでいるか	37
(8) 市の広報誌でよく読むページ	38
(9) 市の広報誌を読まない理由	38
(10) 広報誌以外で市の情報を取得する手段	39
(11) 災害に備えてしている対策	40
4. 古賀市の住みやすさ	42
(1) 古賀市の住みやすさ	42
(2) 住みやすい理由	44
(3) 住みにくい理由	46

(4) 古賀市への居住意向	48
(5) 他の場所に移りたい理由	50
(6) 現在の居住地を選ぶ際に重視したこと	53
(7) 居住地域として古賀市を勧めたいか	55
5. 結婚・子育て	57
(1) 婚姻状況	57
(2) 希望する子どもの数	58
(3) 希望する子どもの数よりも実際の子どもの数が少ない理由	59
(4) 古賀市で子育てをしたいか	61
(5) 古賀市で子育てをしたい理由	63
(6) 古賀市で子育てをしたいと思わない理由	65
(7) 行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援	67
6. 仕事	71
(1) 仕事環境の満足度	71
(2) 将来的な転職・離職意向	72
(3) 転職・離職を考える理由	72
(4) 今後充実して欲しい雇用対策	73
(5) 古賀市での暮らしや仕事	74
7. 転入者の状況（直近5年間の転入者）	76
(1) 転入前の住まい	76
(2) 転入前の居住地での居住年数	76
(3) 転入前の居住形態	77
(4) 主な転入の理由	77
(5) 古賀市以外の検討候補の有無	78
(6) 古賀市の行政サービスの確認	78
(7) 今回の転入以前での古賀市内での居住有無	79

### Ⅲ. 総括 ----- 80

1. 全体	80
(1) 回答者の属性	80
(2) 古賀市での暮らし・まちづくり	80
(3) 古賀市の地域活動・情報・防災	80
(4) 古賀市の住みやすさ	81
(5) 結婚・子育て	81
(6) 仕事	81
2. 校区	82
(1) 回答者の属性	82
(2) 古賀市での暮らし・まちづくり	82
(3) 古賀市の地域活動・情報・防災	82
(4) 古賀市の住みやすさ	83
(5) 仕事	83
3. 子育て世代（20代～30代）	83
(1) 古賀市での暮らし・まちづくり	83
(2) 古賀市の地域活動・情報・防災	84
(3) 古賀市の住みやすさ	84
(4) 結婚・子育て	84
4. 直近5年間の転入者	85

### Ⅳ. 資料編 ----- 86



# 1. 調査概要

## 1. 調査目的

古賀市では「第5次古賀市総合計画（令和4年度～）」の初年度にあたって、古賀市での暮らしやまちづくりの現状・課題を把握し、今後のまちづくりの方向性や地方創生にかかわる取組を検討するために、市民アンケート調査を実施した。

## 2. 調査設計

古賀市 まちづくりに関する市民アンケート

- (1) 調査地域 古賀市
- (2) 調査対象者 古賀市在住の18歳以上男女（無作為抽出）
- (3) 調査対象者数 3,000人
- (4) 有効回収数 1,460サンプル（郵送：1,099サンプル WEB：361サンプル）
- (5) 有効回収率 48.7%
- (6) 調査方法 郵送配布、郵送またはWEB回答
- (7) 調査時期 令和4年10月26日～令和4年11月14日

## 3. 調査主体と調査実施機関

調査主体：古賀市役所 総務部 経営戦略課

調査実施機関：株式会社サーベイリサーチセンター九州事務所

### 【調査結果利用上の注意】

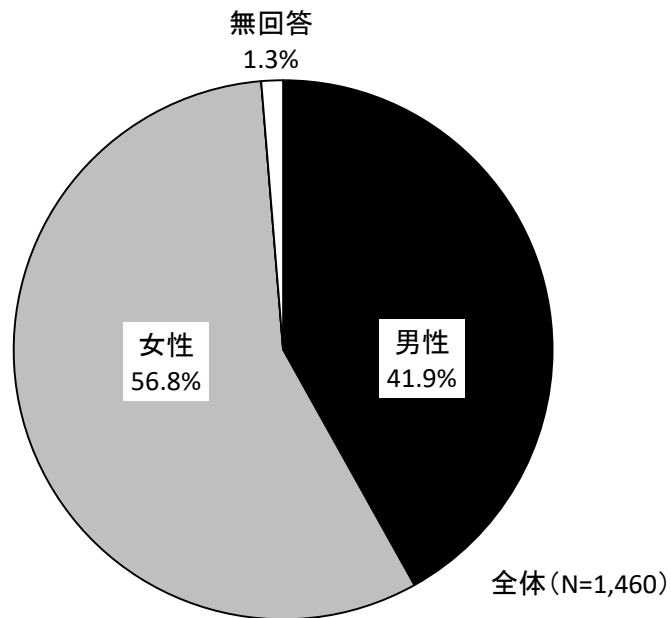
- (1) 図表に示すnは、比率計算上の基数（標本数）である。
- (2) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (3) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (4) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (5) 属性別の分析において、サンプル数（標本数）が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合や傾向をみる程度に留める場合がある。

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 回答者の属性

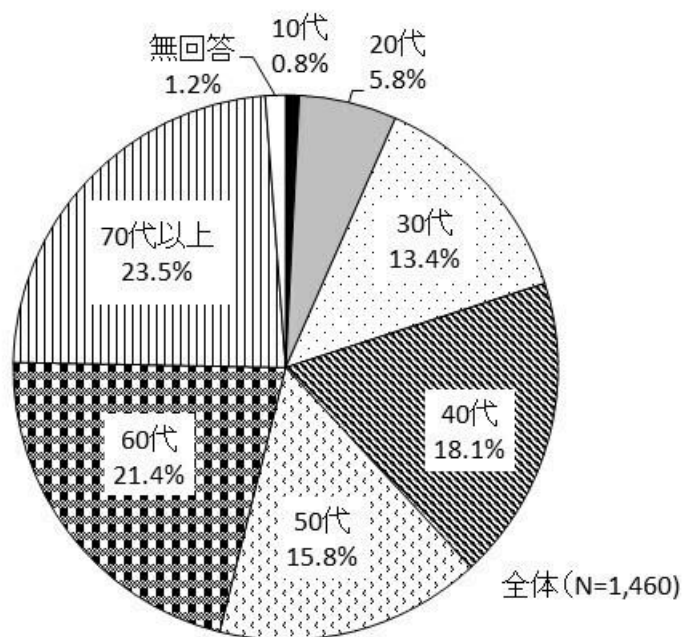
#### (1) 性別

性別をみると、女性が約 6 割、男性が約 4 割と女性の回答者の方が多い。



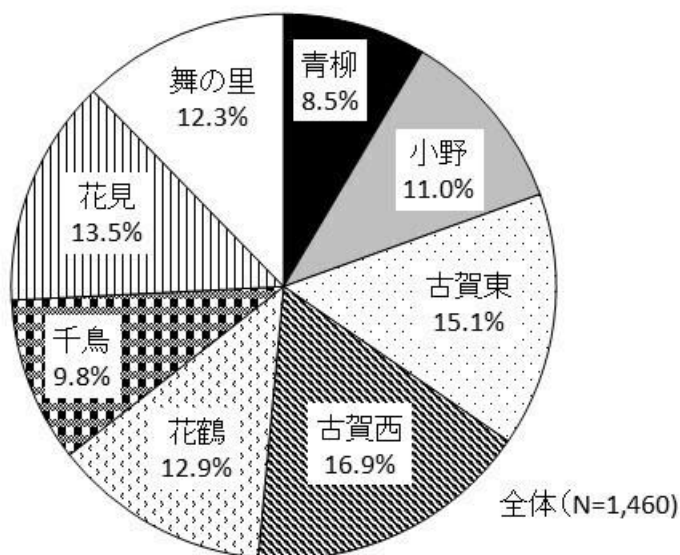
#### (2) 年齢

年齢をみると、「70 代以上」(23.5%) が最も多く、次いで「60 代」(21.4%)、「40 代」(18.1%) となっており、60 歳以上の回答者が約 4 割を占めている。



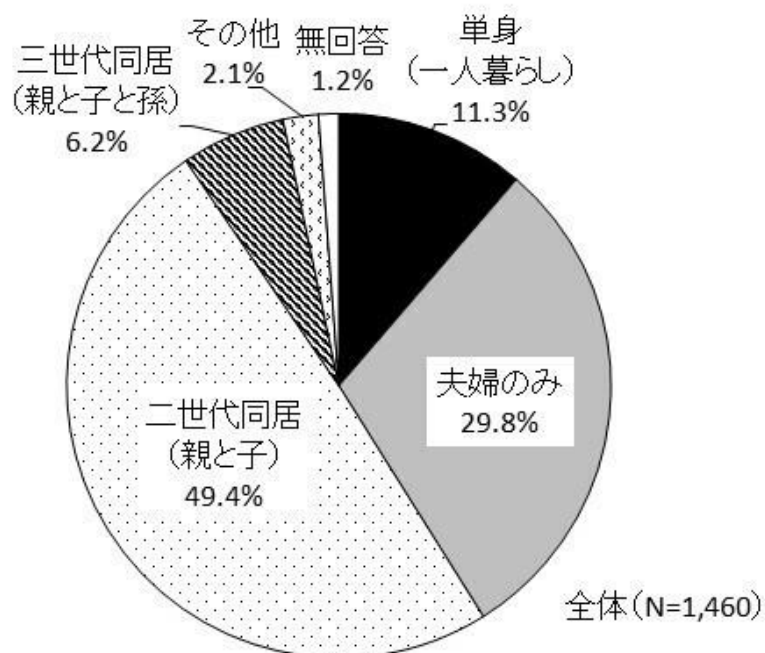
## (3) 住まいの小学校区

住まいの小学校区をみると、「古賀西」(16.9%)が最も多く、次いで「古賀東」(15.1%)、「花見」(13.5%)となっている。



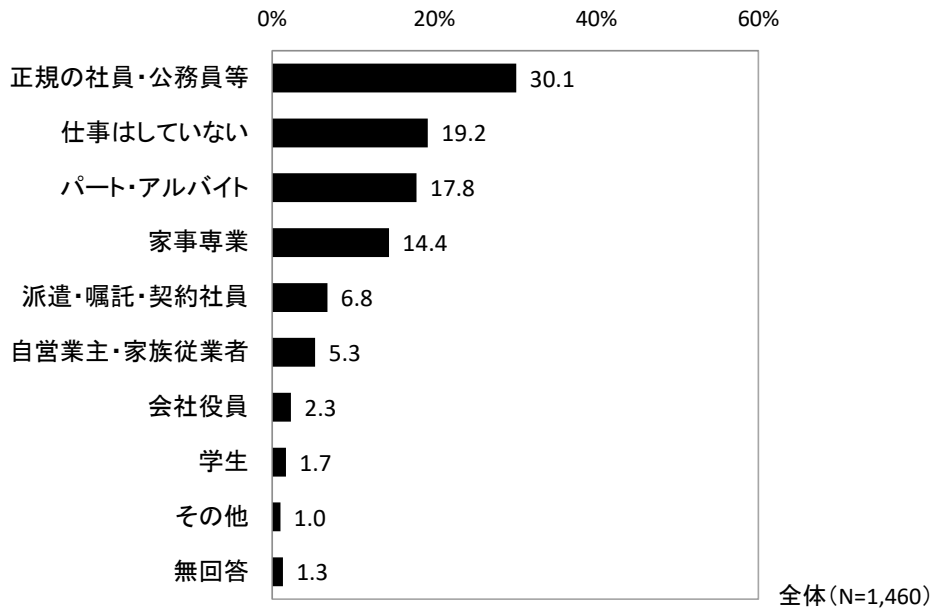
## (4) 家族構成

家族構成をみると、「二世世代同居(親と子)」(49.4%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(29.8%)、「単身(一人暮らし)」(11.3%)となっている。



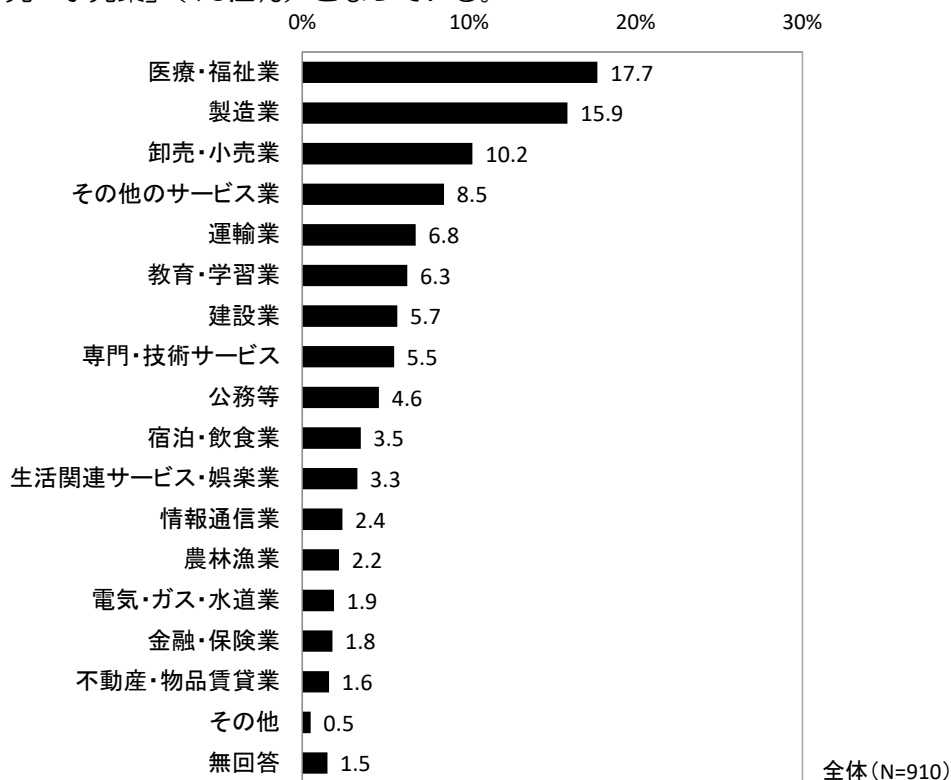
(5) 職業

職業をみると、「正規の社員・公務員等」(30.1%)が最も多く、次いで「仕事はしていない」(19.2%)、「パート・アルバイト」(17.8%)となっている。



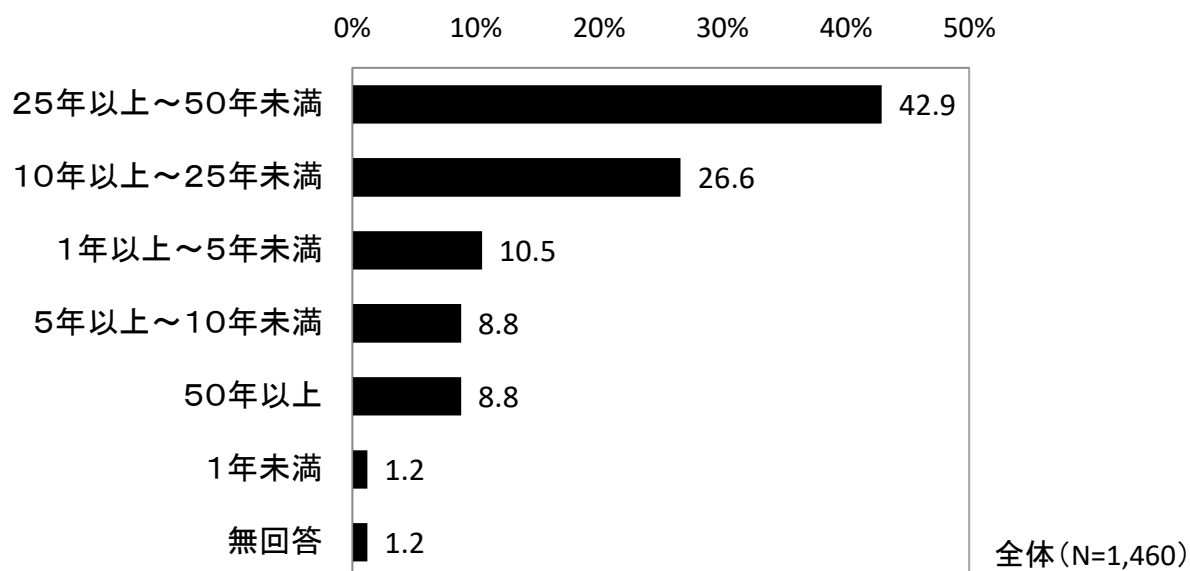
(6) 勤め先の業種

勤め先の業種をみると、「医療・福祉業」(17.7%)が最も多く、次いで「製造業」(15.9%)、「卸売・小売業」(10.2%)となっている。



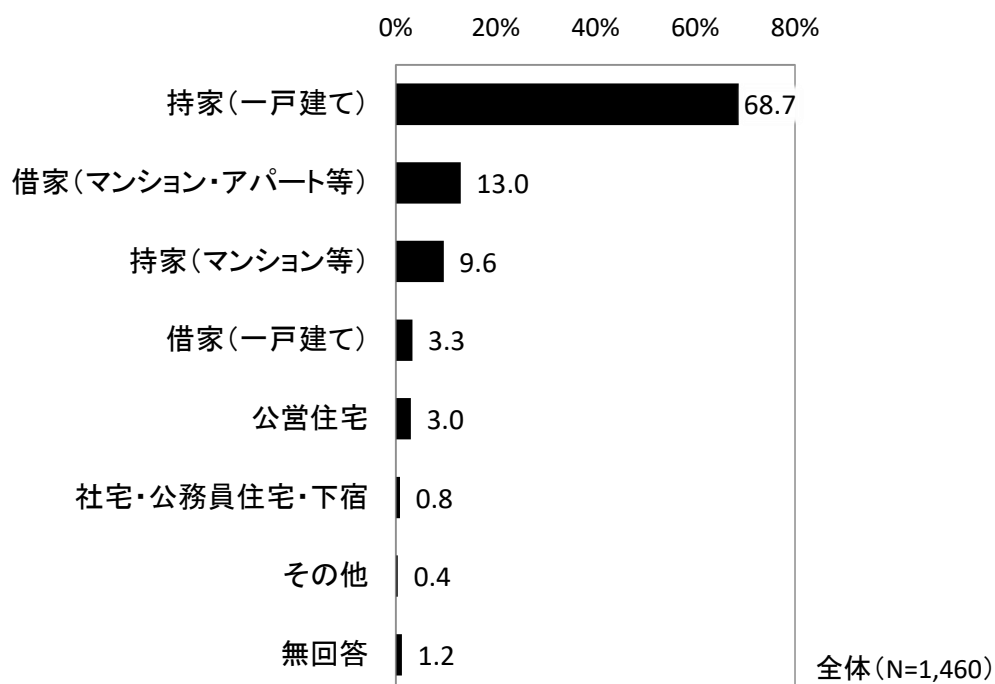
## (7) 古賀市での居住年数

古賀市での居住年数をみると、「25年以上～50年未満」(42.9%)が最も多く、次いで「10年以上～25年未満」(26.6%)、「1年以上～5年未満」(10.5%)となっている。



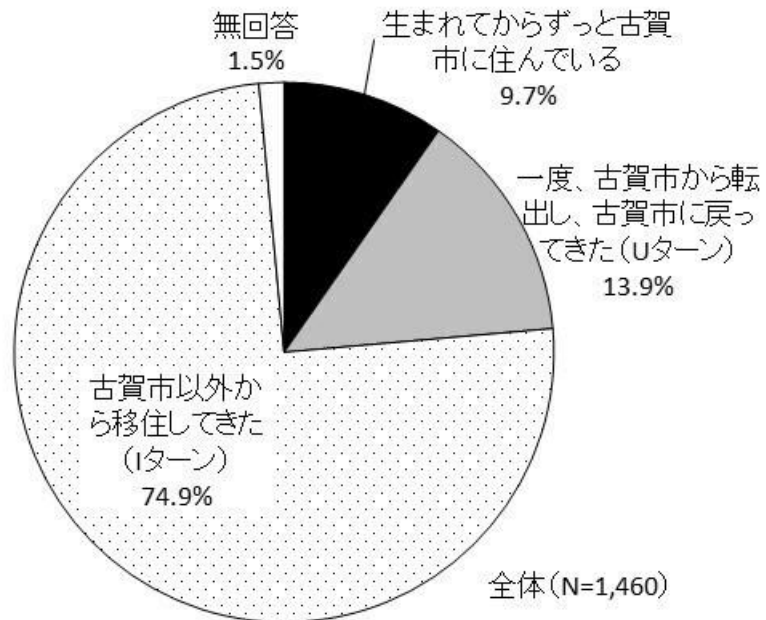
## (8) 現在の居住形態

現在の居住形態をみると、「持家（一戸建て）」(68.7%)が最も多く、次いで「借家（マンション・アパート等）」(13.3%)、「持家（マンション等）」(9.6%)となっている。



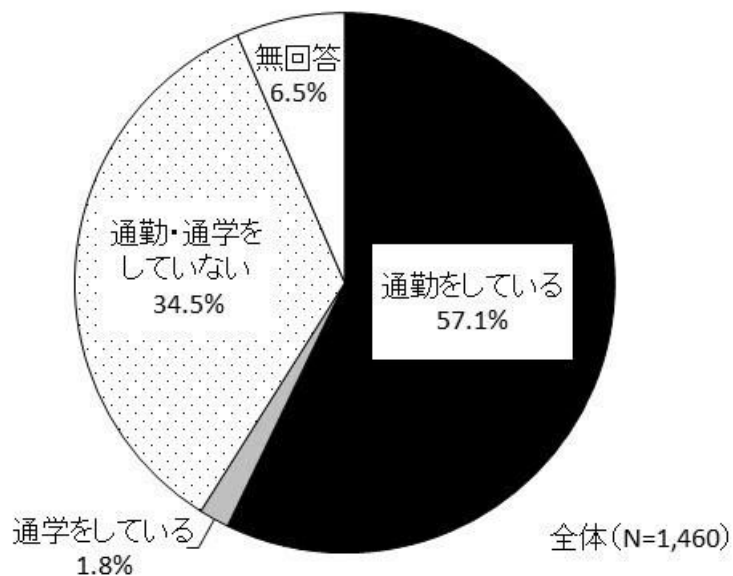
(9) 移住の有無

移住の有無をみると、「古賀市以外から移住してきた (Iターン)」(74.9%) が最も多く、次いで「一度、古賀市から転出し、古賀市に戻ってきた (Uターン)」(13.9%)、「生まれてからずっと古賀市に住んでいる」(9.7%) となっている。



(10) 通勤・通学の有無

通勤・通学の有無をみると、「通勤をしている」(57.1%) が最も多く、次いで「通勤・通学をしていない」(34.5%)、「通学をしている」(1.8%) となっている。

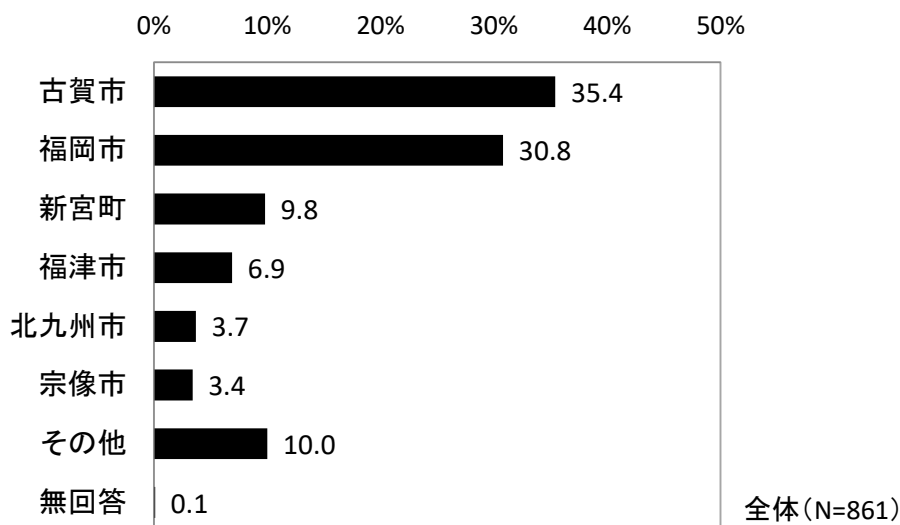


(11) 通勤・通学先

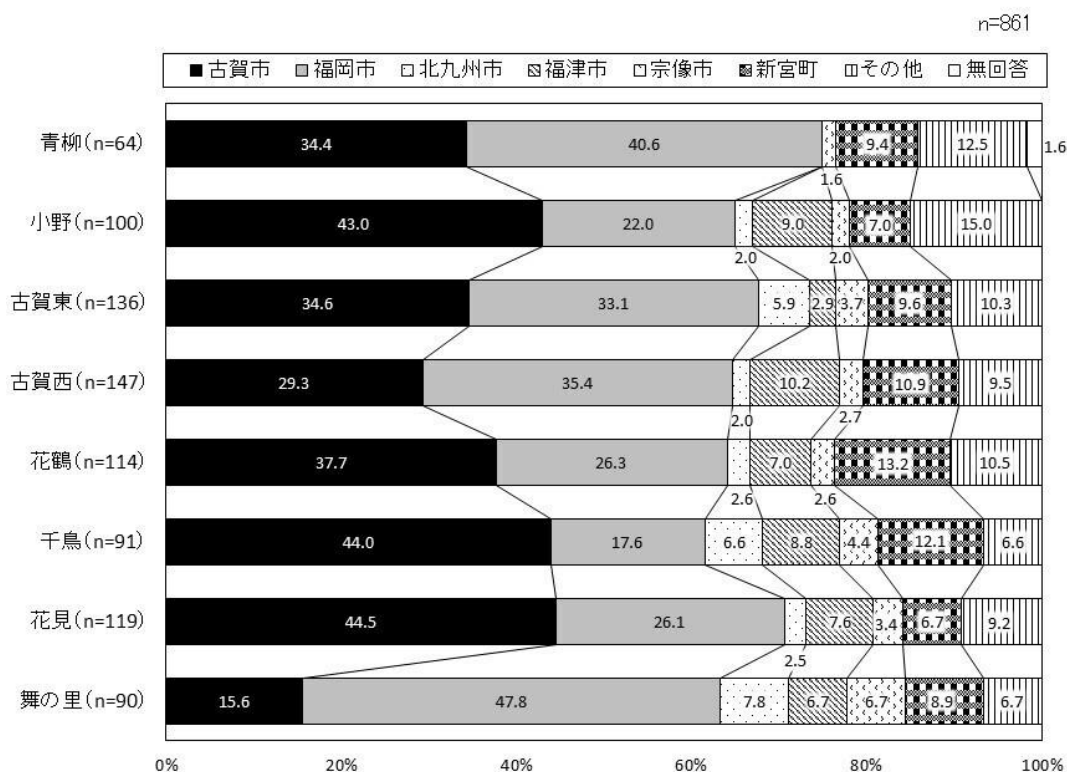
通勤・通学先をみると、「古賀市」(35.4%)が最も多く、次いで「福岡市」(30.8%)、「新宮町」(9.8%)となっている。古賀市と福岡市で約7割を占めている。

校区別にみると、「古賀市」の割合が最も高いのは花見小学校区で(44.5%)、最も少ないのは舞の里小学校区(15.6%)となっている。ただし花見小学校区における「古賀市」は44.5%、千鳥小学校区における「古賀市」は44.0%、小野小学校区における「古賀市」は43.0%と僅差になっている。

【全体】



【校区別】



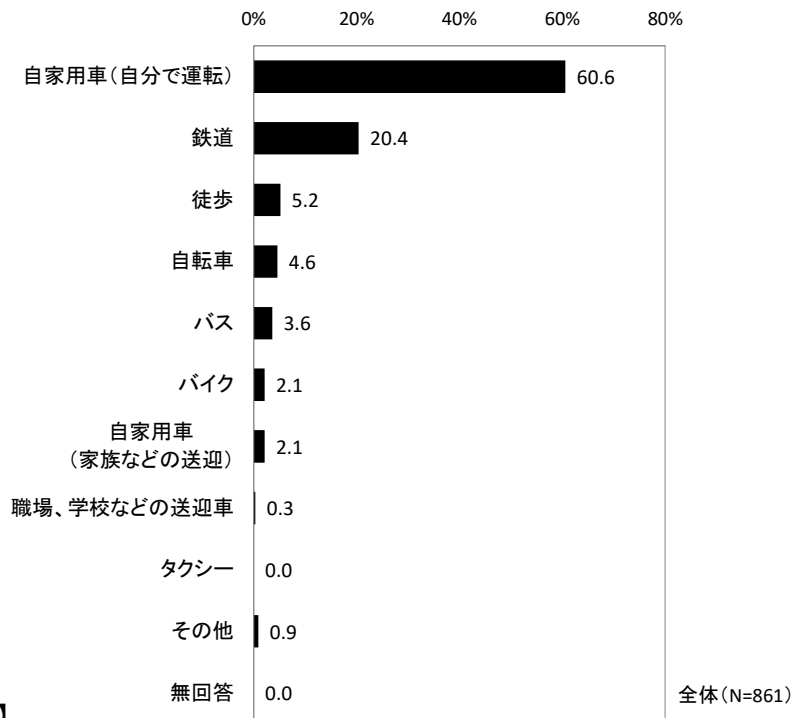


(12) 通勤・通学の交通手段

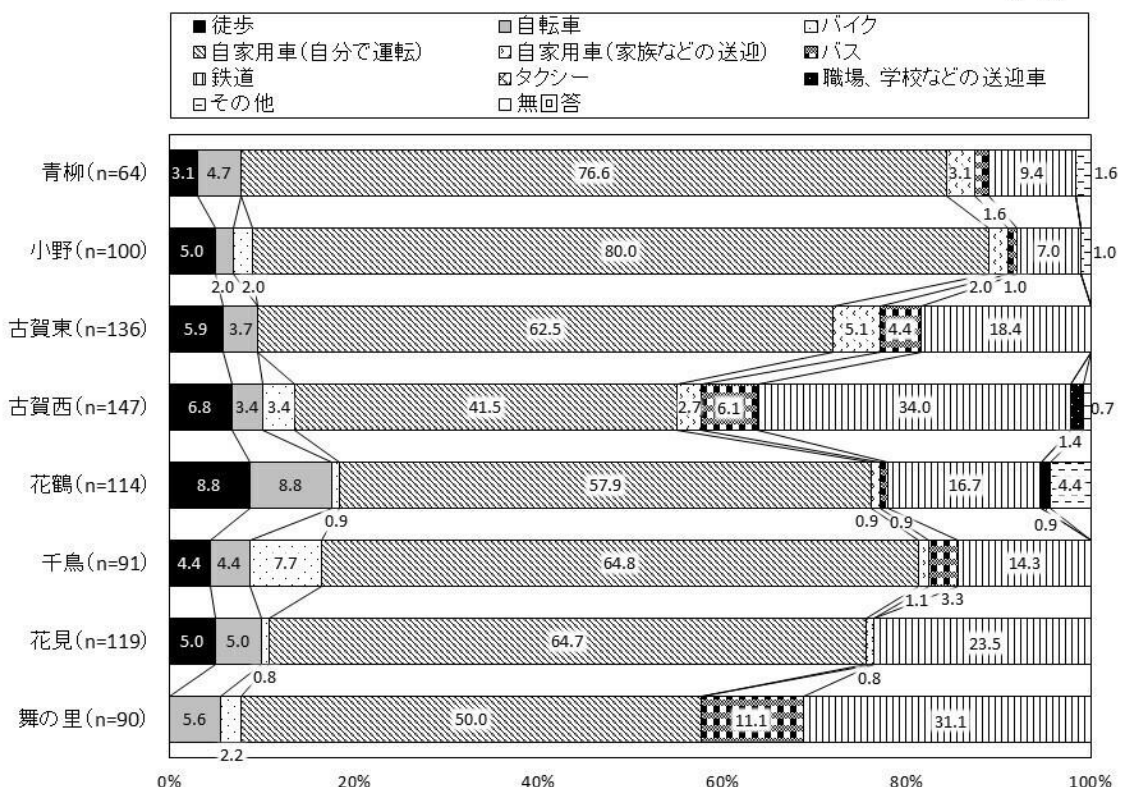
通勤・通学の交通手段をみると、「自家用車（自分で運転）」（60.6%）が最も多く、次いで「鉄道」（20.4%）、「徒歩」（5.2%）となっている。

校区別にみると、小野小学校区と青柳小学校区で「自家用車（自分で運転）」が約8割と多い一方、古賀西小学校区は約4割と少なくなっている。また、「自家用車（自分で運転）」の割合が低い古賀西小学校区、舞の里小学校区では「鉄道」が約3割、「バス」が約1割と他の校区よりも高くなっている。

【全体】



【校区別】



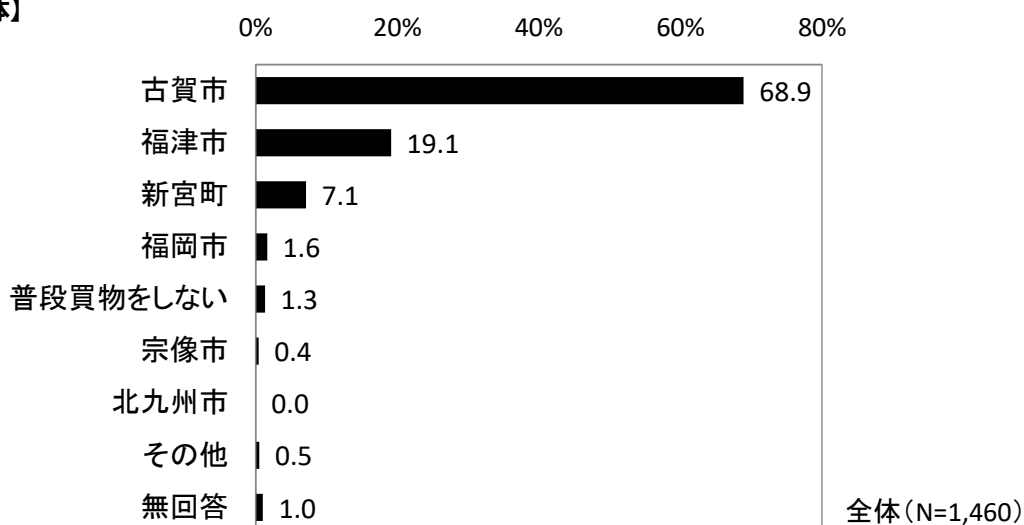


(13) 日用品や食料品等の買物先

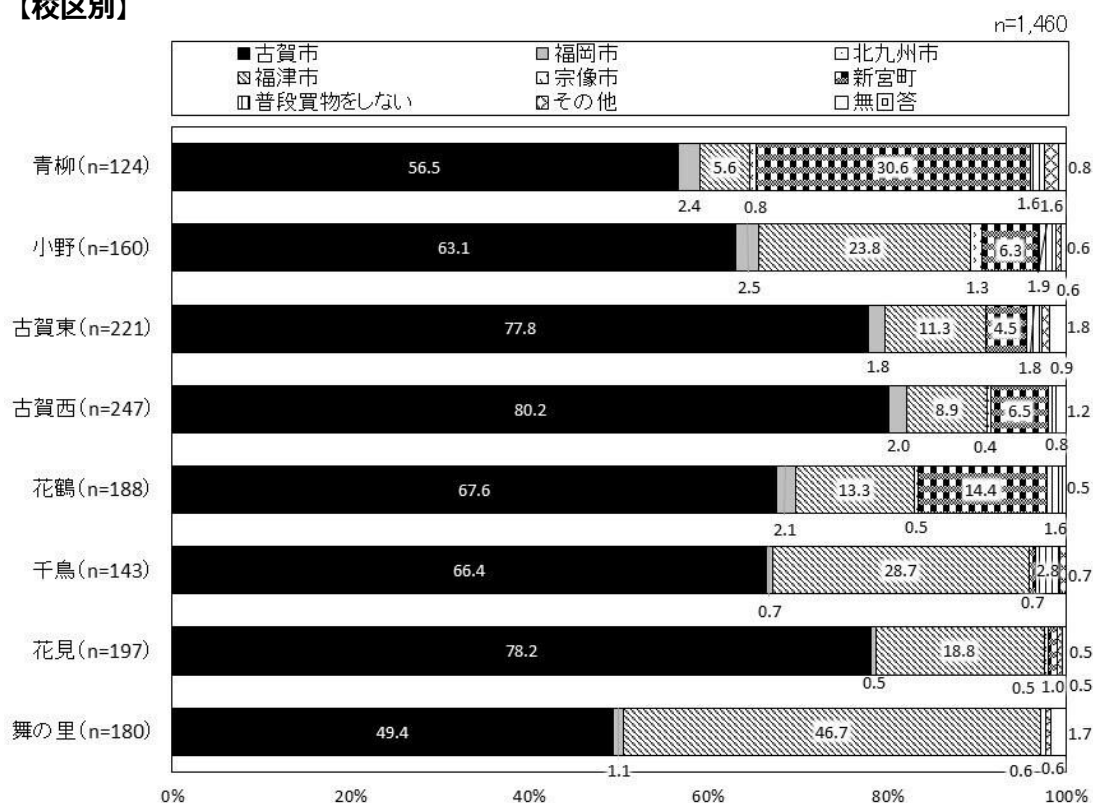
日用品や食料品の主な買物先をみると、「古賀市」(68.9%)が最も多く、次いで「福津市」(19.1%)、「新宮町」(7.1%)となっている。

校区別にみると、古賀東小学校区、古賀西小学校区、花見小学校区で「古賀市」が約8割と多い一方、舞の里小学校区は約5割と少なくなっている。また他の校区に比べて、青柳小学校区では「新宮町」が約3割、小野小学校区、千鳥小学校区、花見小学校区、舞の里小学校区では「福津市」が約2~5割と多くなっている。特に舞の里小学校区では「古賀市」と「福津市」がおおよそ5割ずつを占めており、特に多い。

【全体】



【校区別】

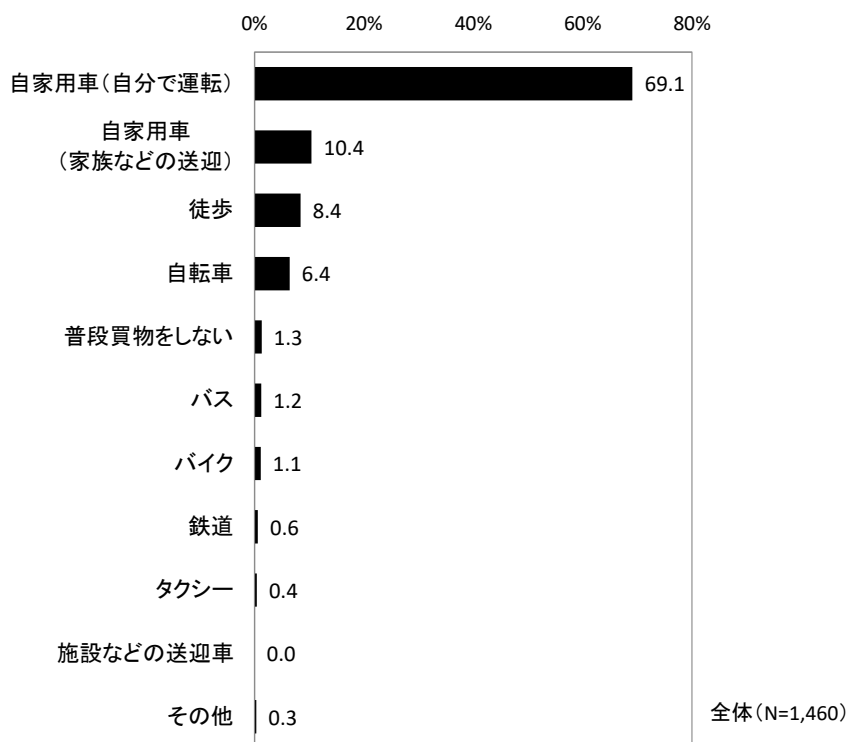


(14) 日用品や食料品等の買物の交通手段

日用品や食料品の主な買物の交通手段をみると、「自家用車（自分で運転）」（69.1%）が最も多く、次いで「自家用車（家族などの送迎）」（10.4%）、「徒歩」（8.4%）」となっている。

校区別にみると、全ての校区で「自家用車（自分で運転）」が最も多い。ただし、他の地域に比べると古賀西小学校区では「自家用車（自分で運転）」が約5割と少なくなっている一方、「徒歩」が約2割と多くなっている。

【全体】



【校区別】

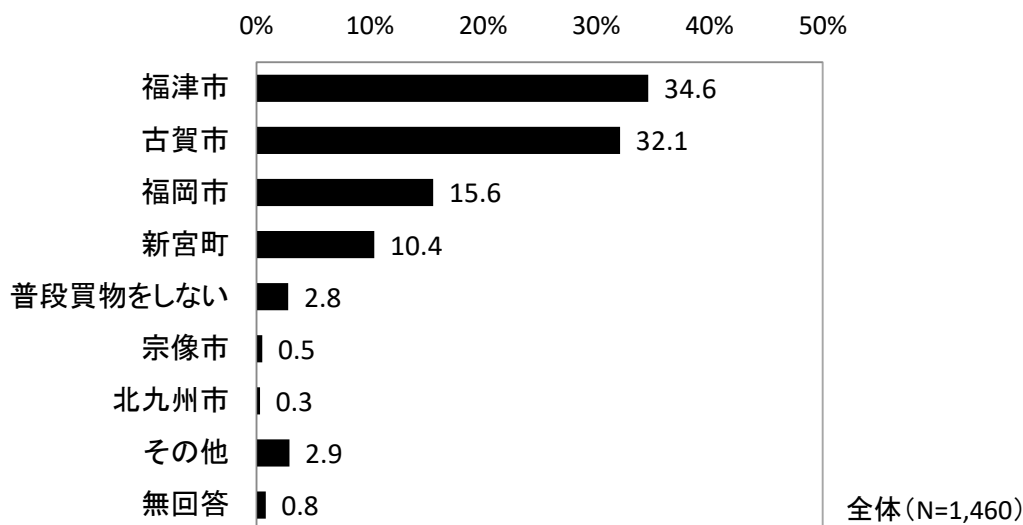


(15) 衣料品や家電等の買物先

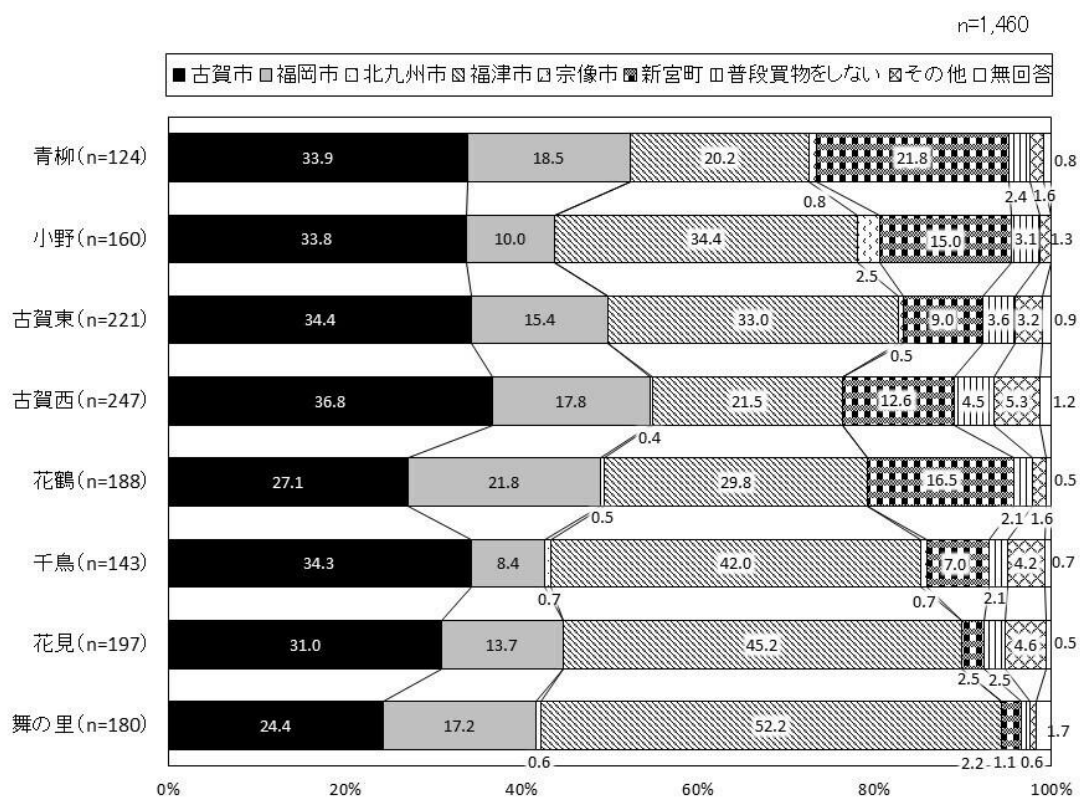
衣料品や家電等の主な買物先をみると、「福津市」(34.6%)が最も多く、次いで「古賀市」(32.1%)、「福岡市」(15.6%)となっている。

校区別にみると、他の地域に比べて千鳥小学校区、花見小学校区、舞の里小学校区では「福津市」が約4~5割、青柳小学校区、小野小学校区では「新宮町」が約2割、花鶴小学校区では「福岡市」「新宮町」が約2割と多くなっている。

【全体】



【校区別】

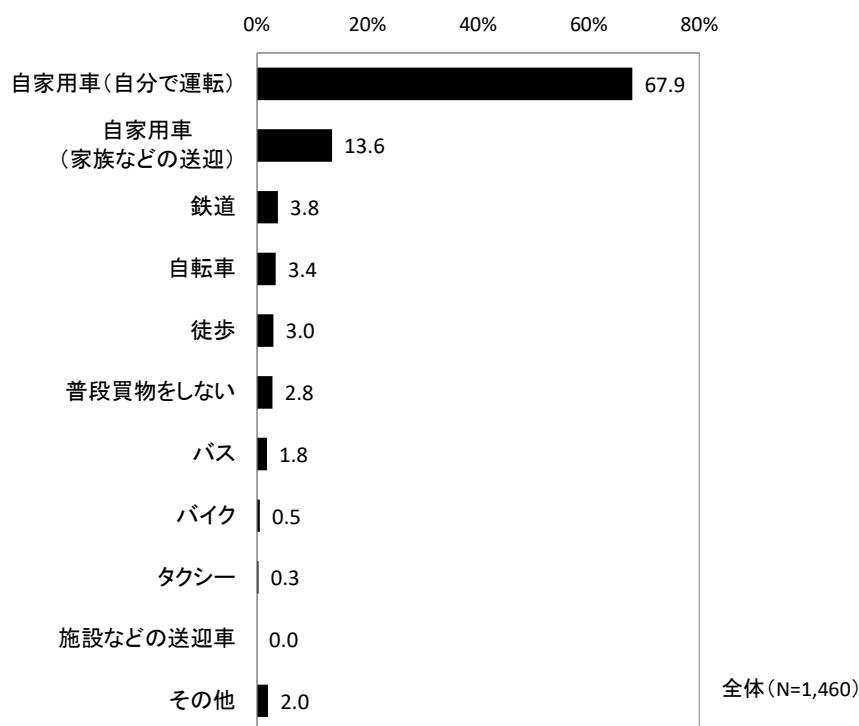


(16) 衣料品や家電等の買物の交通手段

衣料品や家電等の主な買物の交通手段をみると、「自家用車（自分で運転）」（67.9%）が最も多く、次いで「自家用車（家族などの送迎）」（13.6%）、「鉄道」（3.8%）となっている。

校区別にみると、全ての校区で「自家用車（自分で運転）」が最も多い。ただし、他の地域に比べると古賀西小学校区では「自家用車（自分で運転）」が約6割と少なくなっている一方、「徒歩」が約1割と多くなっている。

【全体】



【校区別】





## 2. 古賀市での暮らし・まちづくり

### (1) 市の施策に対する満足度

古賀市の施策満足度(※)についてみると、「20. 消防・救急体制が整っている」(1位)、「19. 生活排水などの処理が適正に行われている」(2位)、「18. 水道を安心して使うことができる」(3位)、「24. 地域の医療・保健体制が整っている」(4位)となっており、基本的な生活基盤に関する項目の満足度が上位を占めている。

一方、不満度は「3. 中心市街地の賑わいが形成されている」(1位)、「5. 魅力ある観光地が形成できている」(2位)、「16. 鉄道やバスなど市内の公共交通機関の利便性が良い」(3位)、「15. 良好な市街地や住環境が形成されている」(4位)となっており、まちのにぎわいや住環境、公共交通に関する項目に対して不満度が大きいことがわかった。

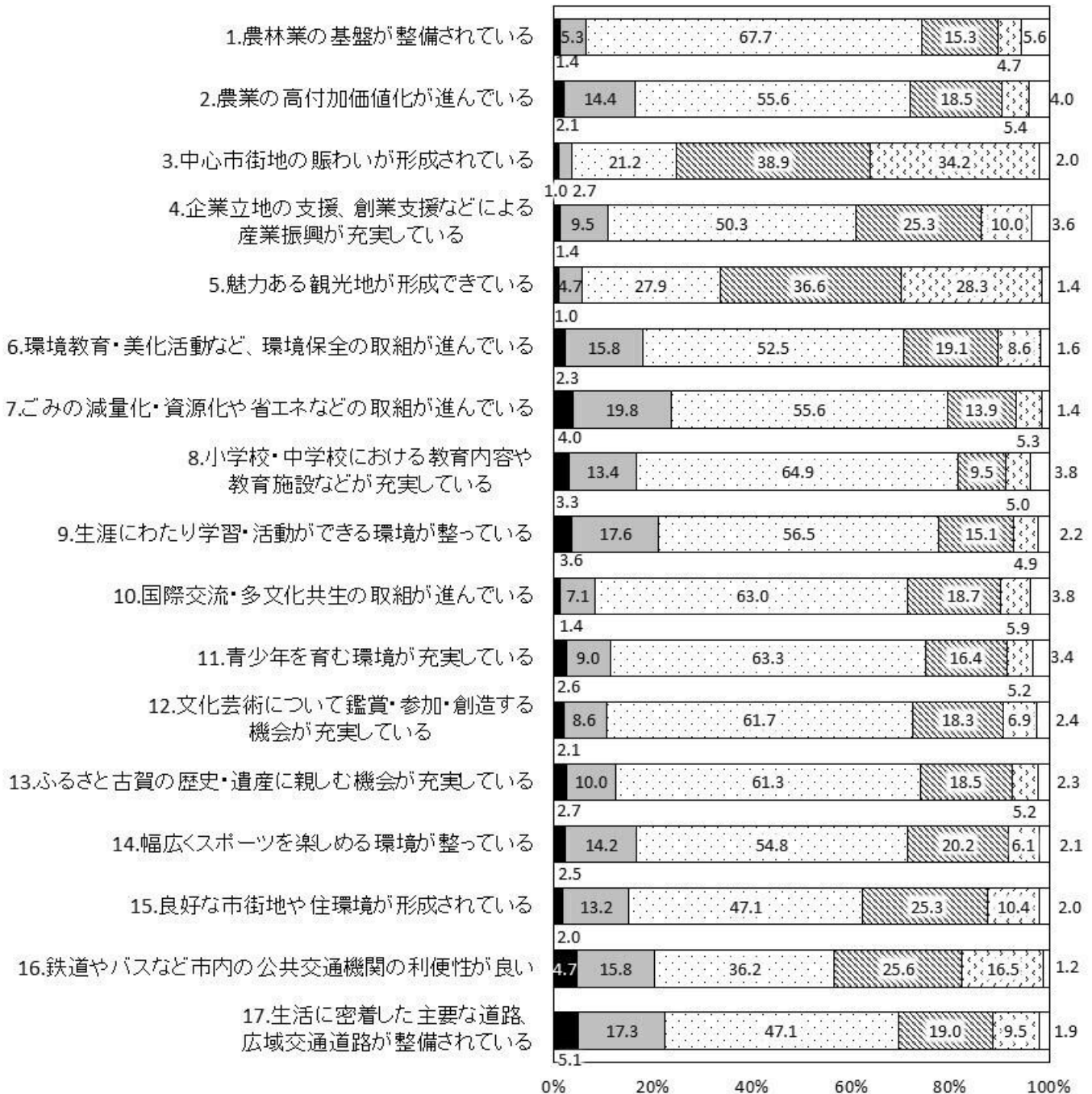
20~40代の子育て世代についても、全体と同様の傾向であった。

※「満足度」は「満足」「やや満足」の合計。不満度は「不満」「やや不満」の合計。

【全体】

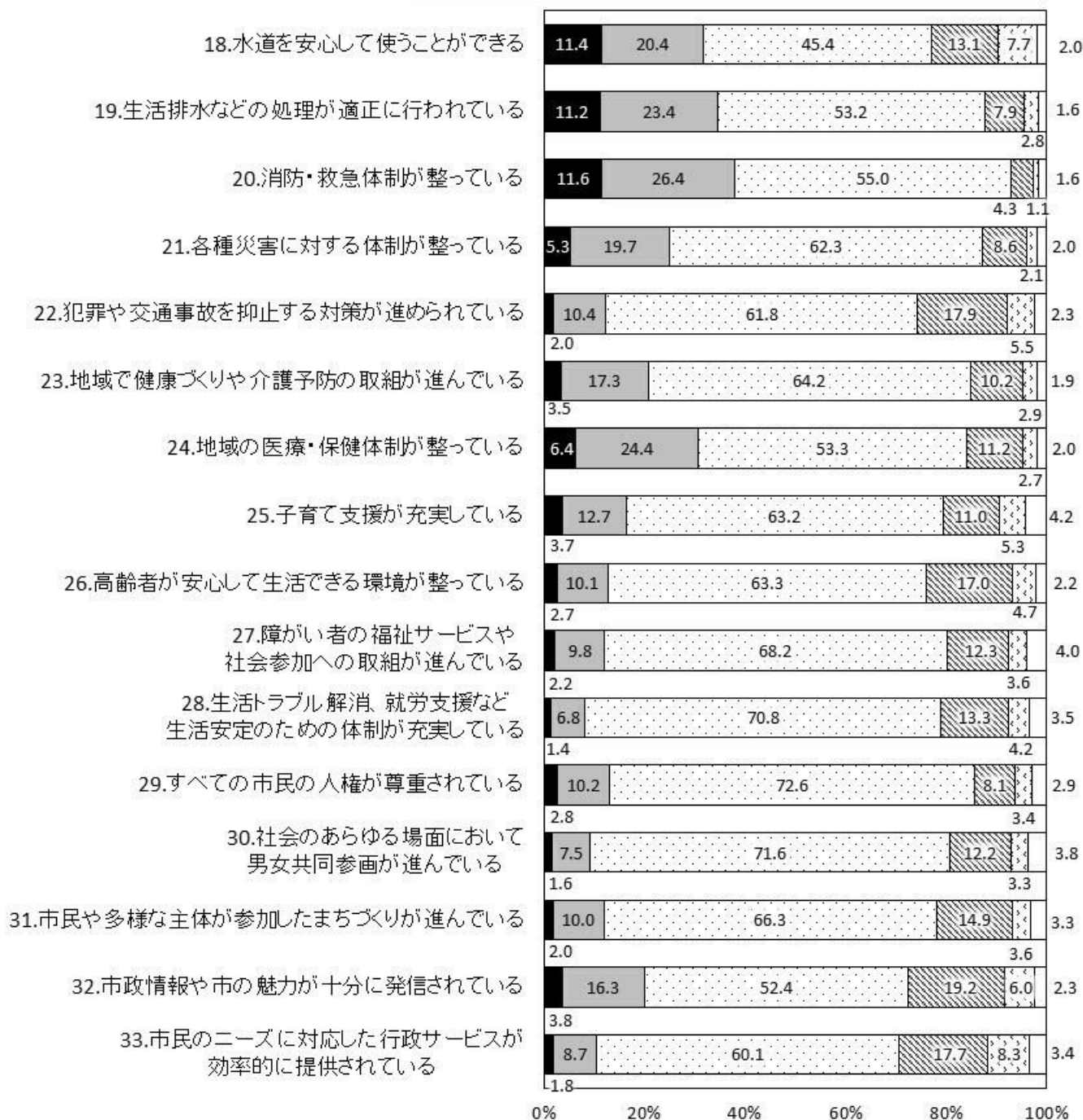
n=1,460

■満足 □やや満足 □ふつう ▨やや不満 □不満 □無回答



n=1,460

■満足 □やや満足 □ふつう ▨やや不満 □不満 □無回答

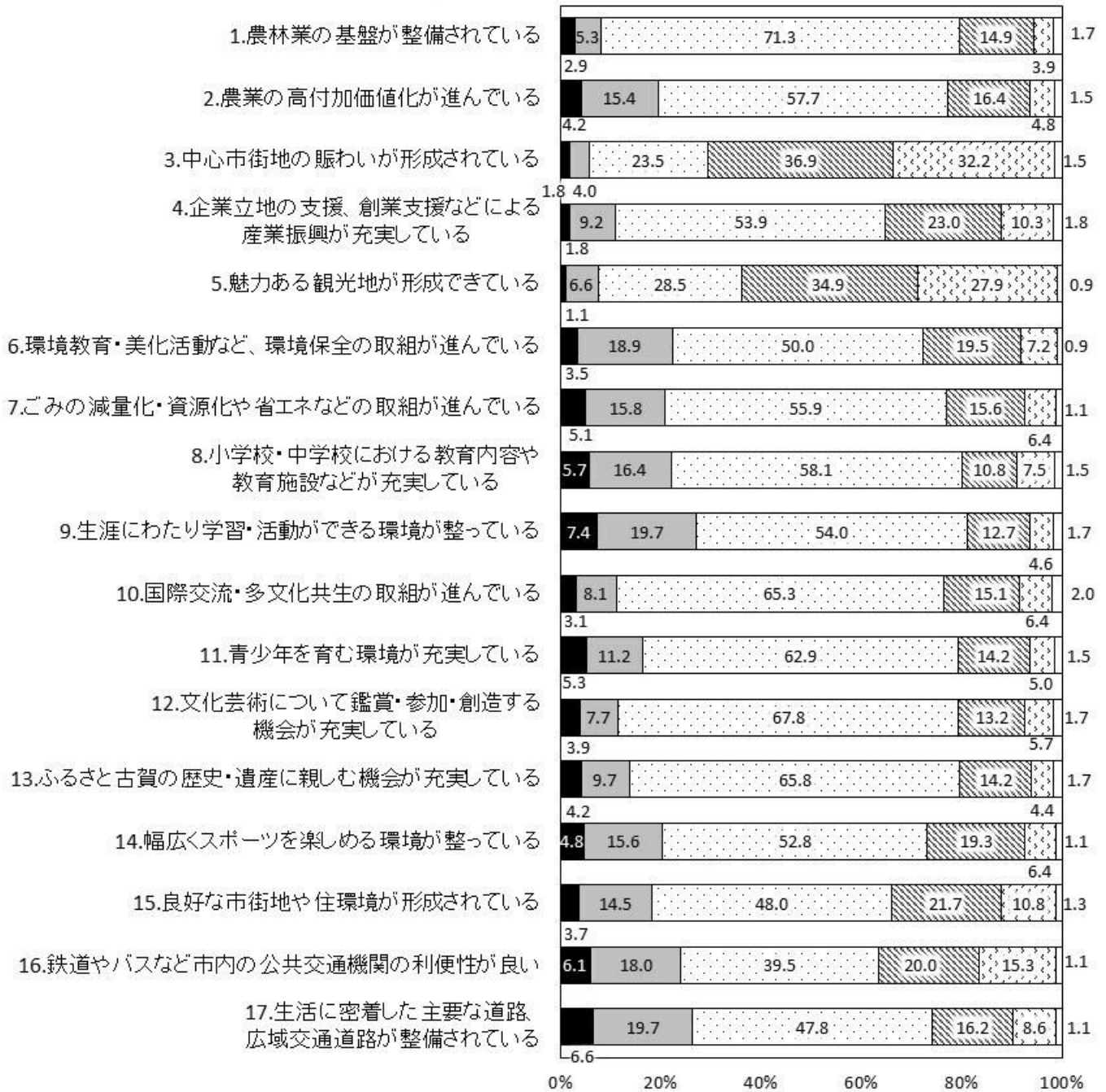




【20～40代】

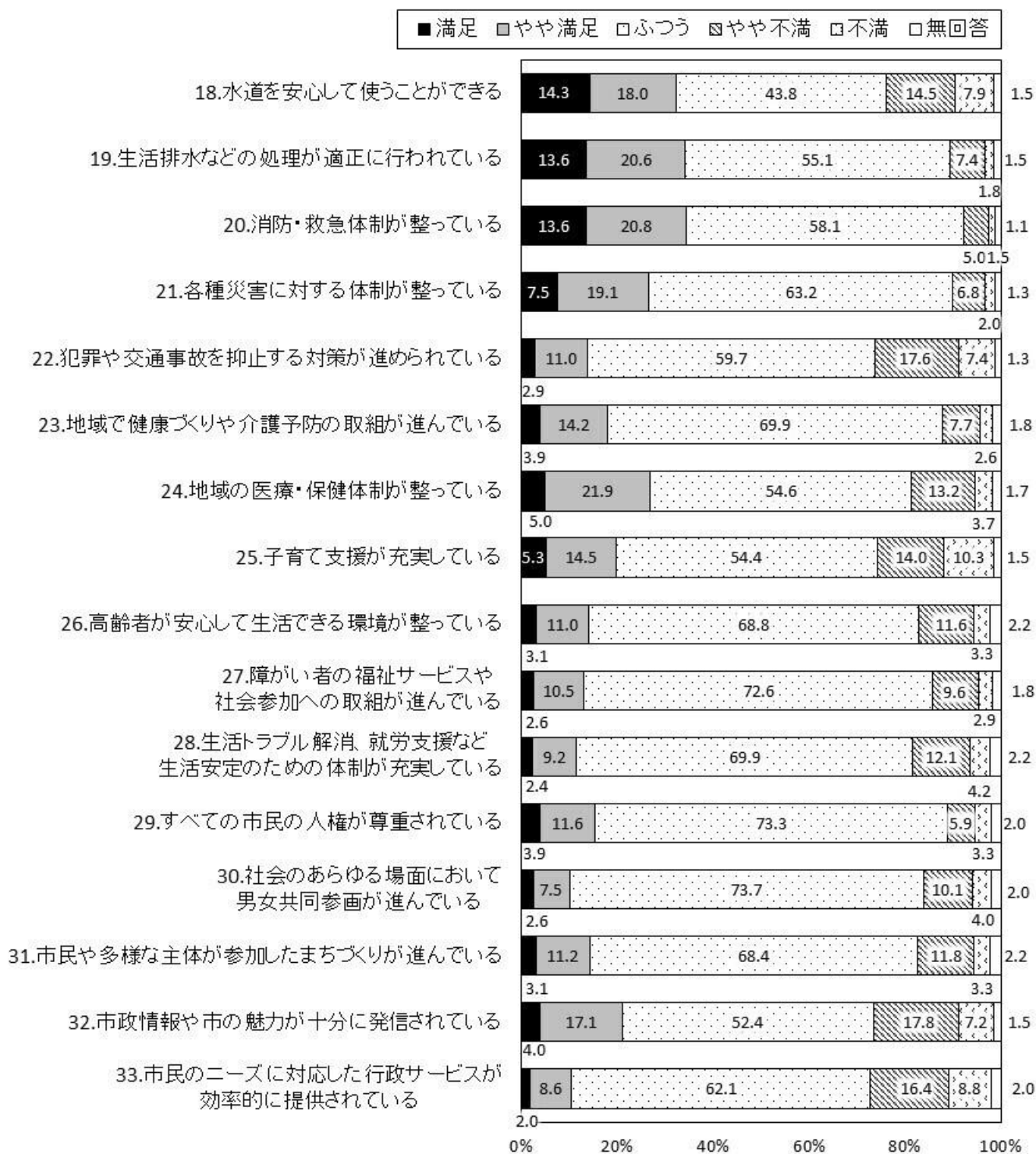
n=544

■満足 □やや満足 □ふつう ▨やや不満 □不満 □無回答





n=544

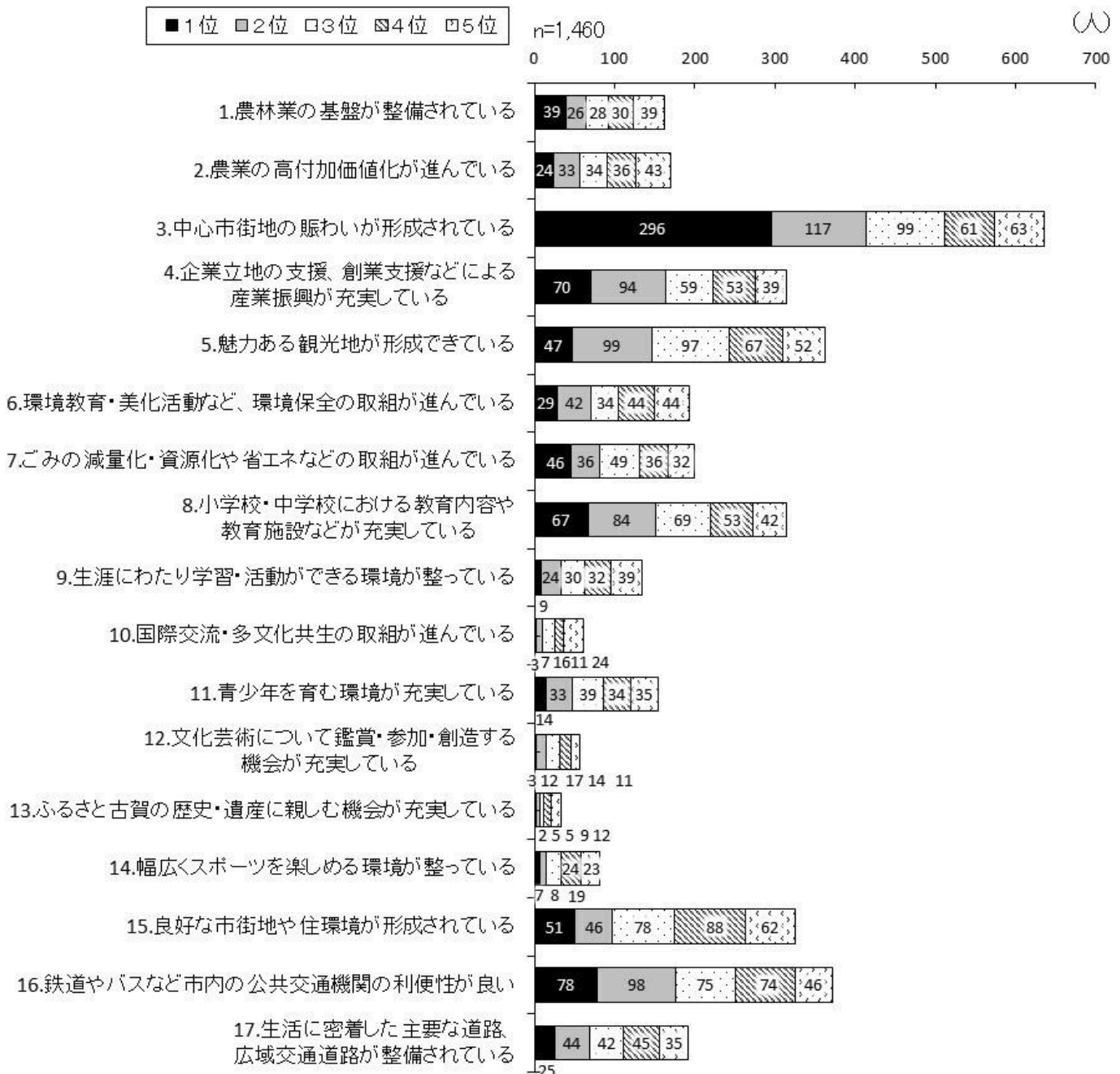


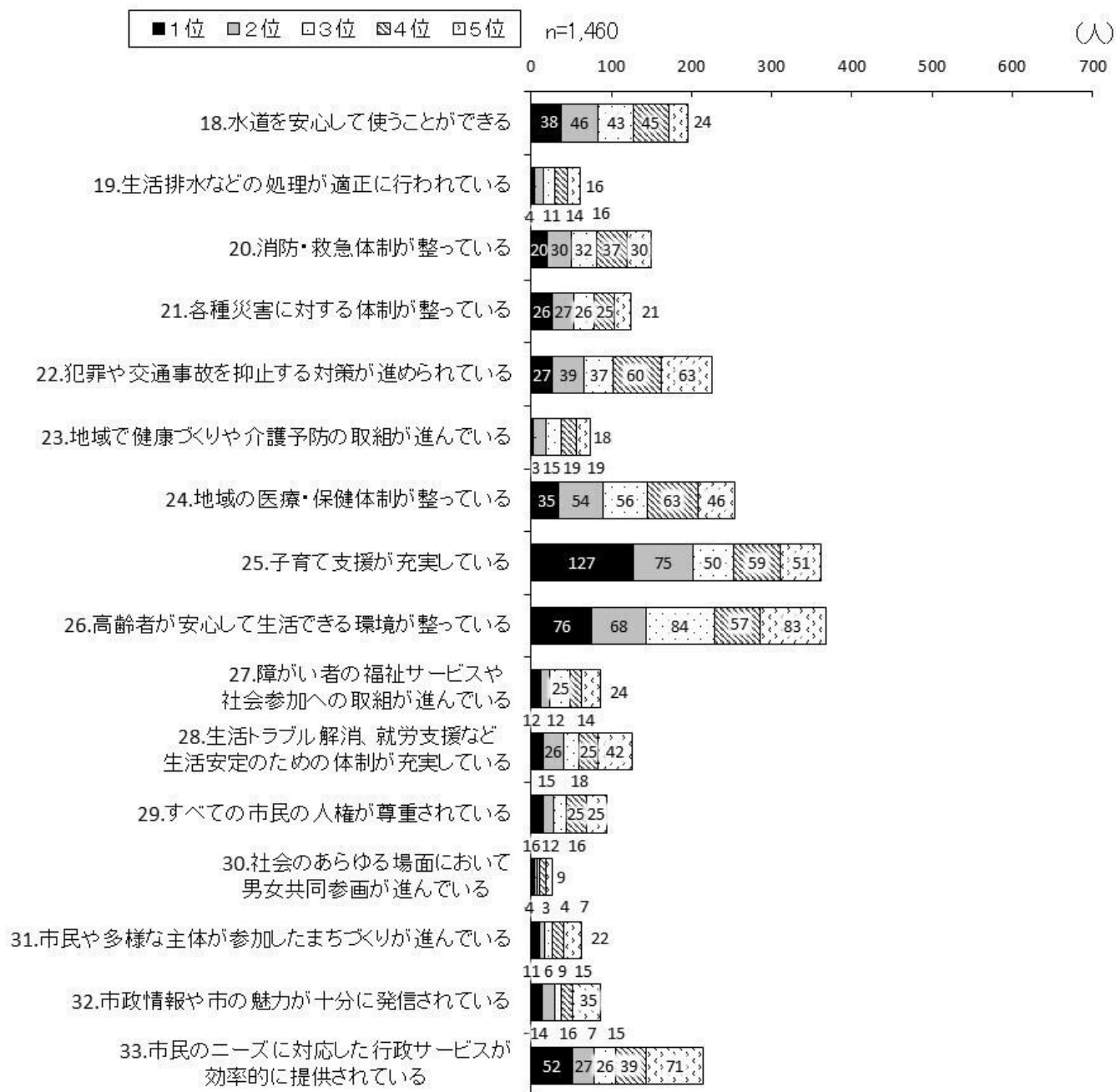
(2) 市の施策で重要だと思うこと（上位5項目選択）

古賀市の施策重要度をみると、「3. 中心市街地の賑わいが形成されている」（1位）、「16. 鉄道やバスなど市内の公共交通機関の利便性が良い」（2位）、「26. 高齢者が安心して生活できる環境が整っている」（3位）となっている。また、1～2位については上記で不満度の高かった施策であった。

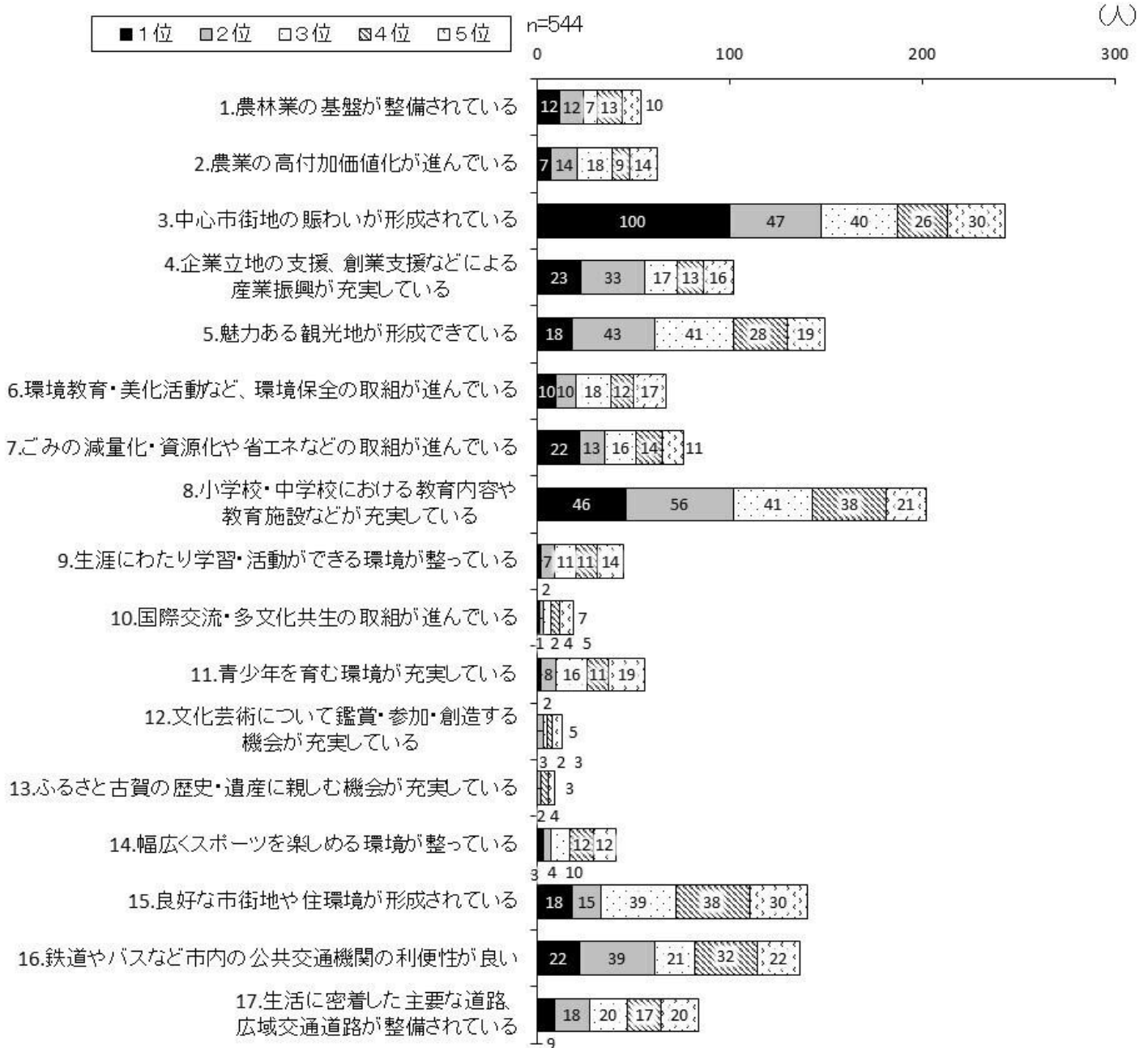
20～40代の子育て世代のみに絞ってしてみると、1位は全体と同様の「3. 中心市街地の賑わいが形成されている」となっているが、2位は「25. 子育て支援が充実している」、3位は「8. 小学校・中学校における教育内容や教育施設などが充実している」と子育て関連の項目が上位に上がっている。

【全体】

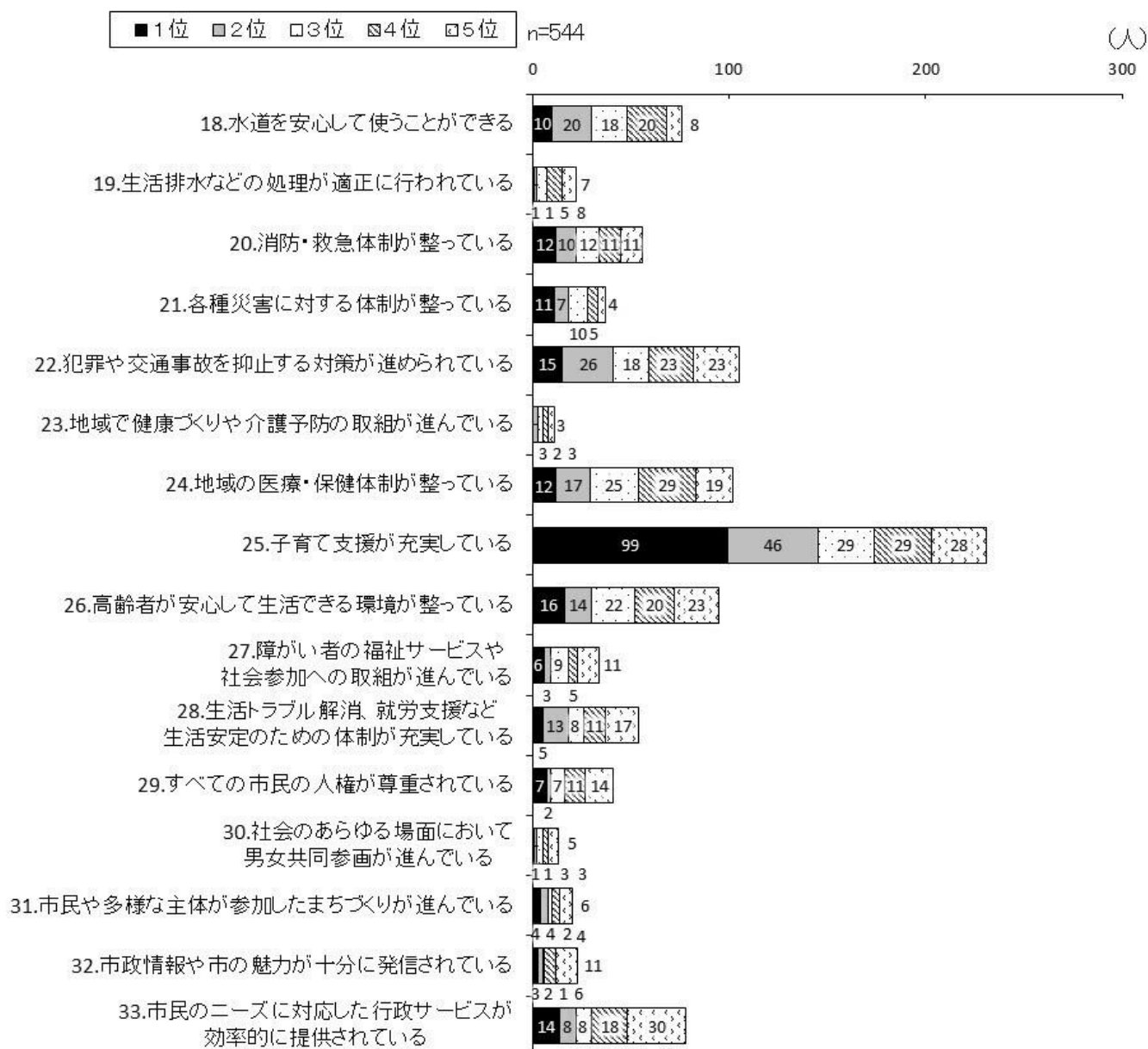




【20～40代】





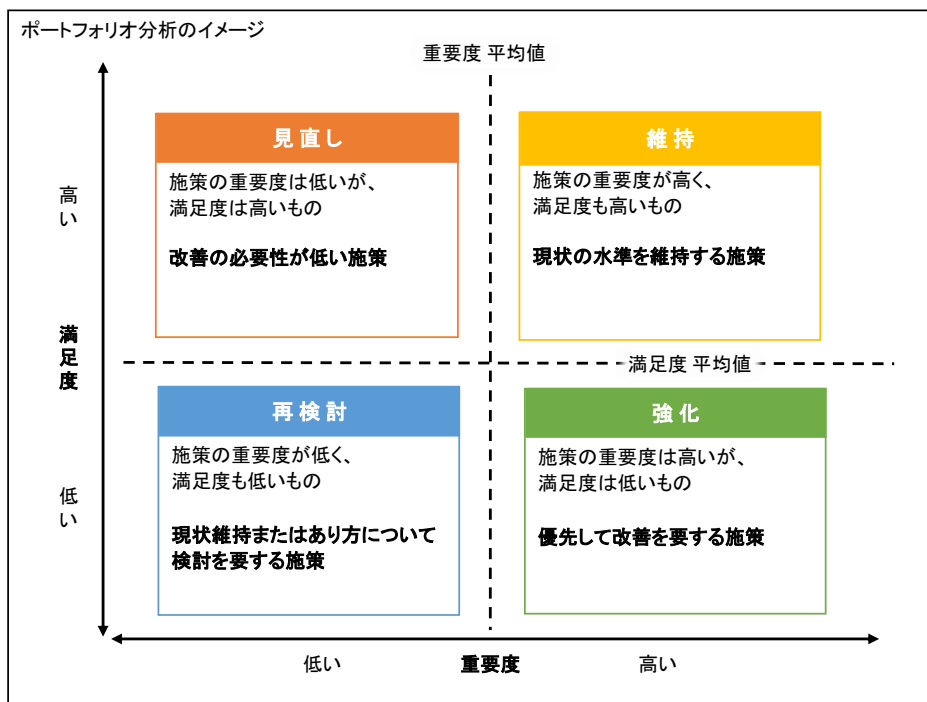
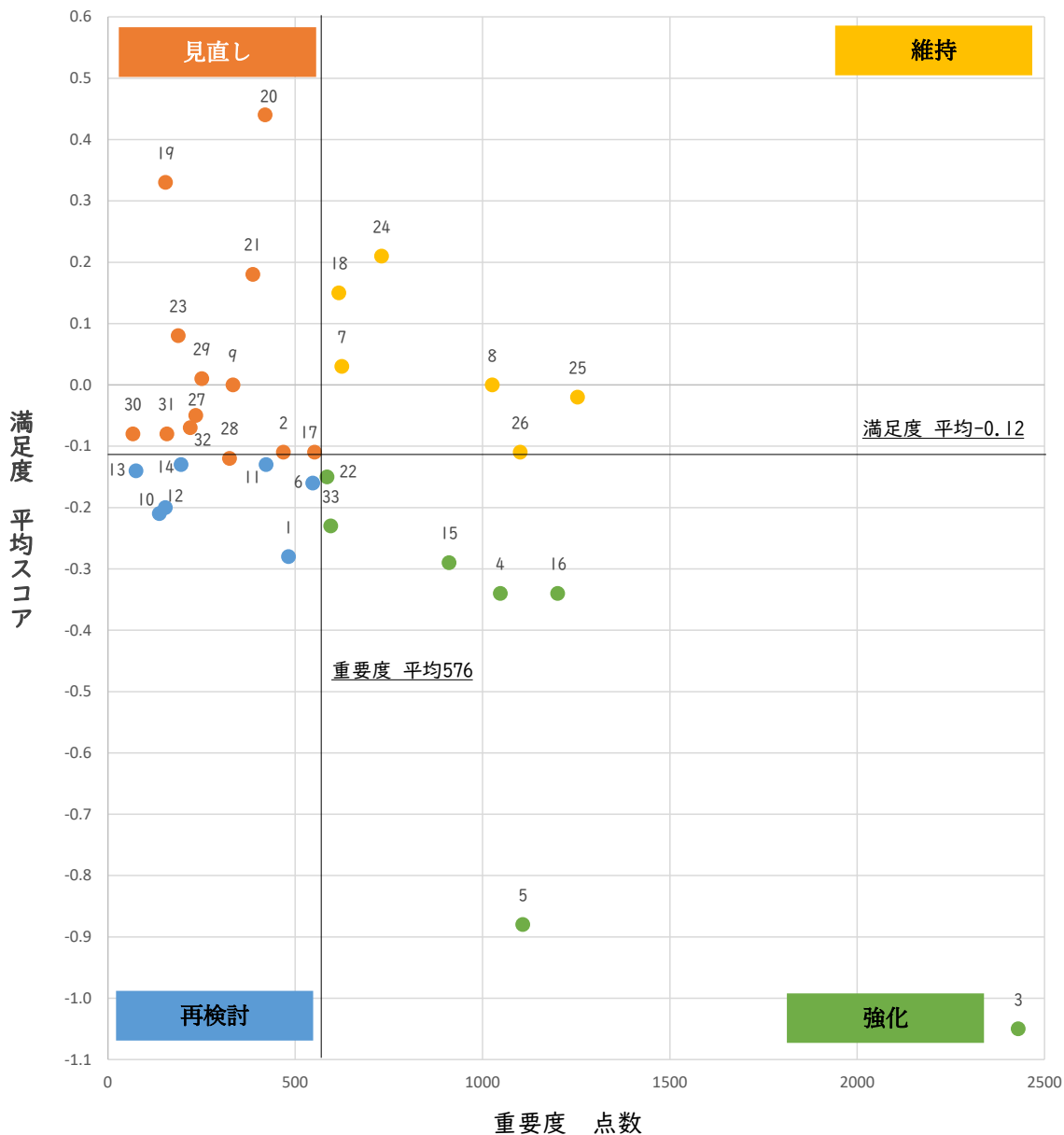


(3) 市の施策の満足度×重要度プロットによる施策評価（参考）

【算定・分類方法】

- 満足度スコアは、選択肢の良い順から「2点」「1点」「0点」「▲1点」「▲2点」を配点した平均
- 重要度点数は、重要度の高い順から「5点」「4点」「3点」「2点」「1点」を配点した合計
- 満足度スコア、重要度点数の平均を分類軸と設定し、「維持」「強化」「再検討」「見直し」に分類

施策番号	施策目標	分類	満足度スコア	重要度点数
7	ごみの減量化・資源化や省エネなどの取組が進んでいる	維持	0.03	625
8	小学校・中学校における教育内容や教育施設などが充実している	維持	0	1026
18	水道を安心して使うことができる	維持	0.15	617
24	地域の医療・保健体制が整っている	維持	0.21	731
25	子育て支援が充実している	維持	-0.02	1254
26	高齢者が安心して生活できる環境が整っている	維持	-0.11	1101
3	中心市街地の賑わいが形成されている	強化	-1.05	2430
4	企業立地の支援、創業支援などによる産業振興が充実している	強化	-0.34	1048
5	魅力ある観光地が形成できている	強化	-0.88	1108
15	良好な市街地や住環境が形成されている	強化	-0.29	911
16	鉄道やバスなど市内の公共交通機関の利便性が良い	強化	-0.34	1201
22	犯罪や交通事故を抑止する対策が進められている	強化	-0.15	585
33	市民のニーズに対応した行政サービスが効率的に提供されている	強化	-0.23	595
1	農林業の基盤が整備されている	再検討	-0.28	482
6	環境教育・美化活動など、環境保全の取組が進んでいる	再検討	-0.16	547
10	国際交流・多文化共生の取組が進んでいる	再検討	-0.21	137
11	青少年を育む環境が充実している	再検討	-0.13	422
12	文化芸術について鑑賞・参加・創造する機会が充実している	再検討	-0.2	153
13	ふるさと古賀の歴史・遺産に親しむ機会が充実している	再検討	-0.14	75
14	幅広くスポーツを楽しめる環境が整っている	再検討	-0.13	195
2	農業の高付加価値化が進んでいる	見直し	-0.11	469
9	生涯にわたり学習・活動ができる環境が整っている	見直し	0	334
17	生活に密着した主要な道路、広域交通道路が整備されている	見直し	-0.11	552
19	生活排水などの処理が適正に行われている	見直し	0.33	154
20	消防・救急体制が整っている	見直し	0.44	420
21	各種災害に対する体制が整っている	見直し	0.18	387
23	地域で健康づくりや介護予防の取組が進んでいる	見直し	0.08	188
27	障がい者の福祉サービスや社会参加への取組が進んでいる	見直し	-0.05	235
28	生活トラブル解消、就労支援など生活安定のための体制が充実している	見直し	-0.12	325
29	すべての市民の人権が尊重されている	見直し	0.01	251
30	社会のあらゆる場面において男女共同参画が進んでいる	見直し	-0.08	67
31	市民や多様な主体が参加したまちづくりが進んでいる	見直し	-0.08	158
32	市政情報や市の魅力が十分に発信されている	見直し	-0.07	220
		平均 (分類軸)	-0.12	576

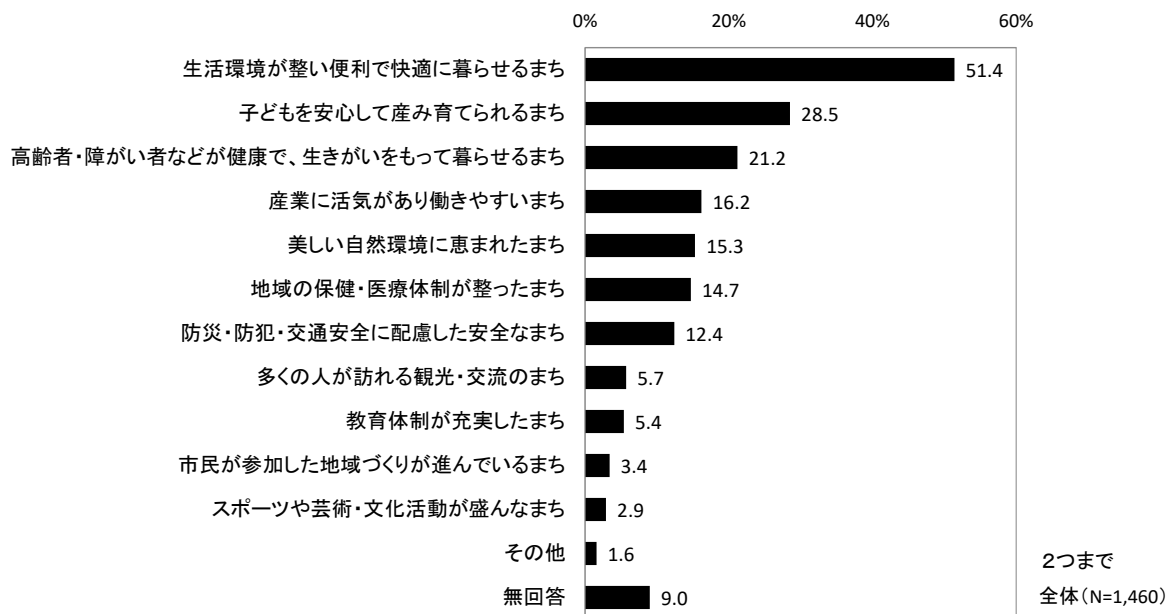


(4) 地域の将来像

将来の古賀市がどのようなようになることを望むかについては、「生活環境が整い便利で快適に暮らせるまち」(51.4%)が最も多く、次いで「子どもを安心して産み育てられるまち」(28.5%)、「高齢者・障がい者などが健康で、生きがいをもって暮らせるまち」(21.2%)となっている。

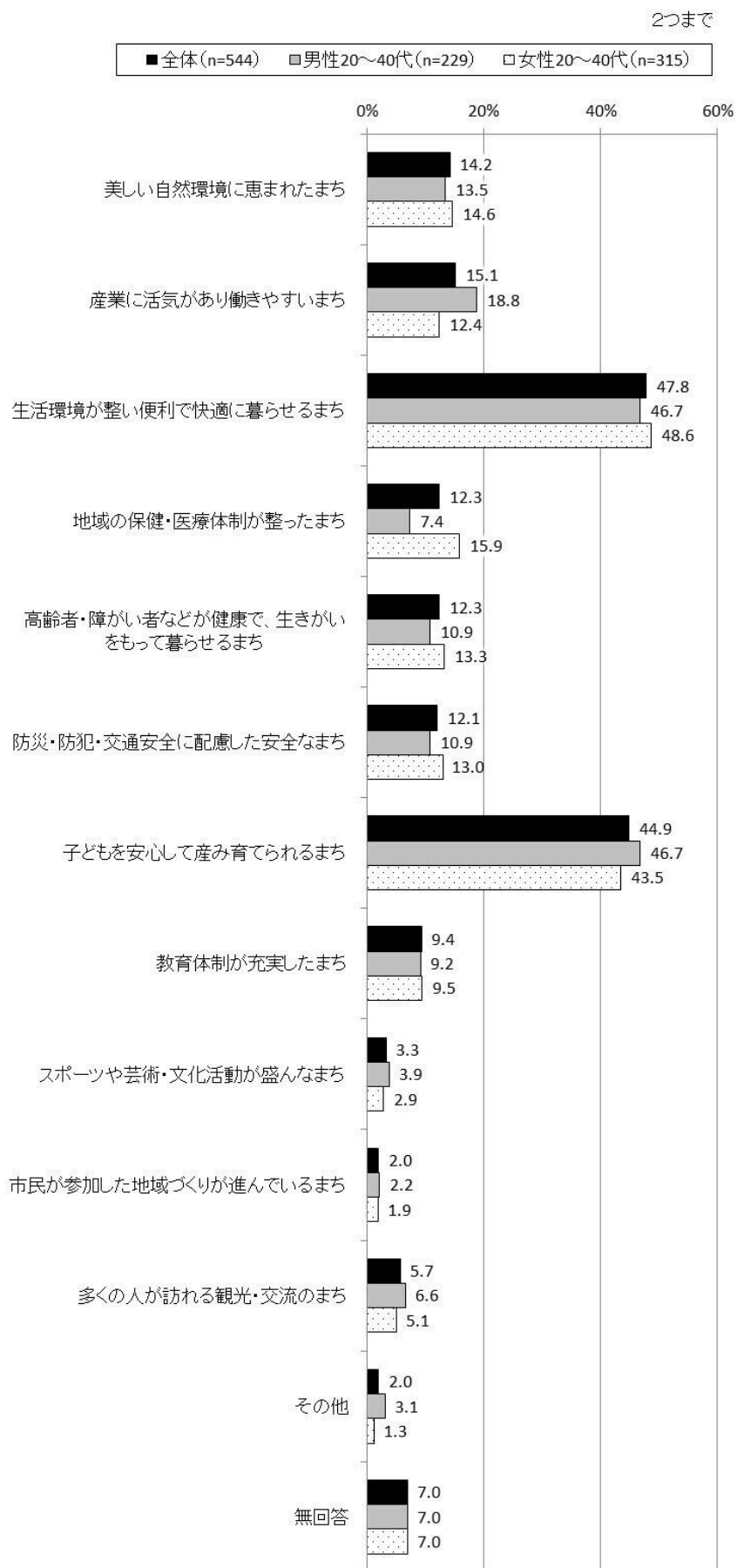
20~40代の子育て世代のみに絞ってしてみると、2位の「子どもを安心して産み育てられるまち」が全体では28.5%であるのに対し、子育て世代では44.9%と約16ポイント多くなっている。また、3位は全体と異なっており、「産業に活気があり働きやすいまち」となっている。

【全体】





【20～40代】

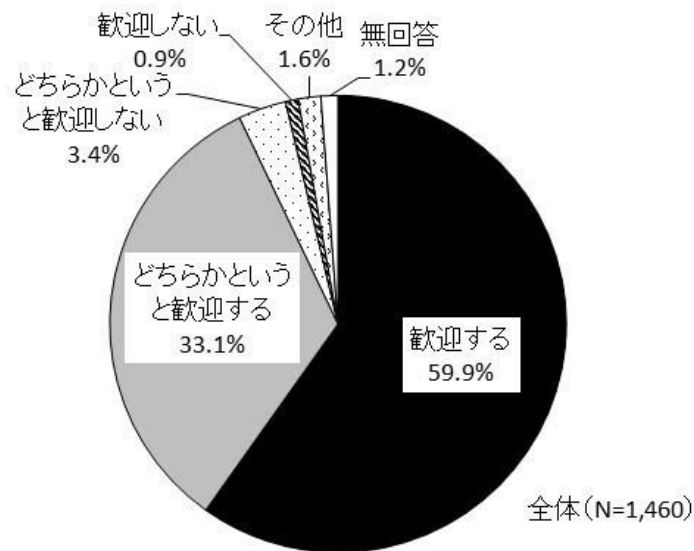


(5) 移住者を受け入れることに関する考え

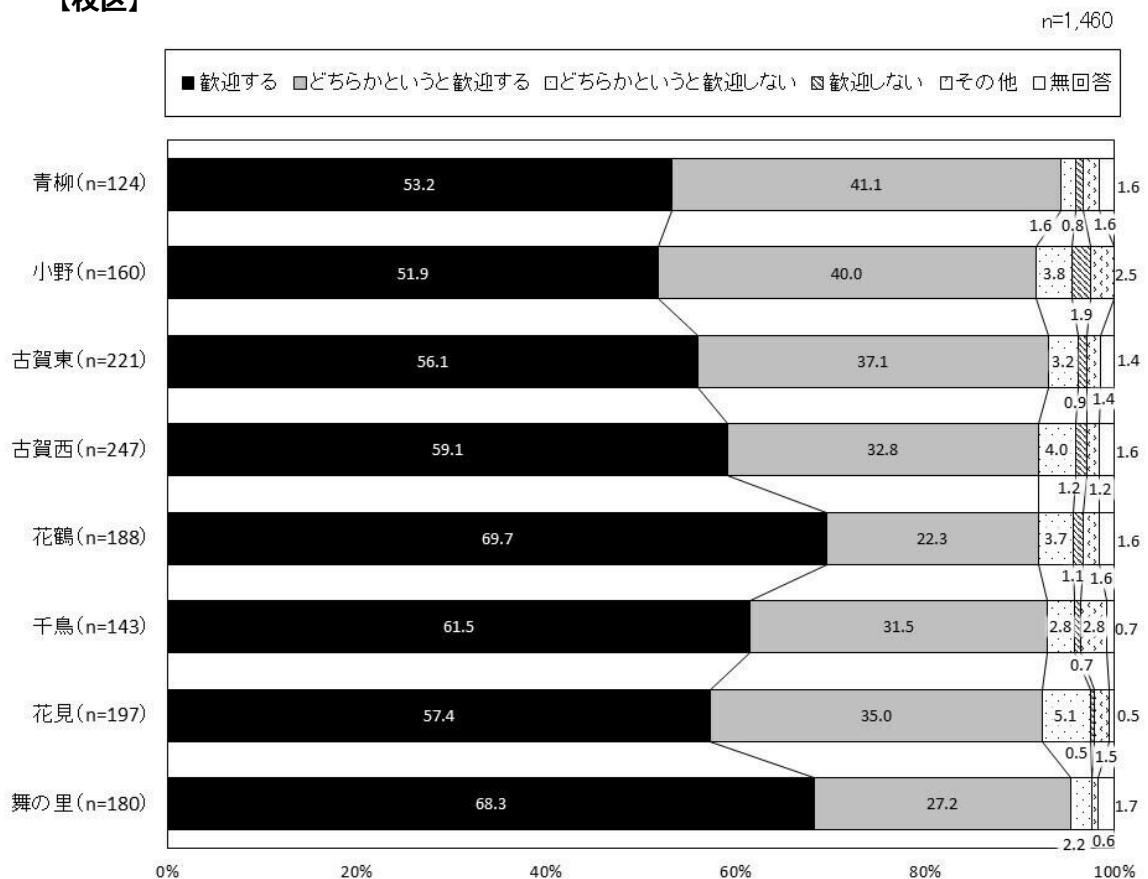
他の地域から移住者を受け入れることについては、「歓迎する」(59.9%)が最も多く、次いで「どちらかという歓迎する」(33.1%)、「どちらかという歓迎しない」(3.4%)となっている。また、「歓迎する」と「どちらかという歓迎する」を合わせた『歓迎する』が9割以上と肯定的である。

校区別にみると『歓迎する』の割合は全体と変わらないが、「歓迎する」に着目すると他の地域に比べ、花鶴小学校区と舞の里小学校区は約7割と多くなっている。一方、青柳小学校区と小野小学校区は約5割と少なくなっている。

【全体】



【校区】

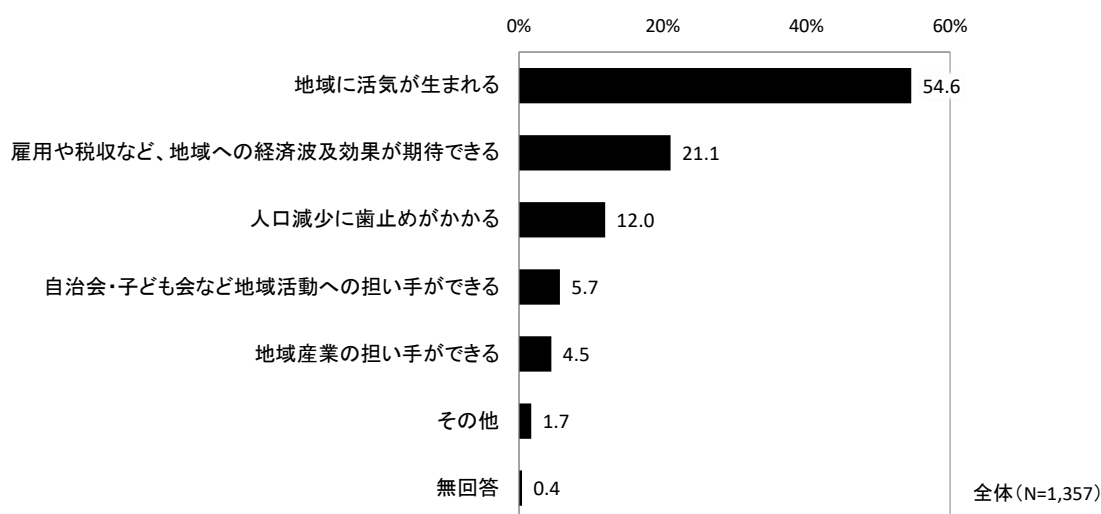


(6) 移住者を歓迎する理由

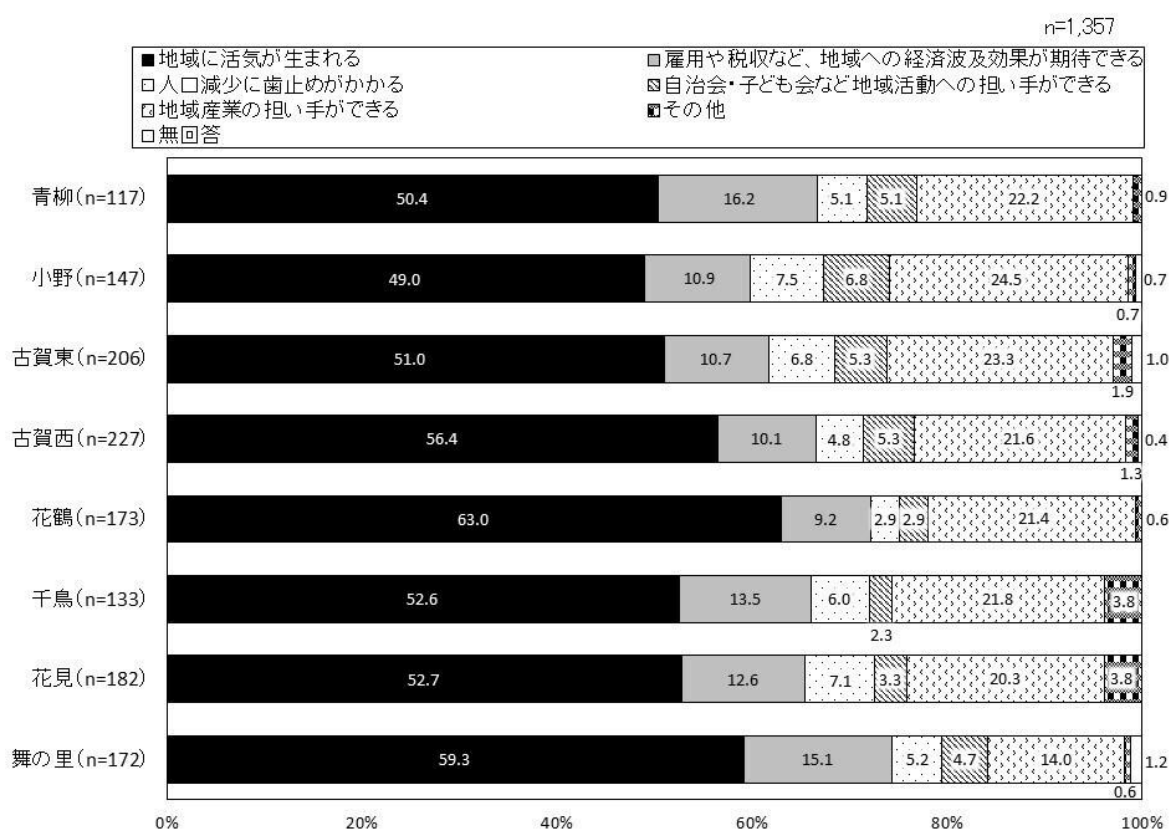
移住者を歓迎する理由をみると、「地域に活気が生まれる」(54.6%)が最も多く、次いで「雇用や税金など、地域への経済波及効果が期待できる」(21.1%)、「人口減少に歯止めがかかる」(12.0%)となっている。

校区別にみると、花鶴小学校区では「地域に活気が生まれる」が6割を超えており、他の地域に比べて多い。また、舞の里小学校区では「地域産業の担い手ができる」が14%となっており、他の地域に比べて約5~10ポイント少なくなっている。

【全体】



【校区】



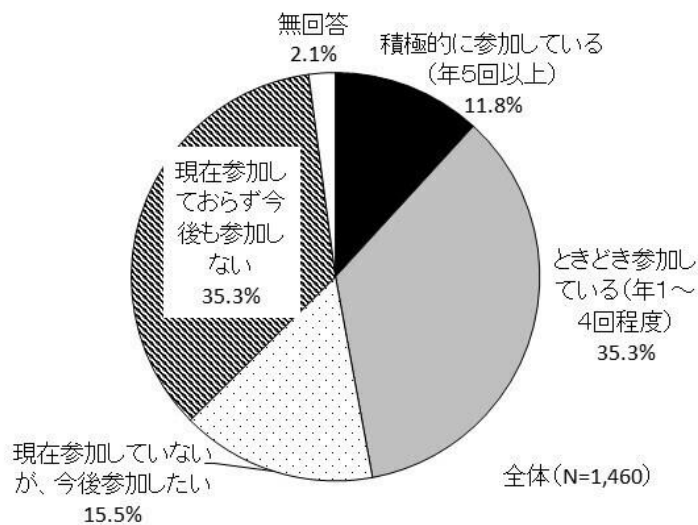
### 3. 古賀市の地域活動・情報・防災

#### (1) 地域活動への参加状況

地域活動への参加状況を見ると「ときどき参加している（年1～4回程度）」「現在参加しておらず今後も参加しない」（ともに35.3%）が最も多く、次いで「現在参加していないが、今後参加したい」（15.5%）、「積極的に参加している（年5回以上）」（11.8%）となっている。

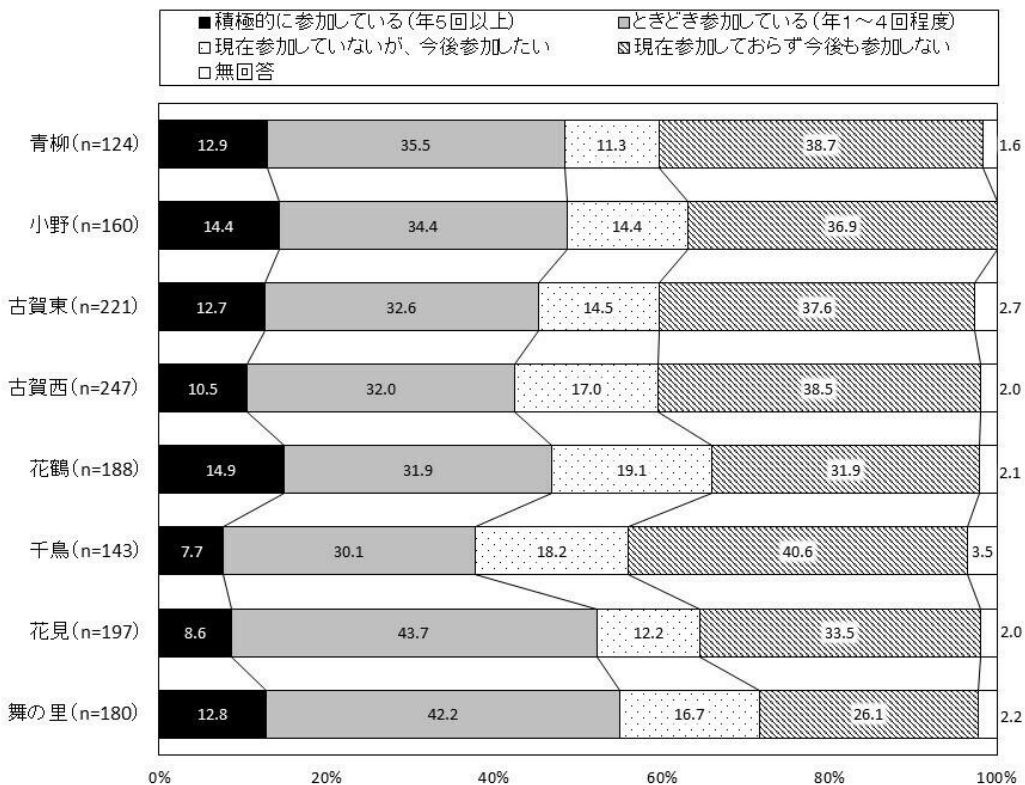
校区別にみると「積極的に参加している（年5回以上）」は小野小学校区、花鶴小学校区が他地域に比べて多くなっている。一方、「積極的に参加している（年5回）」と「ときどき参加している（年1回～4回程度）」を合わせた『参加している』は、花見小学校区と舞の里小学校区が5割を超えており、他地域より多い。また千鳥小学校区は『参加している』が約4割と、他地域に比べて10～20ポイントほど少なくなっている。

#### 【全体】



#### 【校区】

n=1,460

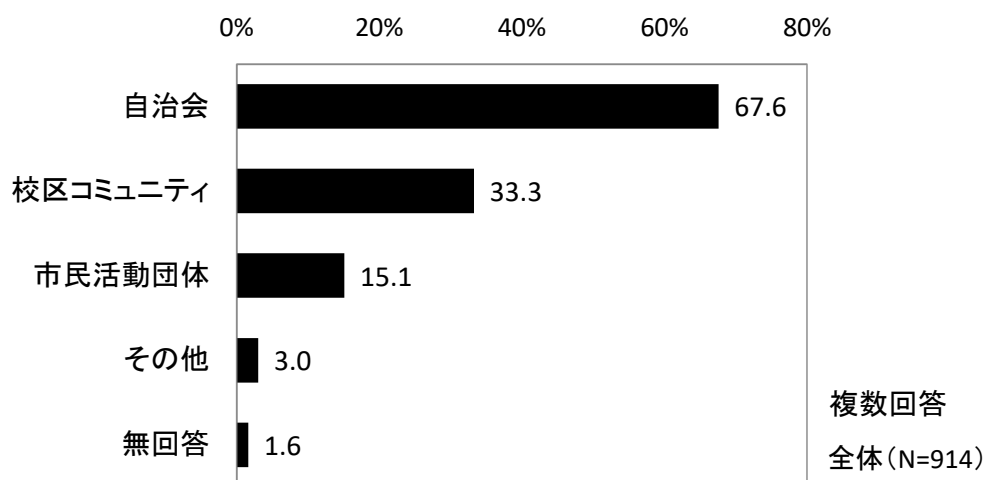


## (2) 参加している、または参加したい地域活動の種別

参加している、または参加したい地域活動の種別をみると、「自治会」(67.6%)が最も多く、次いで「校区コミュニティ」(33.3%)、「市民活動団体」(15.1%)となっている。

校區別にみると舞の里小学校区では「自治会」が約8割となっており、他の地域に比べて1～2割ほど多くなっている。一方、古賀西小学校区では「自治会」が6割以下となっており、他の地域に比べて少ない。

## 【全体】

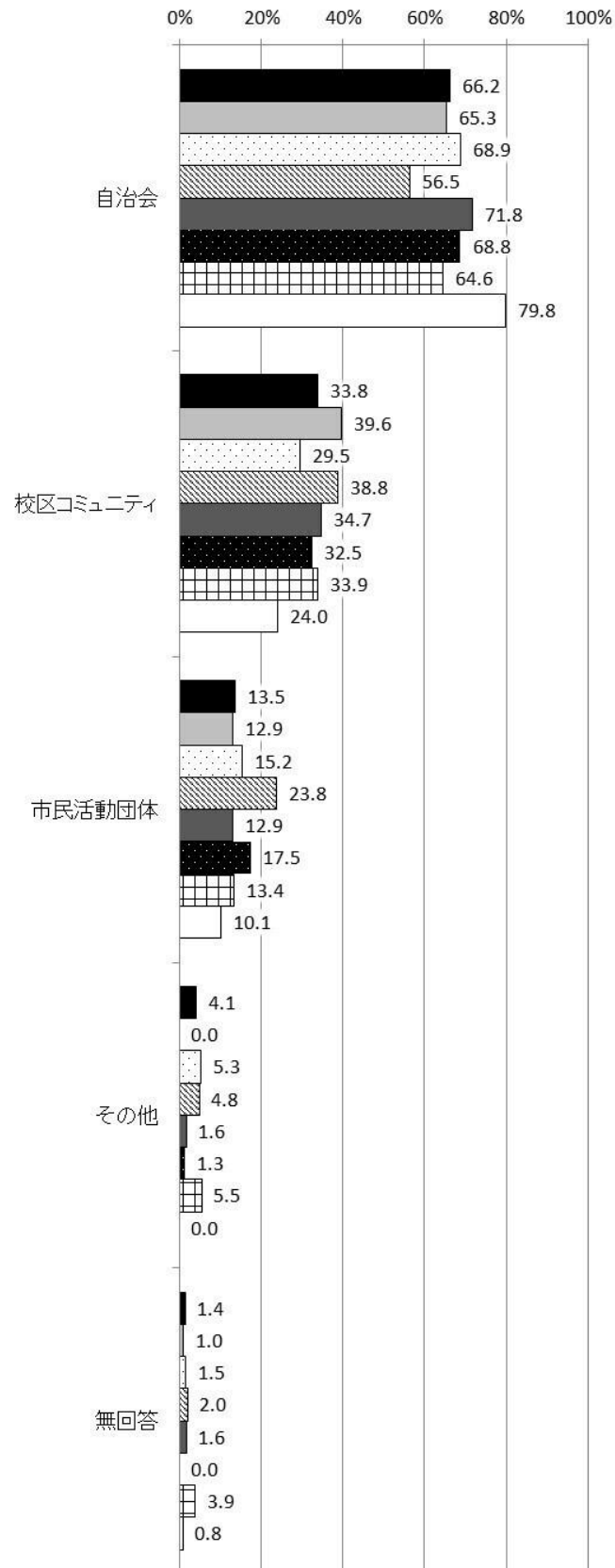




【校区】

複数回答 n=914

■ 青柳 (n=74)	□ 小野 (n=101)	□ 古賀東 (n=132)
▨ 古賀西 (n=147)	■ 花鶴 (n=124)	■ 千鳥 (n=80)
□ 花見 (n=127)	□ 舞の里 (n=129)	

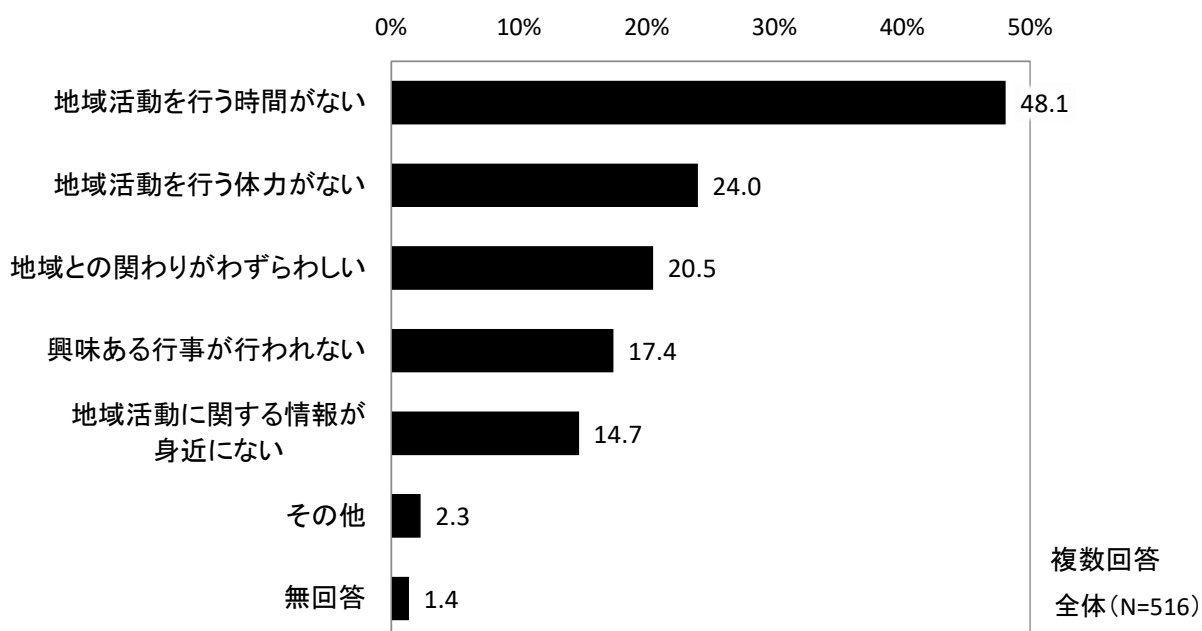


## (3) 地域活動に参加しない理由

地域活動に参加しない理由をみると、「地域活動を行う時間がない」(48.1%)が最も多く、次いで「地域活動を行う体力がない」(24.0%)、「地域との関わりがわずらわしい」(20.5%)となっている。

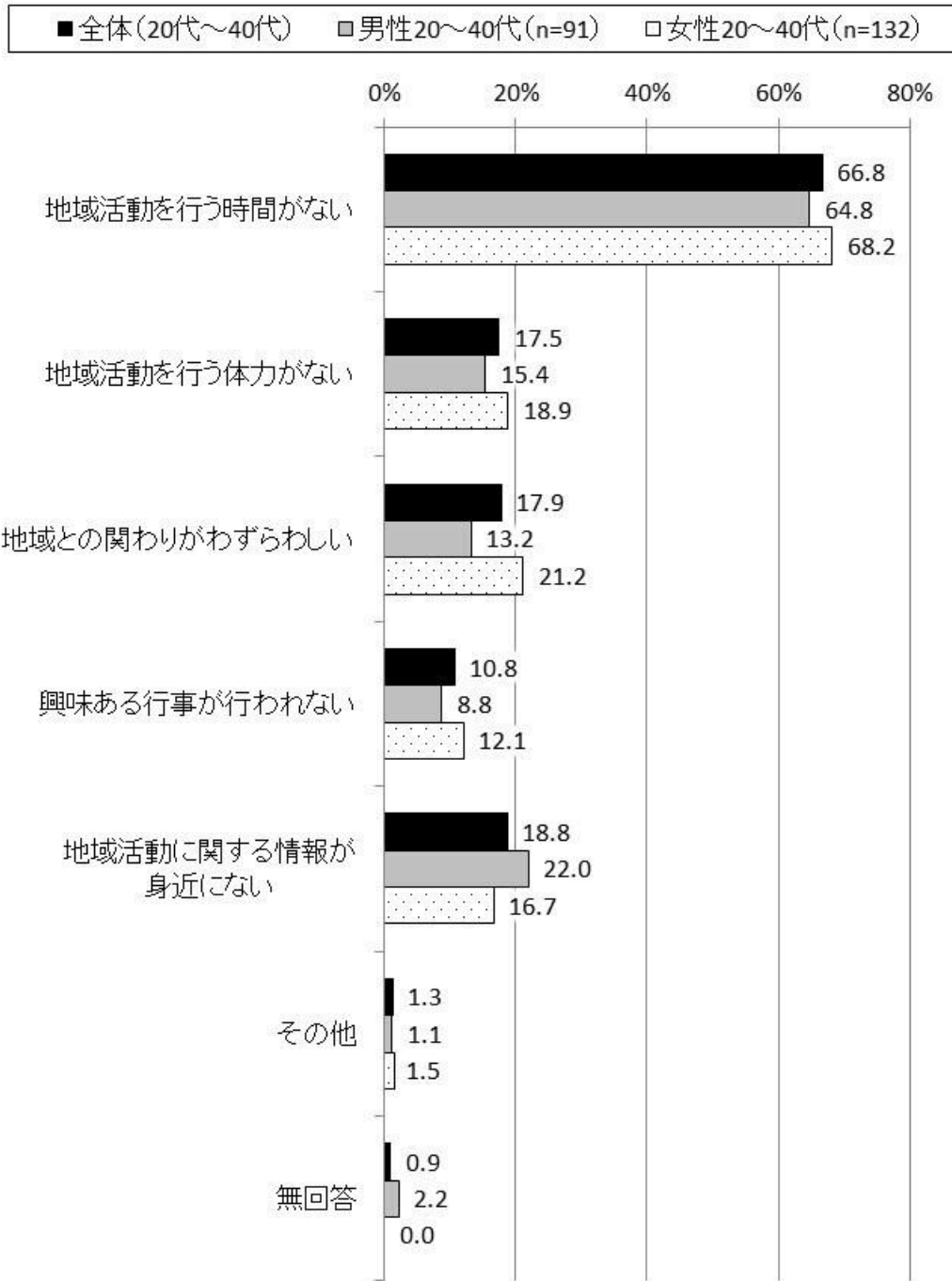
20~40代の子育て世代のみに絞ってしてみると、「地域活動を行う時間がない」が66.8%と、全体よりも約19ポイント多くなっている。また、「地域活動を行う体力がない」「地域との関わりがわずらわしい」「地域活動に関する情報が身近にない」が約17~18%と僅差になっており、全体と異なった傾向を示している。

## 【全体】



【20～40代】

複数回答 n=223

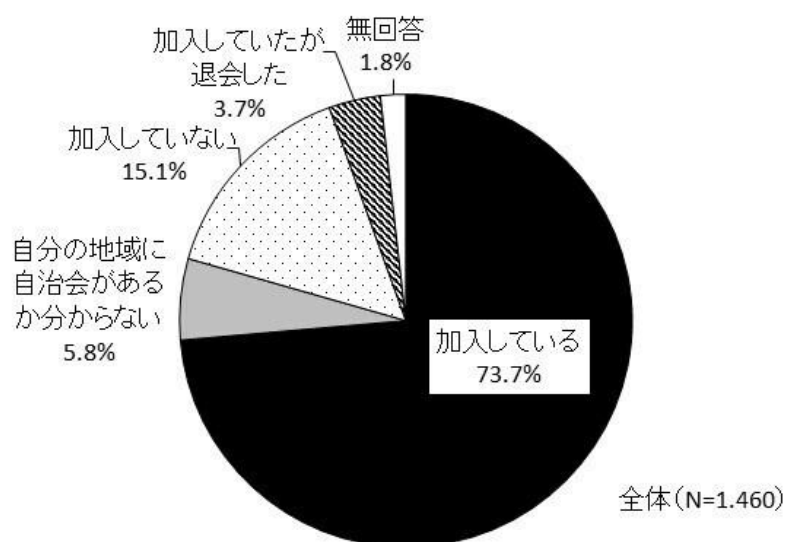


(4) 自治会への加入有無

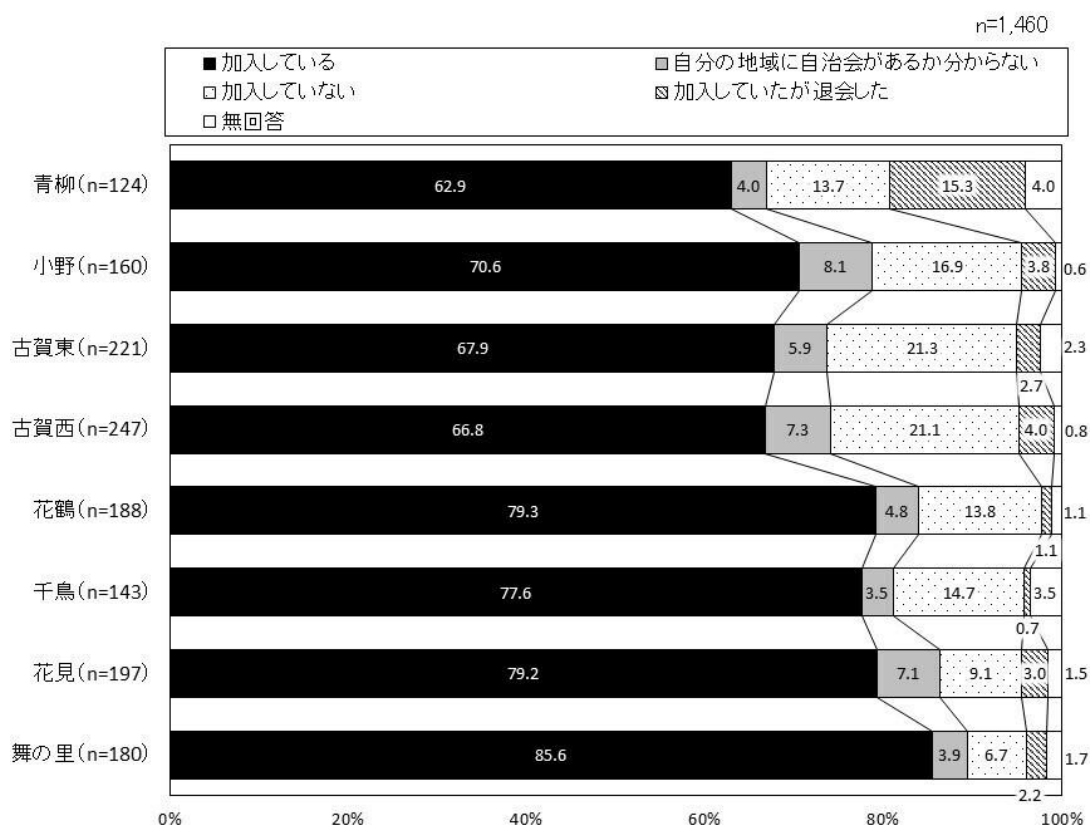
自治会への加入有無をみると「加入している」(73.7%)が最も多く、次いで「加入していない」(15.1%)、「自分の地域に自治会があるか分からない」(5.8%)となっている。

校区別にみると、他地域に比べて花鶴小学校区、千鳥小学校区、花見小学校区、舞の里小学校区では「加入している」が約8~9割と多くなっている。一方、青柳小学校区では「加入している」が約6割と他地域に比べて少ない上、「加入していたが退会した」が約2割と多くなっている。「加入していない」と「加入していたが退会した」を合わせた『加入していない』は、青柳小学校区で約3割、小野小学校区、古賀東小学校区、古賀西小学校区で約2割と他地域に比べて多くなっている。

【全体】



【校区】

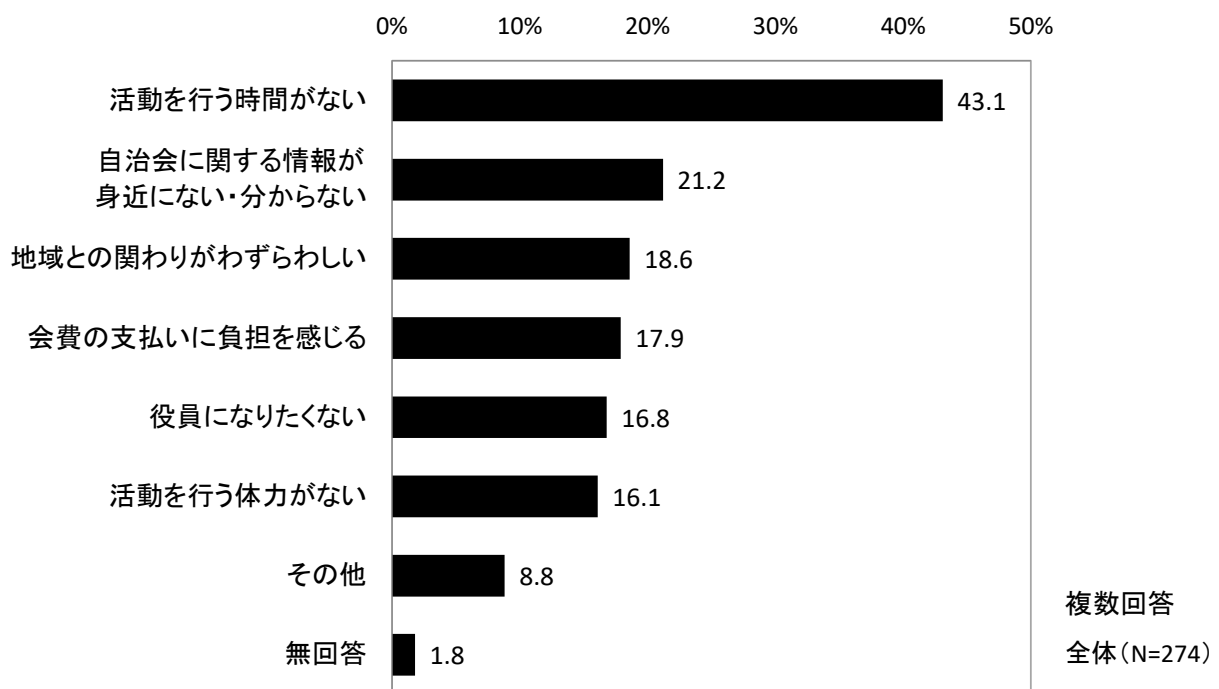


(5) 自治会に加入しない理由

自治会に加入しない理由をみると、「活動を行う時間がない」(43.1%)が最も多く、次いで「自治会に関する情報が身近にない・分からない」(21.2%)、「地域との関わりがわずらわしい」(18.6%)となっている。

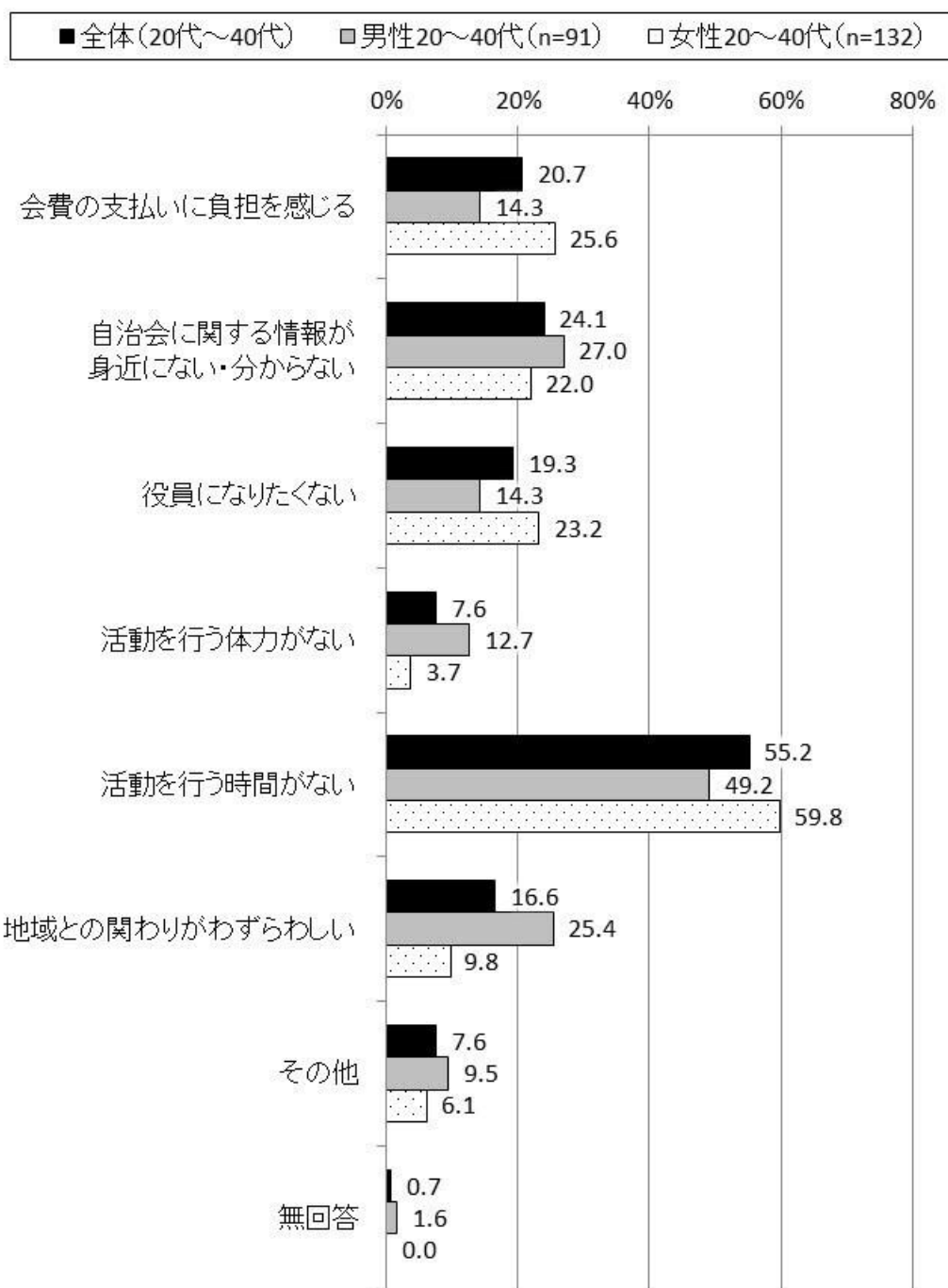
20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、上位2項目までは全体と同様であるが、3位が「会費の支払いに負担を感じる」(20.7%)となっている。また、全体では3位に入っている「地域との関わりがわずらわしい」は20~40代の子育て世代では5位となっており、全体と異なる傾向を示している。

**【全体】**



## 【20～40代】

複数回答 n=145



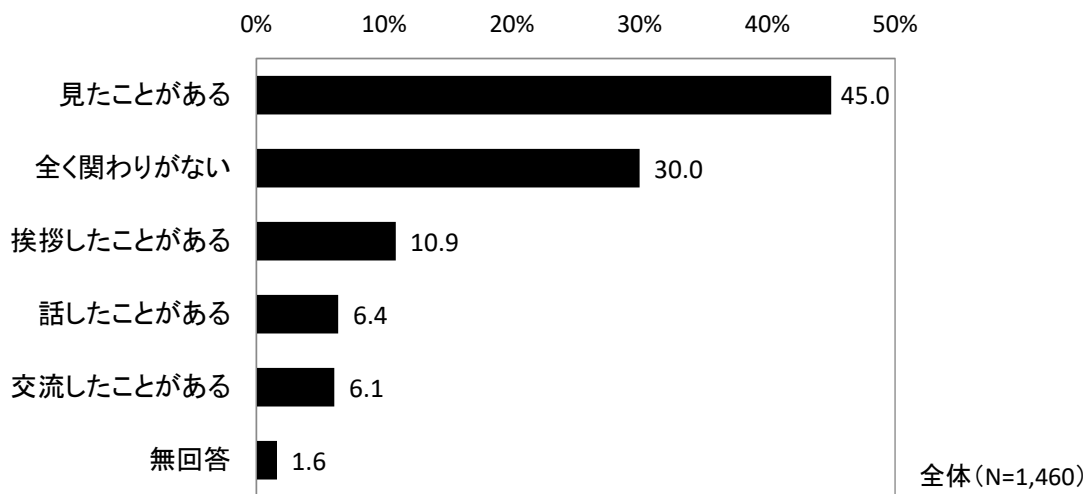


(6) 外国籍市民等との関わり

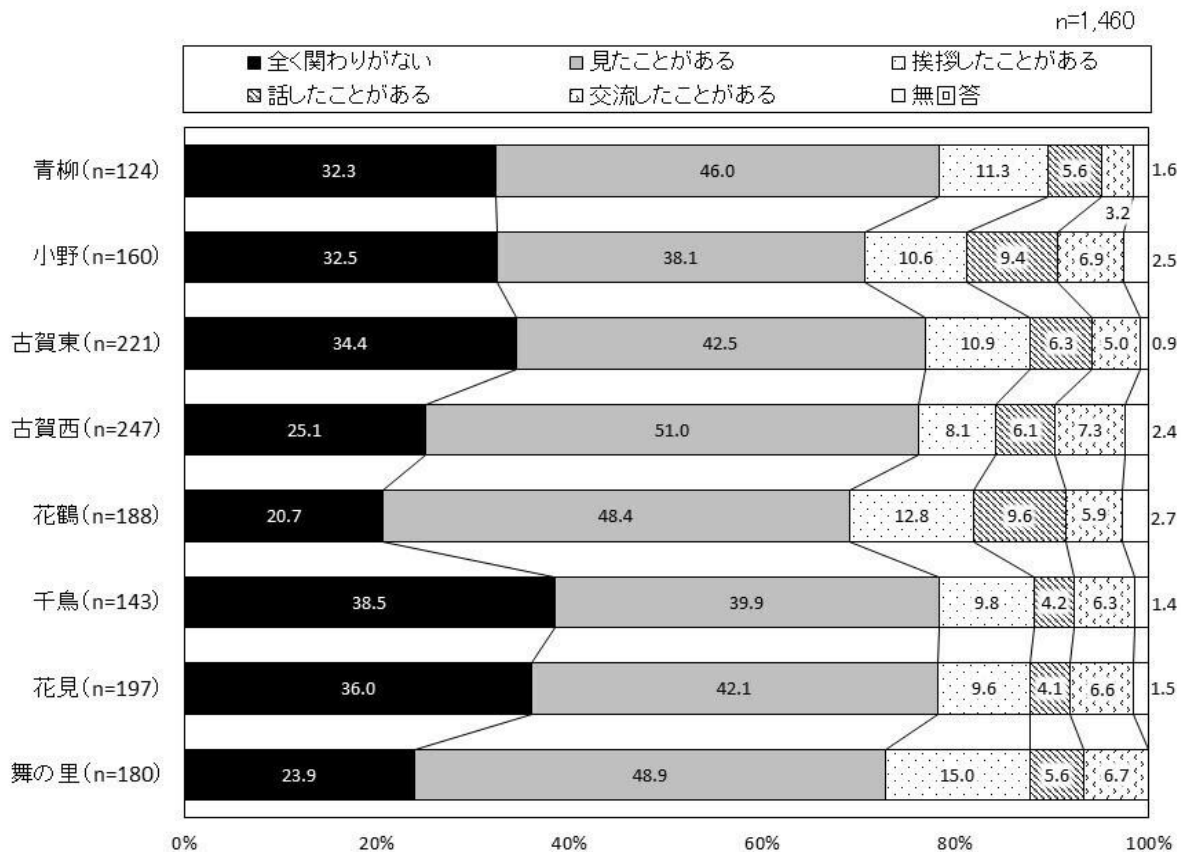
外国籍市民等との関わりをみると「見たことがある」(45.0%)が最も多く、次いで「全く関わりがない」(30.0%)、「挨拶したことがある」(10.9%)となっている。

校区別にみると他地域に比べて、千鳥小学校区と花見小学校区では「全く関わりがない」が約4割と多くなっている。一方、古賀西小学校区と花鶴小学校区、舞の里小学校区では3割以下と少なくなっている。

【全体】



【校区】

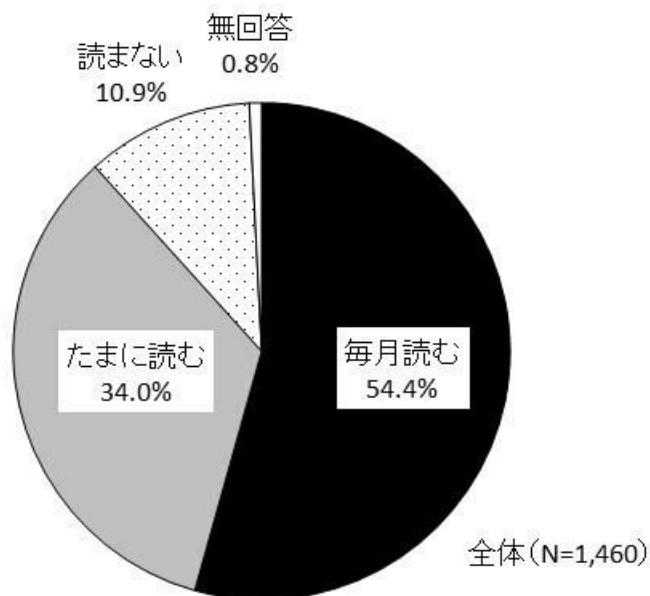


(7) 市の広報誌を読んでいるか

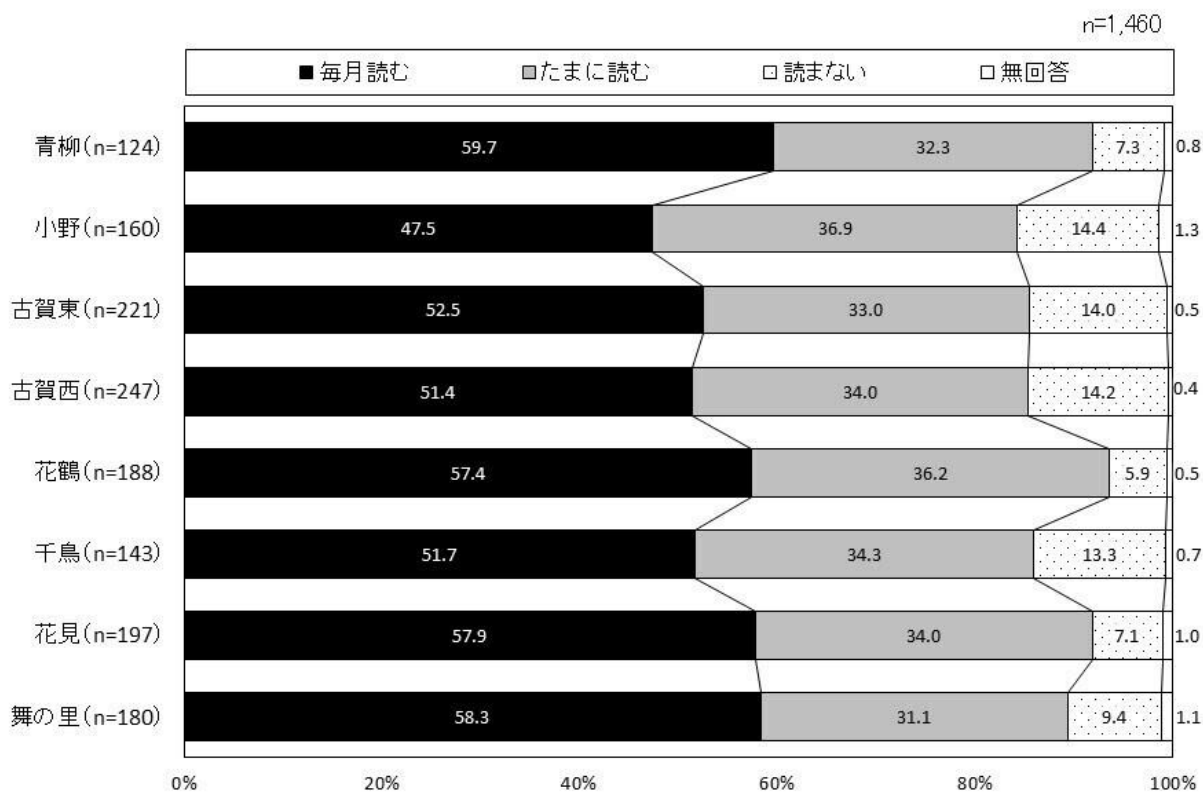
市の広報誌を読んでいるかみると、「毎月読む（54.4%）」が最も多く、次いで「たまに読む」（34.0%）、「読まない」（10.9%）となっている。

校区別にみると他地域に比べて、「毎月読む」と「たまに読む」を合わせた『読む』が青柳小学校区、花鶴小学校区、花見小学校区では9割を超えており多い。

【全体】

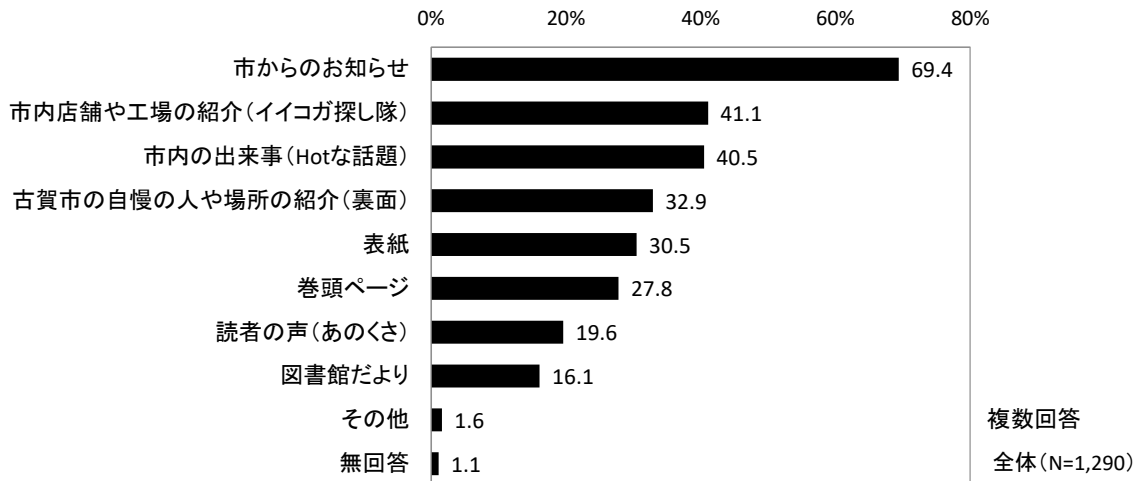


【校区】



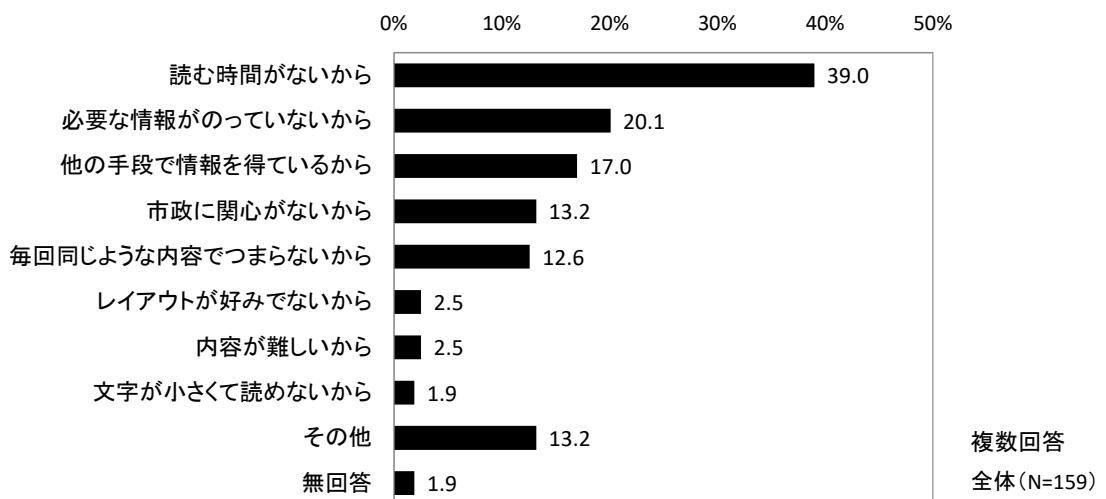
(8) 市の広報誌でよく読むページ

市の広報誌でよく読むページをみると、「市からのお知らせ」(69.4%)が最も多く、次いで「市内店舗や工場の紹介(イイコガ探し隊)」(41.1%)、「市内の出来事(Hotな話題)」(40.5%)となっている。



(9) 市の広報誌を読まない理由

市の広報誌を読まない理由をみると、「読む時間がないから」(39.0%)が最も多く、次いで「必要な情報がのっていないから」(20.1%)、「他の手段で情報を得ているから」(17.0%)となっている。

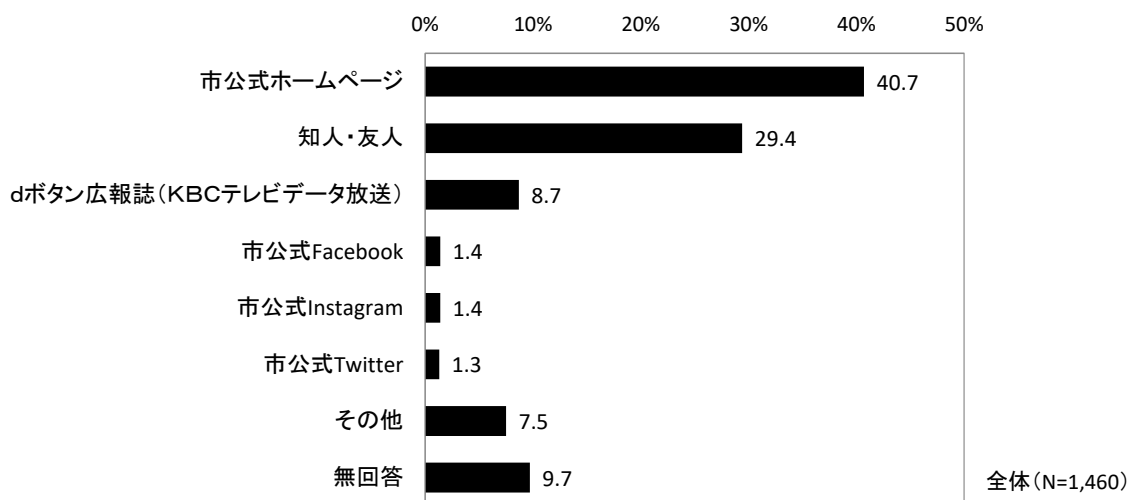


(10) 広報誌以外で市の情報を取得する手段

広報誌以外で市の情報を取得する手段をみると、「市公式ホームページ」(40.7%)が最も多く、次いで「知人・友人」(29.4%)、「dボタン広報誌(KBCテレビデータ放送)」(8.7%)となっている。

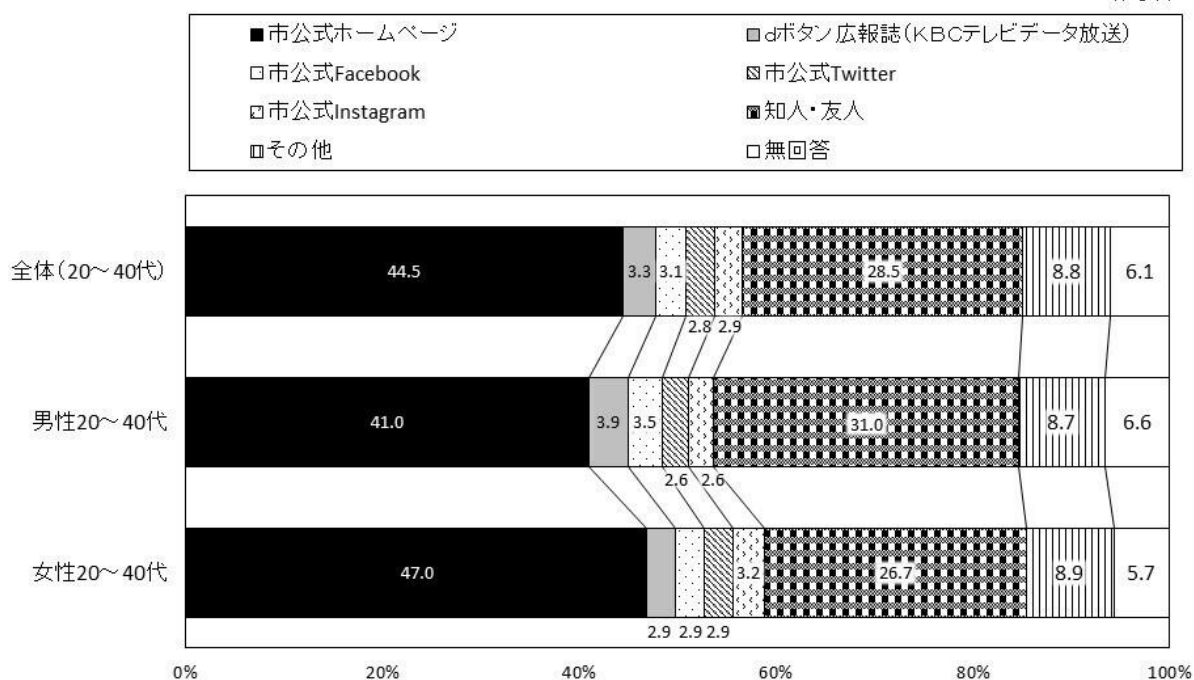
20~40代の子育て世代に絞ってしてみるとほぼ全体と同様の結果であるが、「dボタン広報誌(KBCテレビデータ放送)」が全体よりも5ポイントほど少なくなっており、代わりに「市公式Facebook」「市公式Instagram」「市公式Twitter」が1~2ポイントほど多くなっている。

【全体】



【20~40代】

n=544

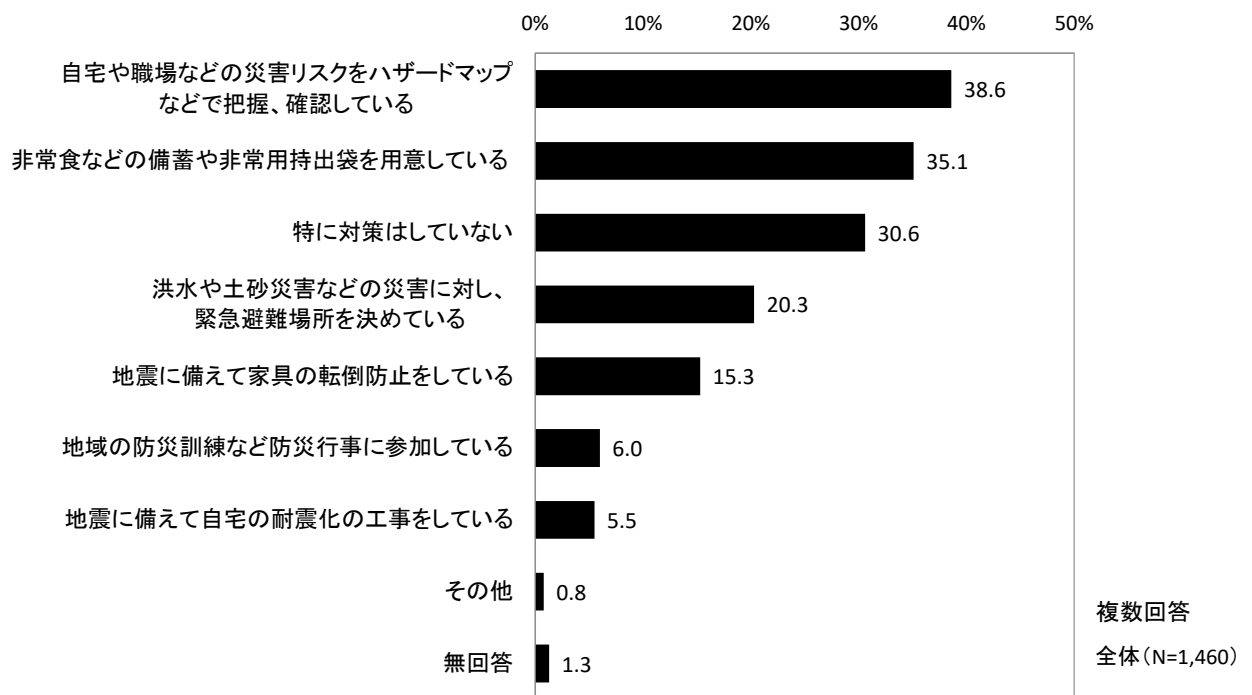


(1 1) 災害に備えてしている対策

災害に備えてしている対策をみると「自宅や職場などの災害リスクをハザードマップなどで把握、確認している」(38.6%) が最も多く、次いで「非常食などの備蓄や非常用持出袋を用意している」(35.1%)、「特に対策はしていない」(30.6%) となっている。

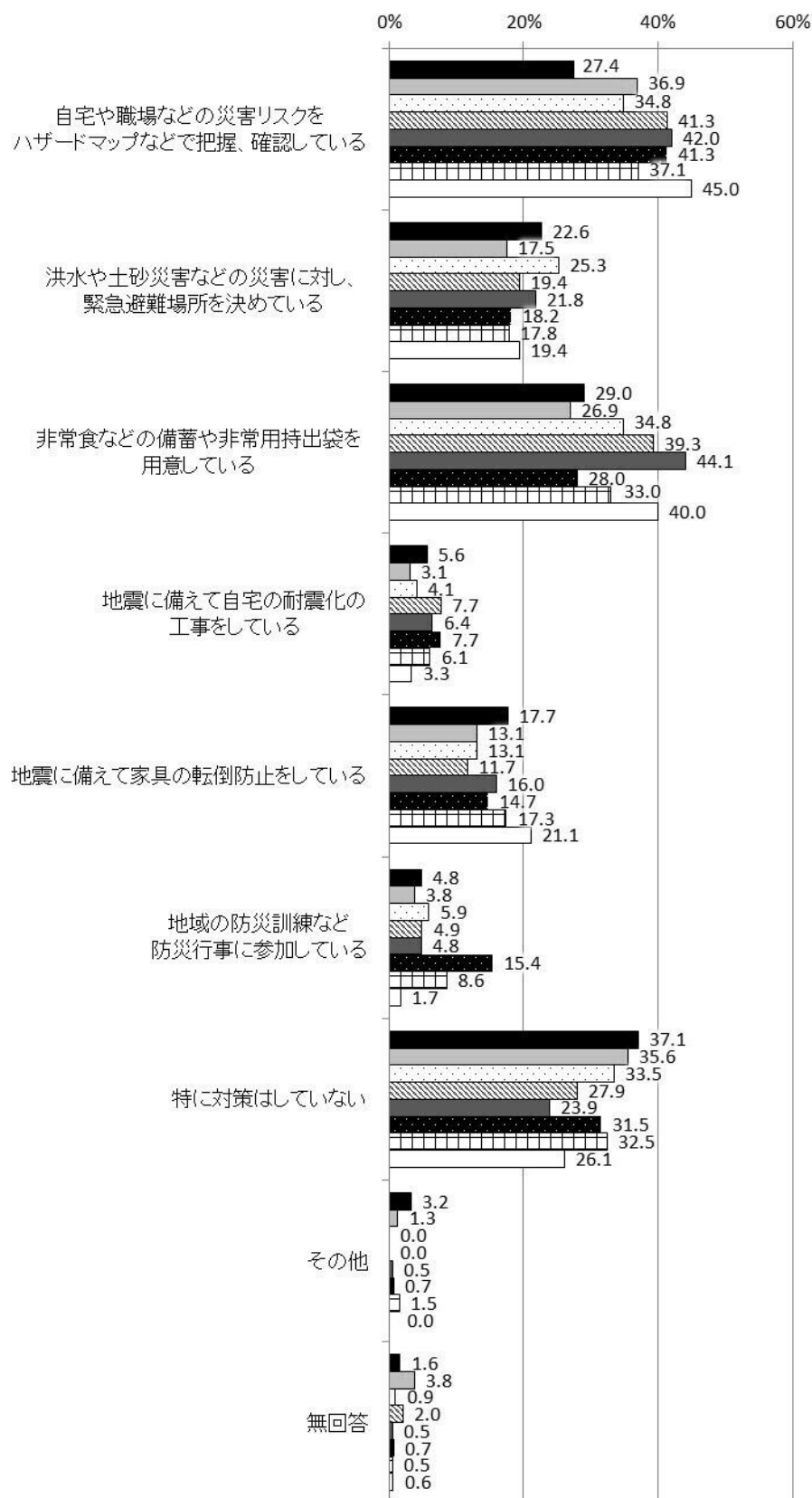
校区别にみると青柳小学校区、花鶴小学校区以外では「自宅や職場などの災害リスクをハザードマップなどで把握、確認している」が最も多い。一方、青柳小学校区では「特に対策はしていない」が、花鶴小学校区では「非常食などの備蓄や非常用持出袋を用意している」が最も多くなっている。

**【全体】**



【校区】

複数回答 n=1,460





## 4. 古賀市の住みやすさ

### (1) 古賀市の住みやすさ

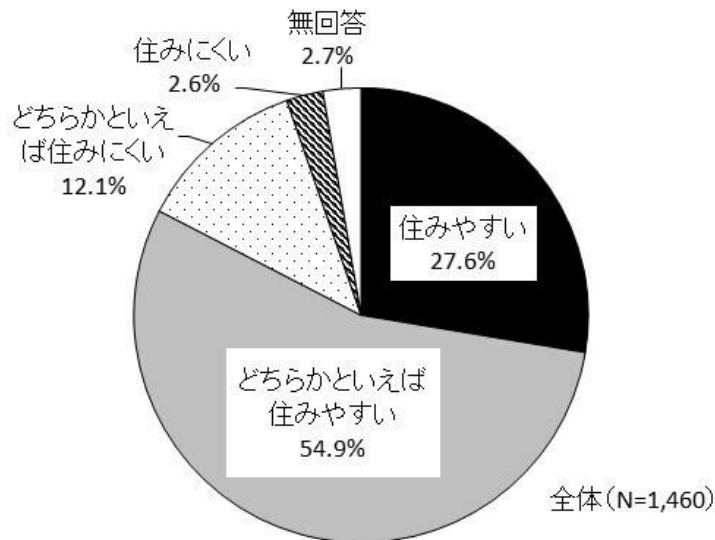
古賀市の住みやすさをみると、「どちらかといえば住みやすい」(54.9%)が最も多く、次いで「住みやすい」(27.6%)、「どちらかといえば住みにくい」(12.1%)となっている。また、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』は8割を超えている。

20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、全体と同様の傾向であるが、女性よりも男性の方が『住みやすい』の割合が高くなっている。

校區別にみると青柳小学校区と小野小学校区を除く、全ての小学校区で『住みやすい』が8割を超えており、全体と同様の結果となっている。青柳小学校区と小野小学校区では『住みやすい』が約7割と、他の地域に比べて低い。また、他の地域では「住みやすい」が3割ほどとなっているのに対し、青柳小学校区と小野小学校区では2割以下と低くなっている。

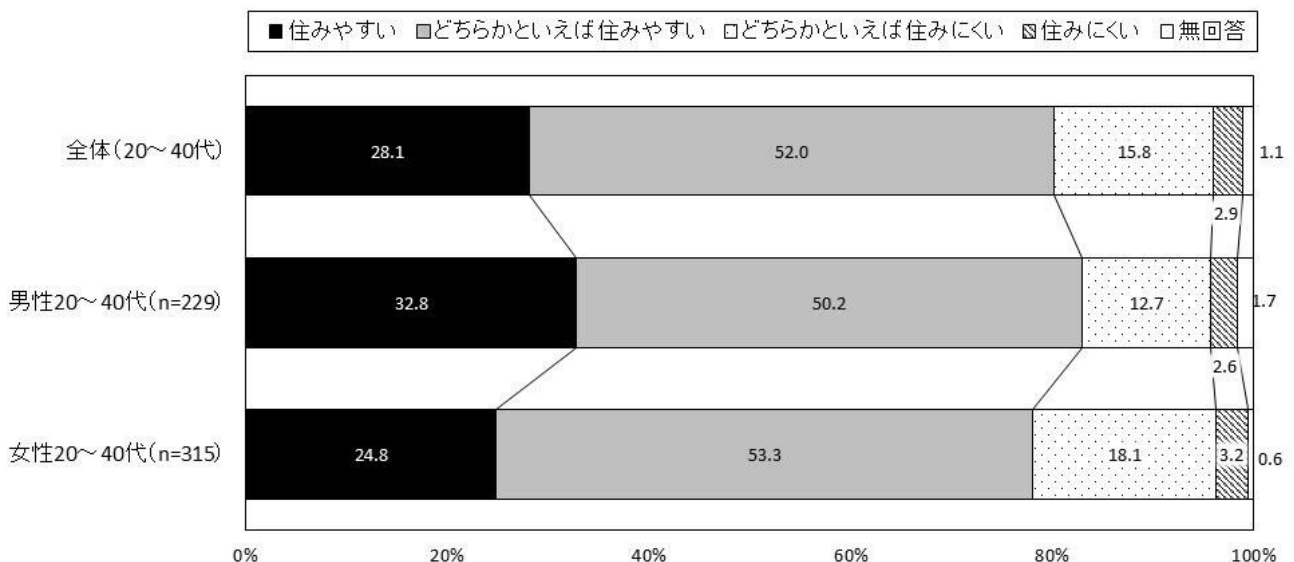
経年比較をみると、令和元年に比べて『住みやすい』の割合が高くなっている。

#### 【全体】

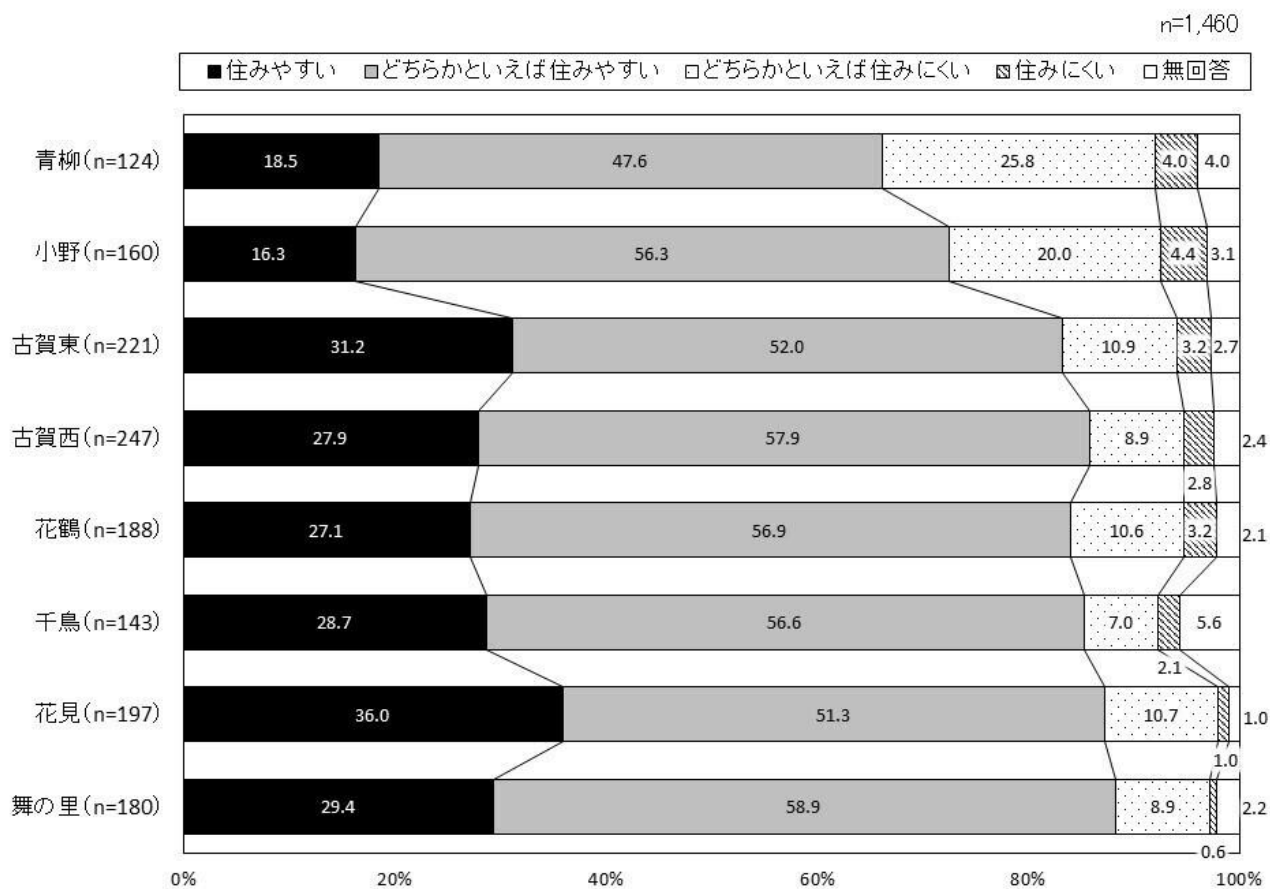


#### 【20~40代】

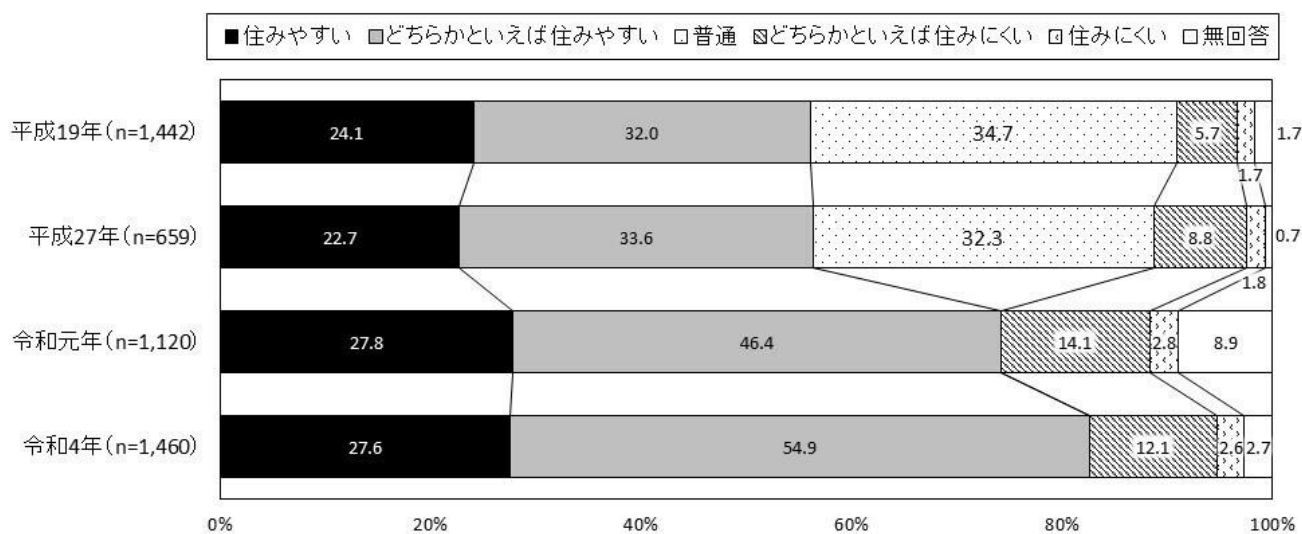
n=544



【校区】



【経年比較】



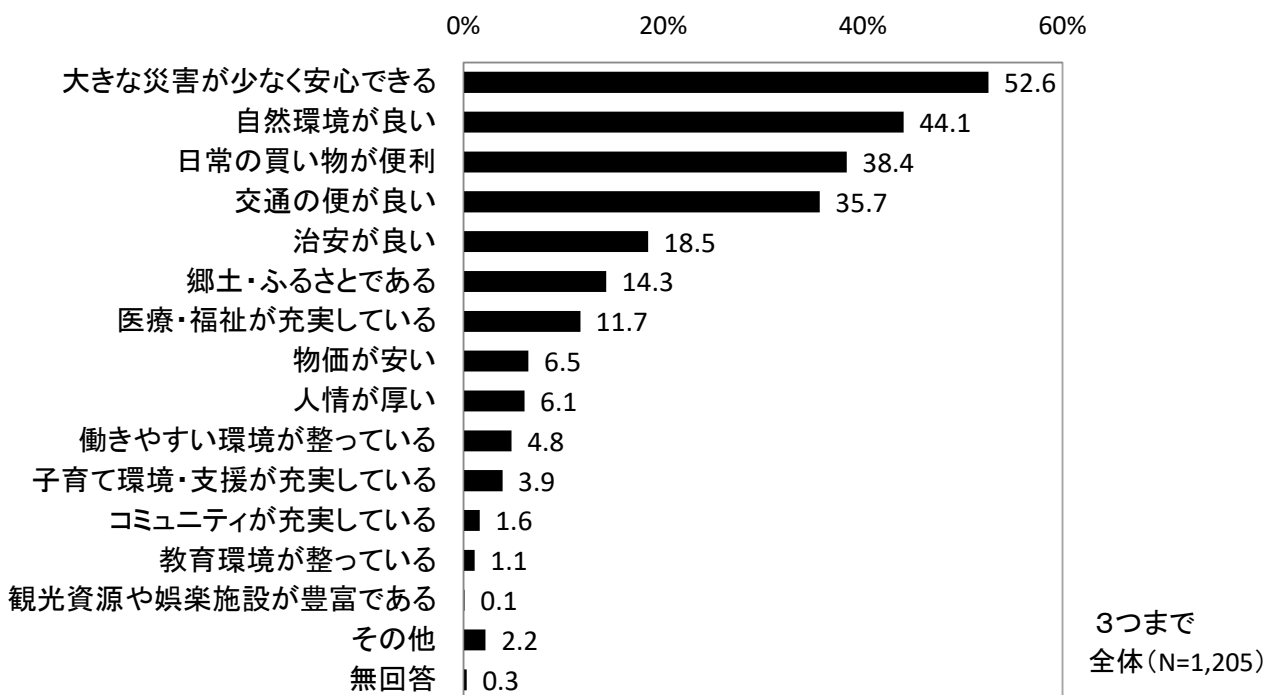
※令和元年以降、選択肢「普通」は削除されている

(2) 住みやすい理由

住みやすい理由をみると、「大きな災害が少なく安心できる」(52.6%)が最も多く、次いで「自然環境が良い」(44.1%)、「日常の買い物が便利」(38.4%)となっている。

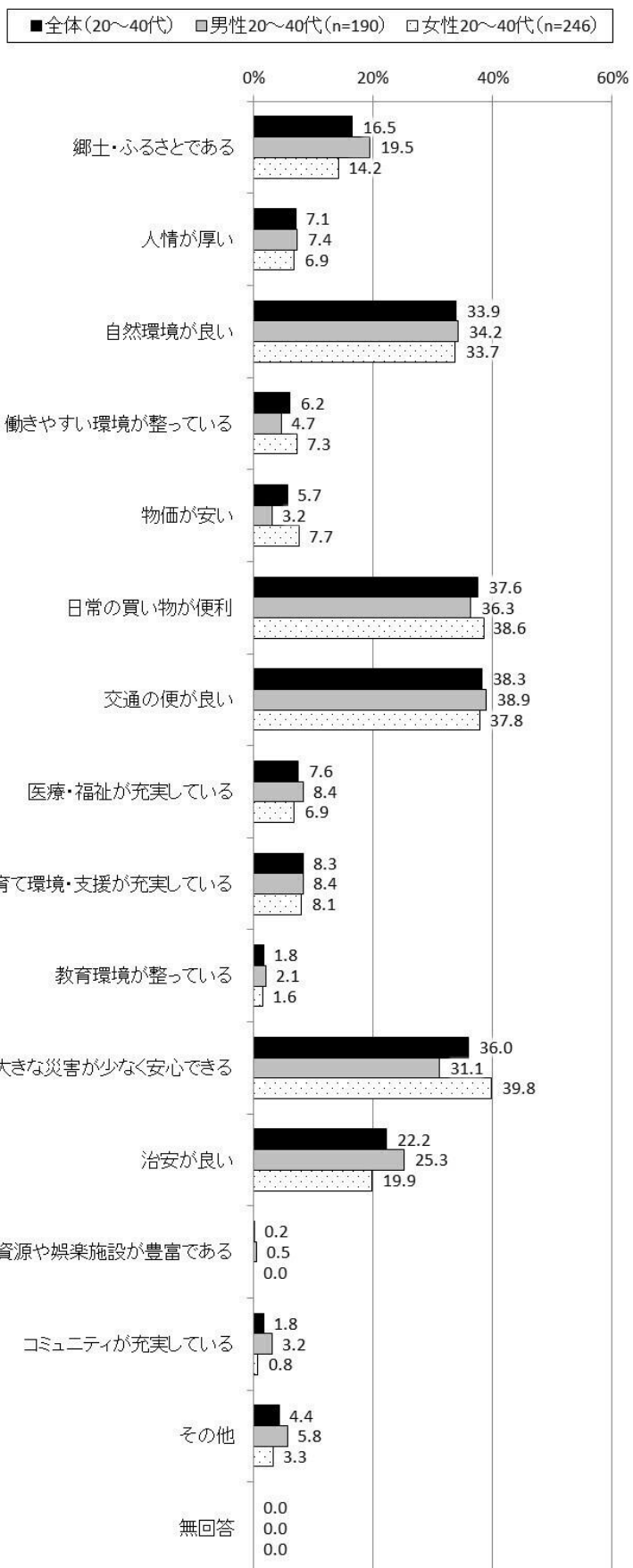
20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、「交通の便が良い」(38.3%)が最も多く、次いで「日常の買物が便利」(37.6%)、「大きな災害が少なく安心できる」(36.0%)となっている。

【全体】



【20～40代】

複数回答 n=436

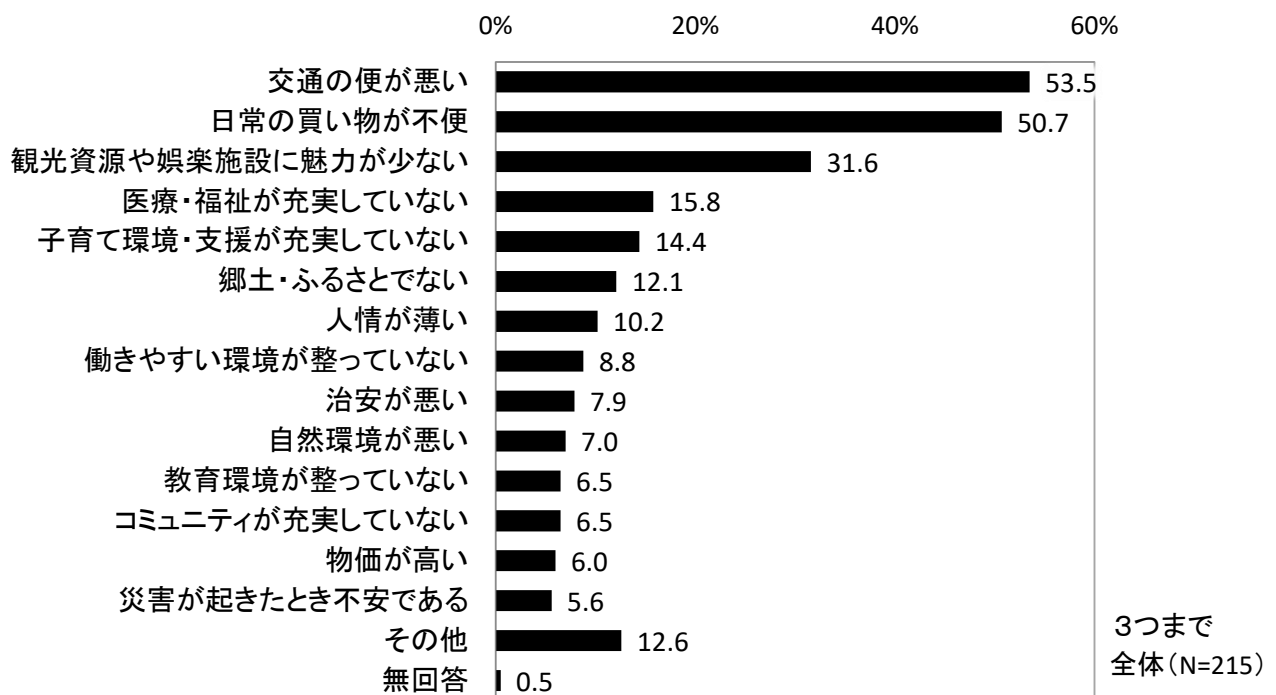


(3) 住みにくい理由

住みにくい理由をみると、「交通の便が悪い」(53.5%)が最も多く、次いで「日常の買い物が不便」(50.7%)、「観光資源や娯楽施設に魅力が少ない」(31.6%)となっている。

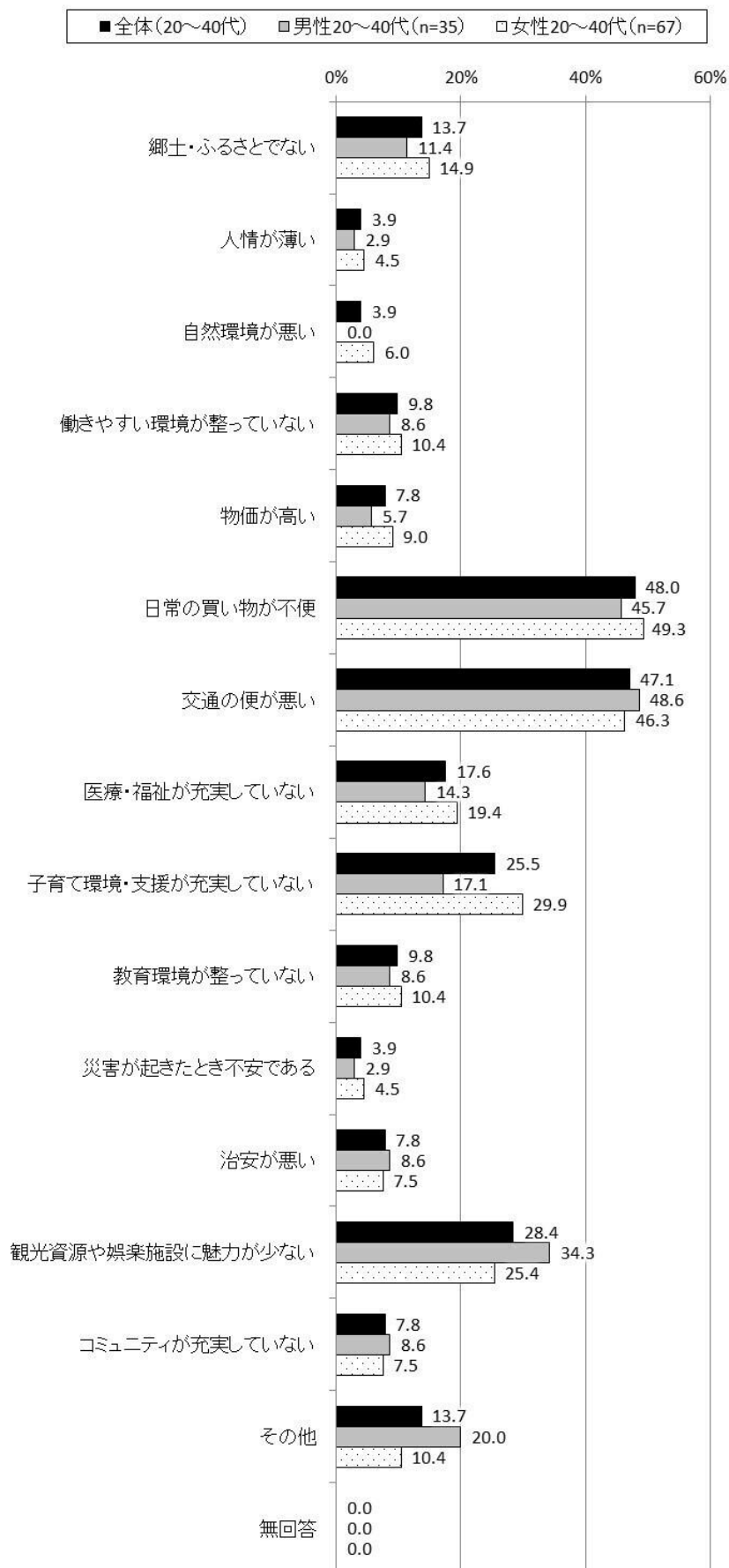
20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、順位は違うものの上位3項目は全体と同様のものとなっている。また、「子育て環境・支援が充実していない」が全体よりも10ポイントほど増えている。

**【全体】**



## 【20～40代】

3つまで n=102





(4) 古賀市への居留意向

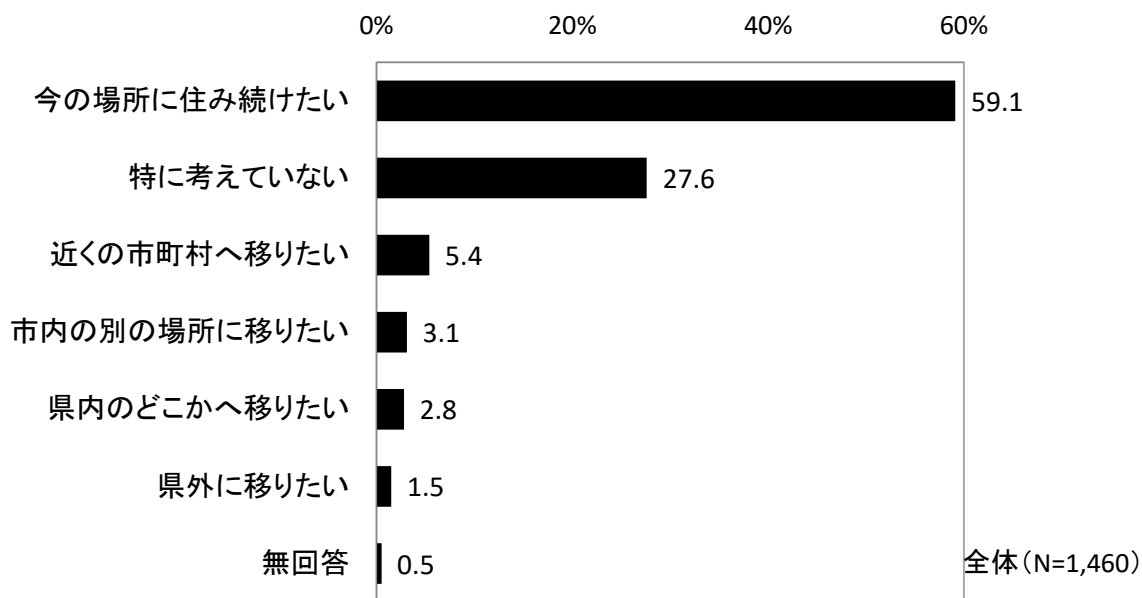
古賀市への居留意向をみると、「今の場所に住み続けたい」(59.1%)が最も多く、次いで「特に考えていない」(27.6%)、「近くの市町村へ移りたい」(5.4%)となっている。また、約1割の人が市外に移りたいと回答している。

20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、「今の場所に住み続けたい」が約5割となっており、全体よりも1割ほど低くなっている。

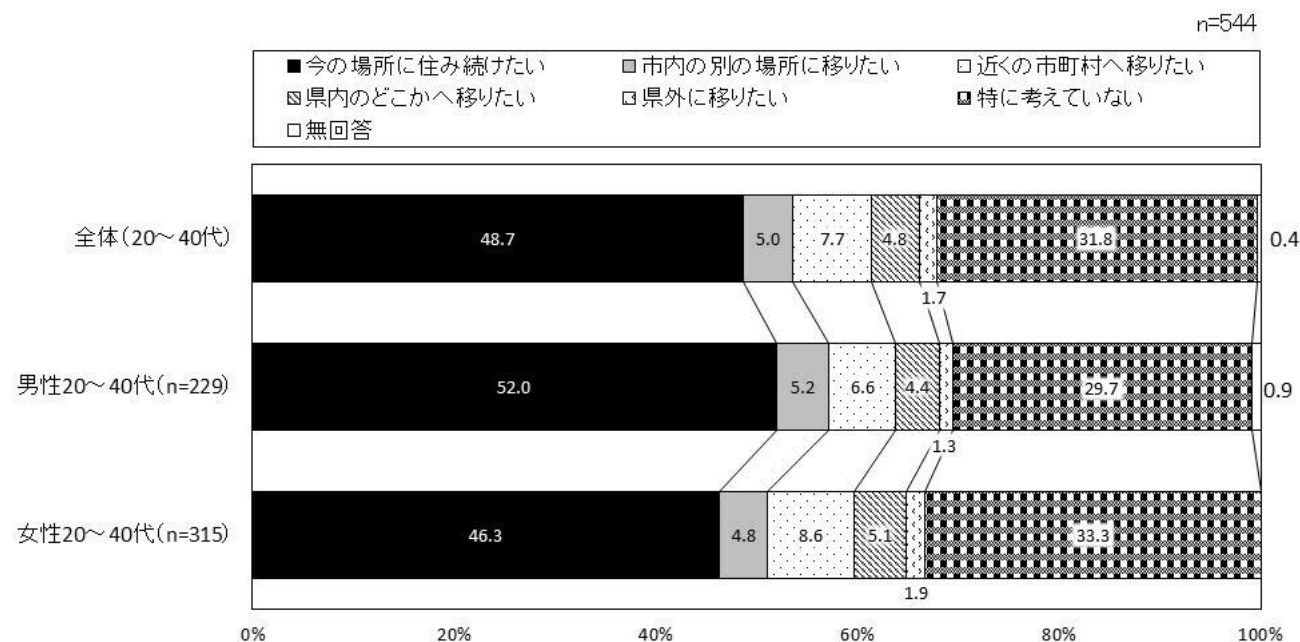
校区别にみると、千鳥小学校区と花見小学校区では「今の場所に住み続けたい」が約7割となっており、他の地域に比べて1~2割ほど高くなっている。一方、青柳小学校区、小野小学校区、花鶴小学校区では約1割の人が市外に移りたいと回答しており、他の地域に比べて多い。

経年比較をみると、令和元年に比べて「今の場所に住み続けたい」が5ポイントほど増え、市外に移りたい人が5ポイントほど減っている。

【全体】

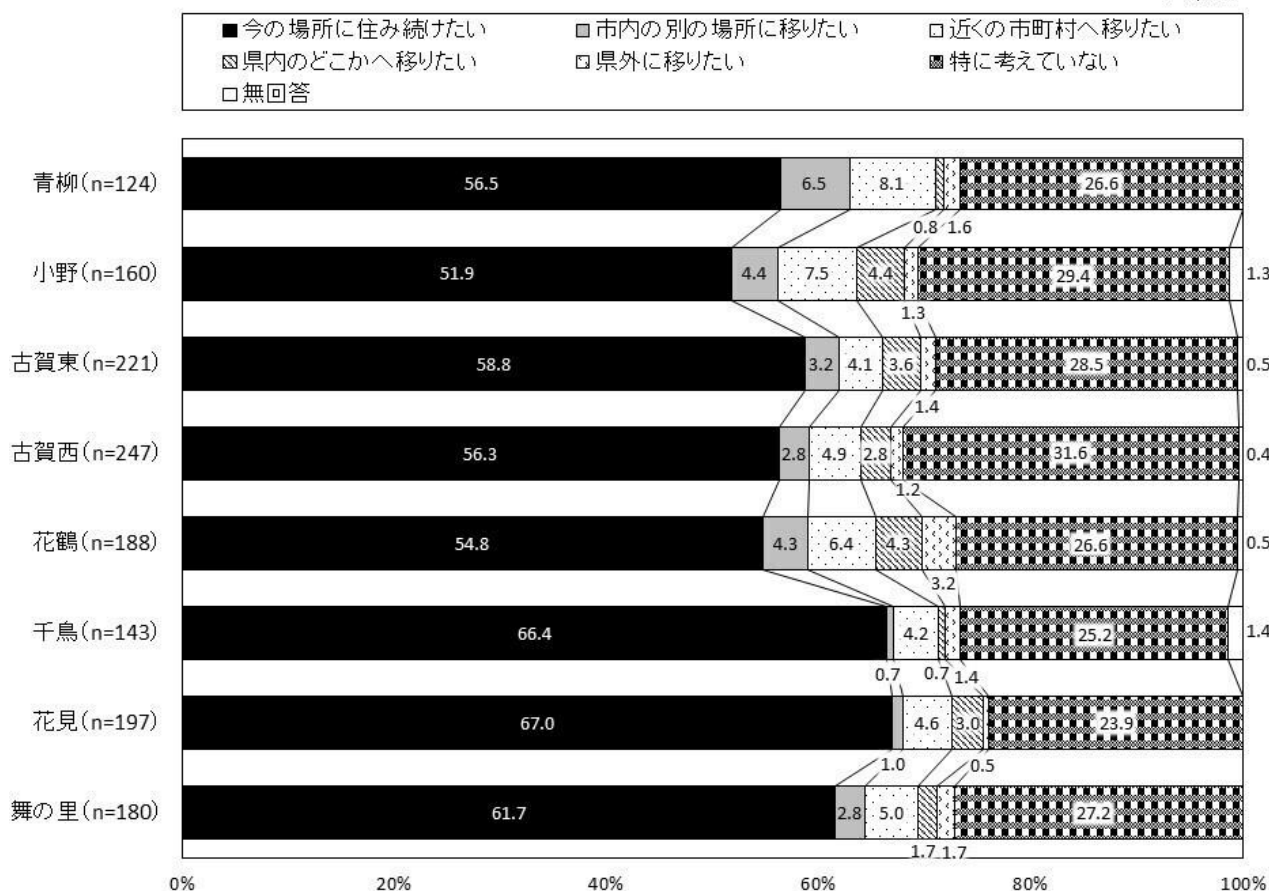


【20~40代】

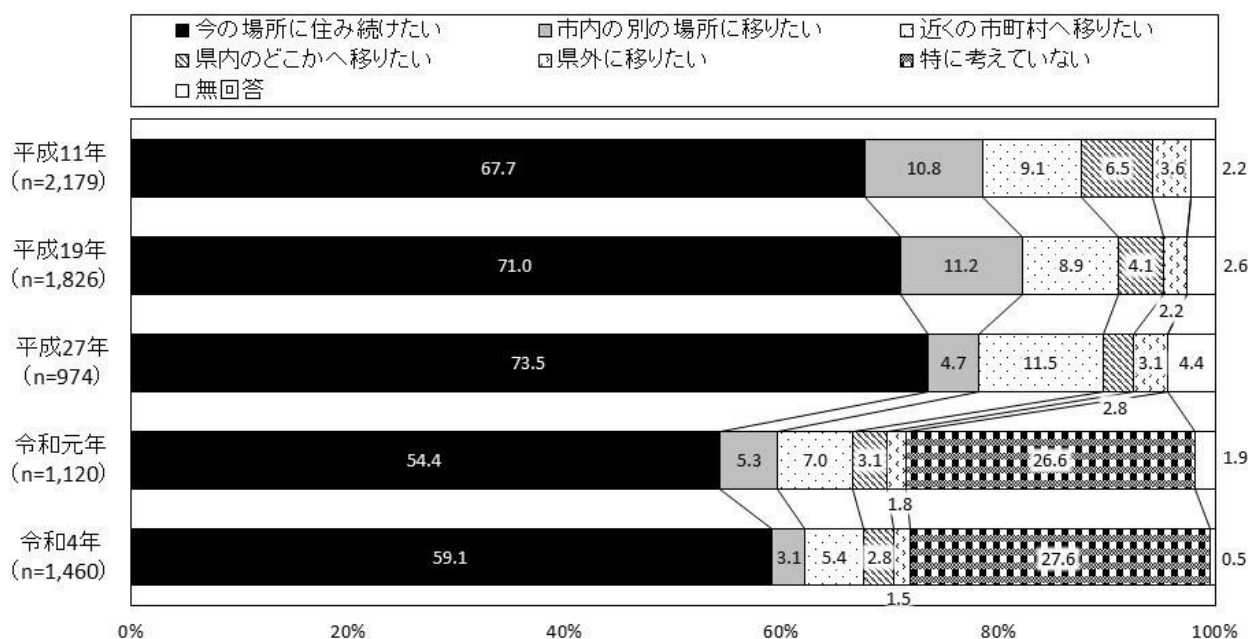


【校区】

n=1,460



【経年比較】



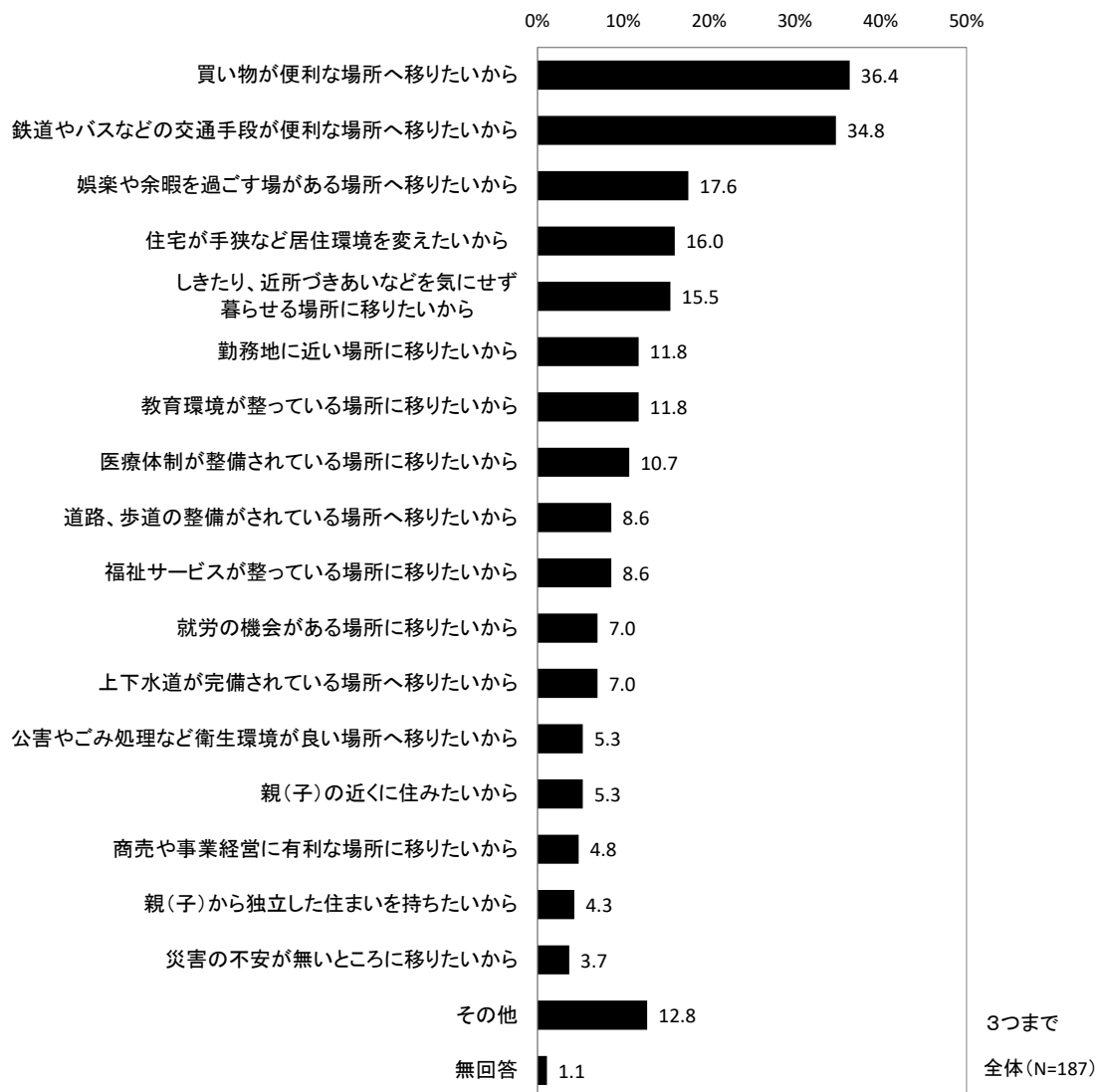
(5) 他の場所に移りたい理由

他の場所に移りたい理由をみると、「買い物が必要な場所へ移りたいから」(36.4%)が最も多く、次いで「鉄道やバスなどの交通手段が必要な場所へ移りたいから」(34.8%)、「娯楽や余暇を過ごす場がある場所へ移りたいから」(17.6%)となっている。

20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、ほぼ全体と同様の結果であるが、3位に「娯楽や余暇を過ごす場がある場所へ移りたいから」と同位で「教育環境が整っている場所に移りたいから」が挙がっている。

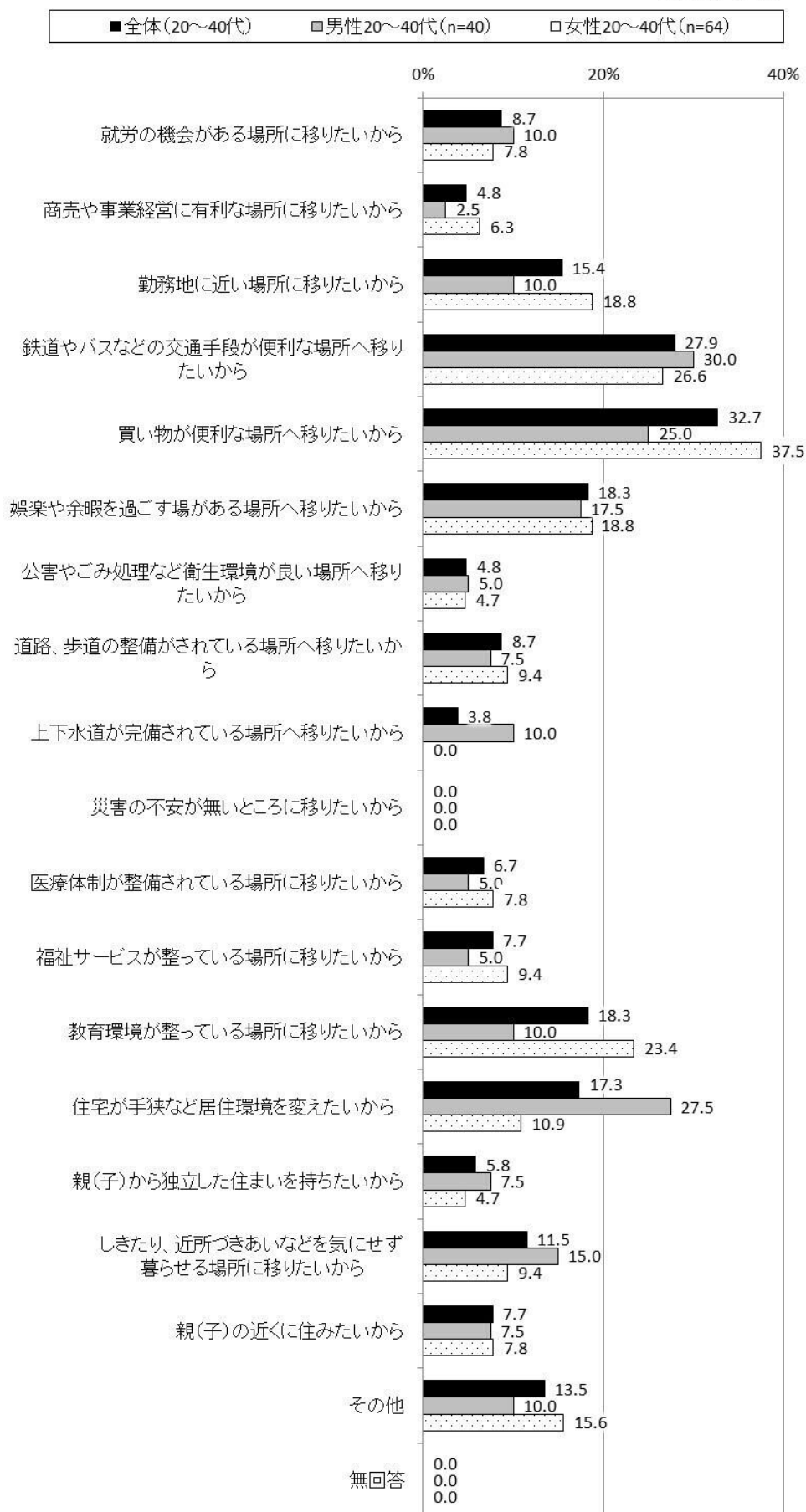
経年比較をみると割合に差はあるものの、どの年でも「鉄道やバスなどの交通手段が必要な場所へ移りたいから」「買い物が必要な場所へ移りたいから」「娯楽や余暇を過ごす場がある場所へ移りたいから」が比較的多くなっている。

**【全体】**



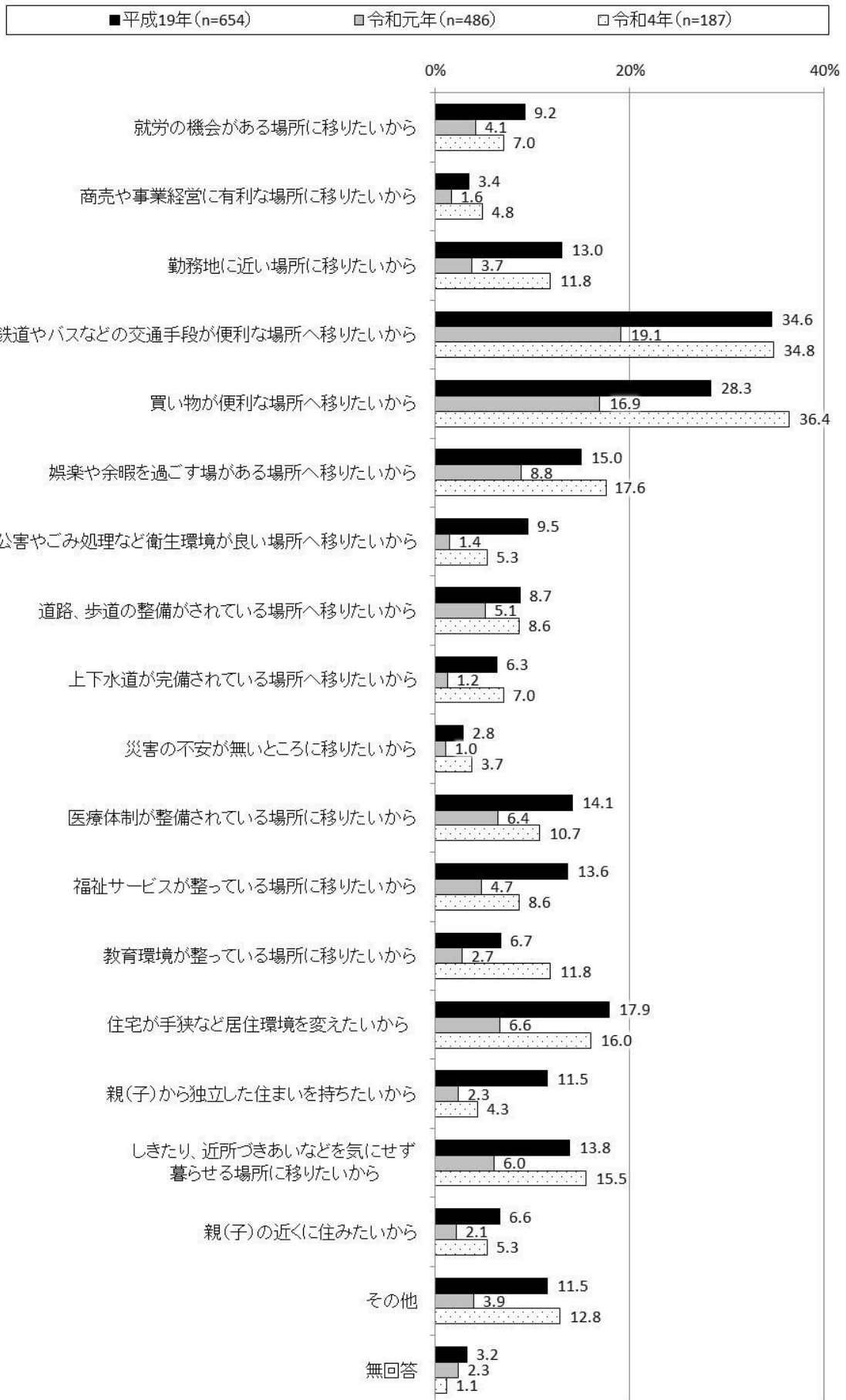
## 【20～40代】

3つまで n=104



【経年比較】

8つまで

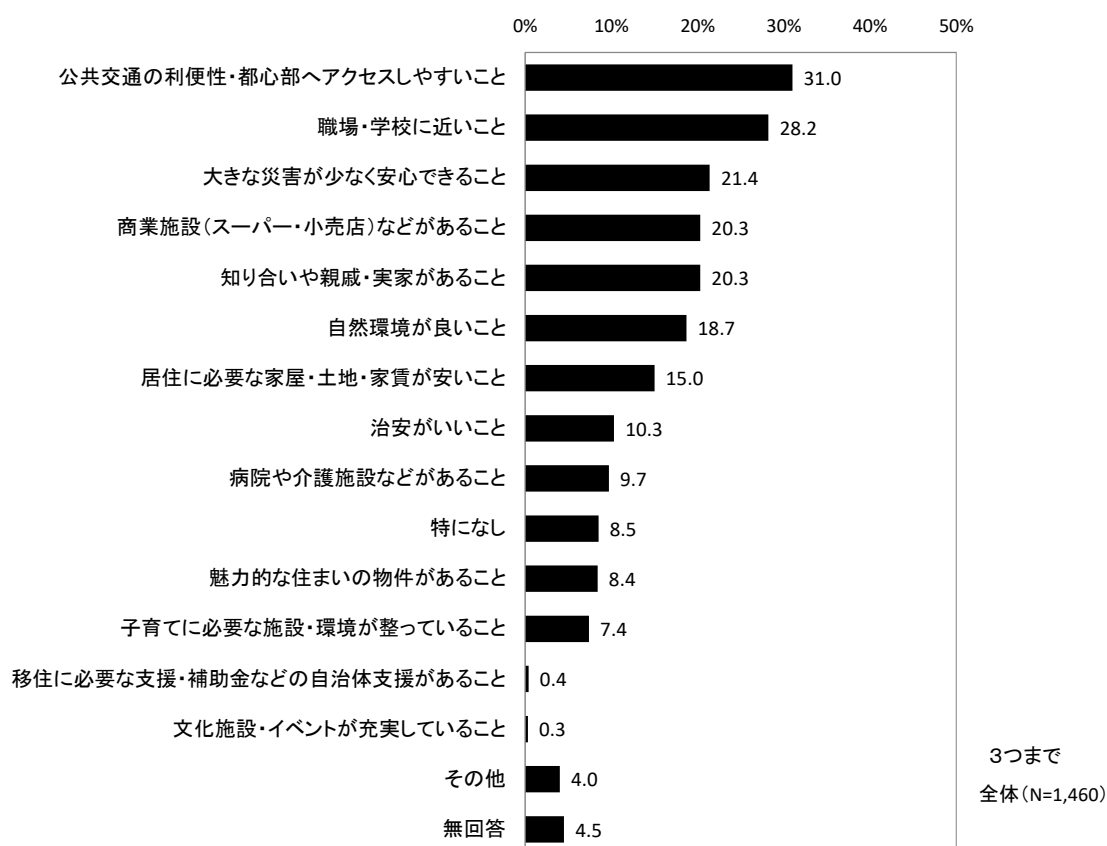


## (6) 現在の居住地を選ぶ際に重視したこと

現在の居住地を選ぶ際に重視したことをみると、「公共交通の利便性・都心部へアクセスしやすいこと」(31.0%)が最も多く、次に「職場・学校に近いこと」(28.2%)、「大きな災害が少なく安心できること」(21.4%)となっている。

20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、順位は異なるものの上位2項目は全体と同様のものとなっている。一方、3位は「知り合いや親戚・実家があること」(26.1%)となっている。

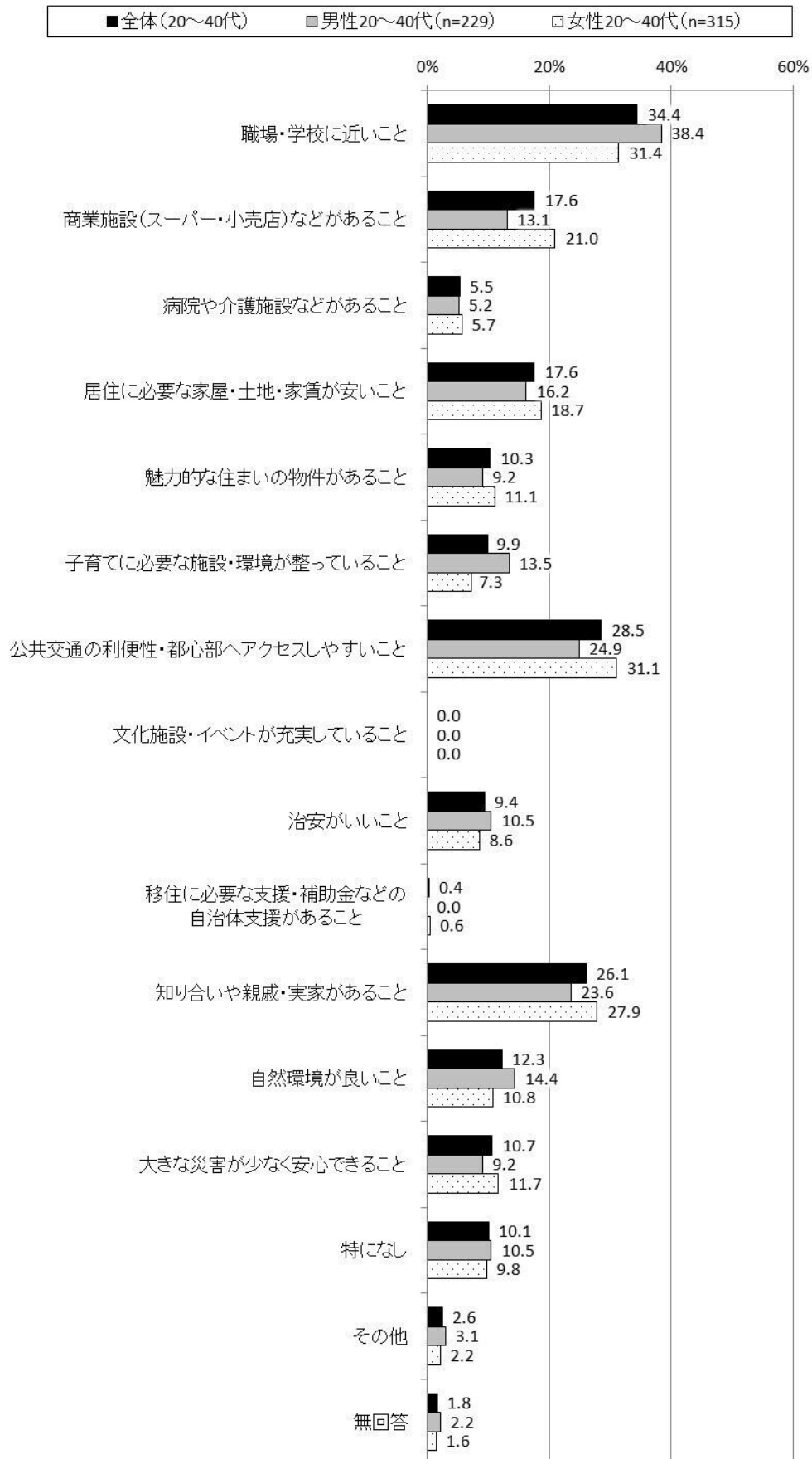
## 【全体】





【20～40代】

3つまで n=544



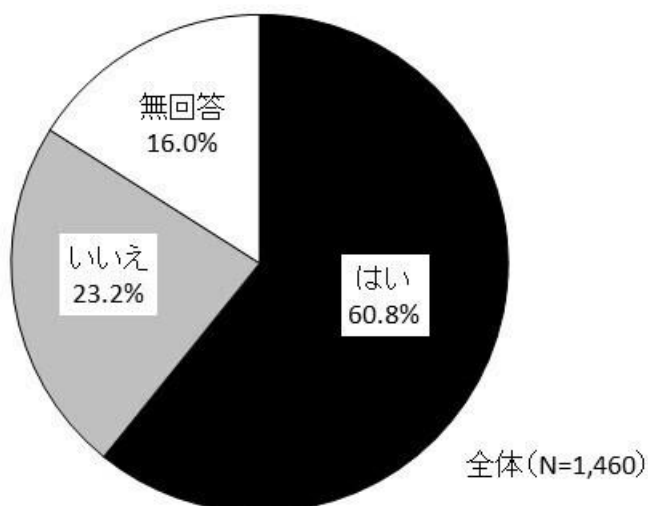
(7) 居住地域として古賀市を勧めたいか

居住地域として古賀市を勧めたいかをみると、「はい」(60.8%)が6割を超えており、最も多い。

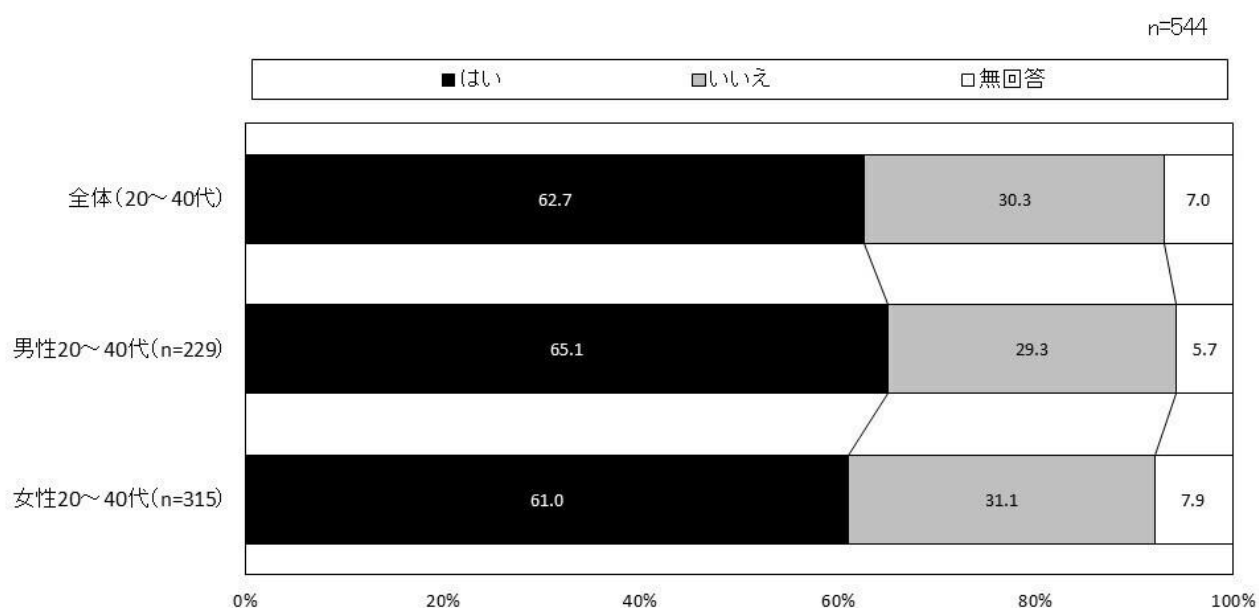
20~40代の子育て世代に絞ってみると全体同様の結果であった。

校区別にみると千鳥小学校区と舞の里小学校区では「はい」が約7割と、他の地域に比べて1割ほど高くなっている。

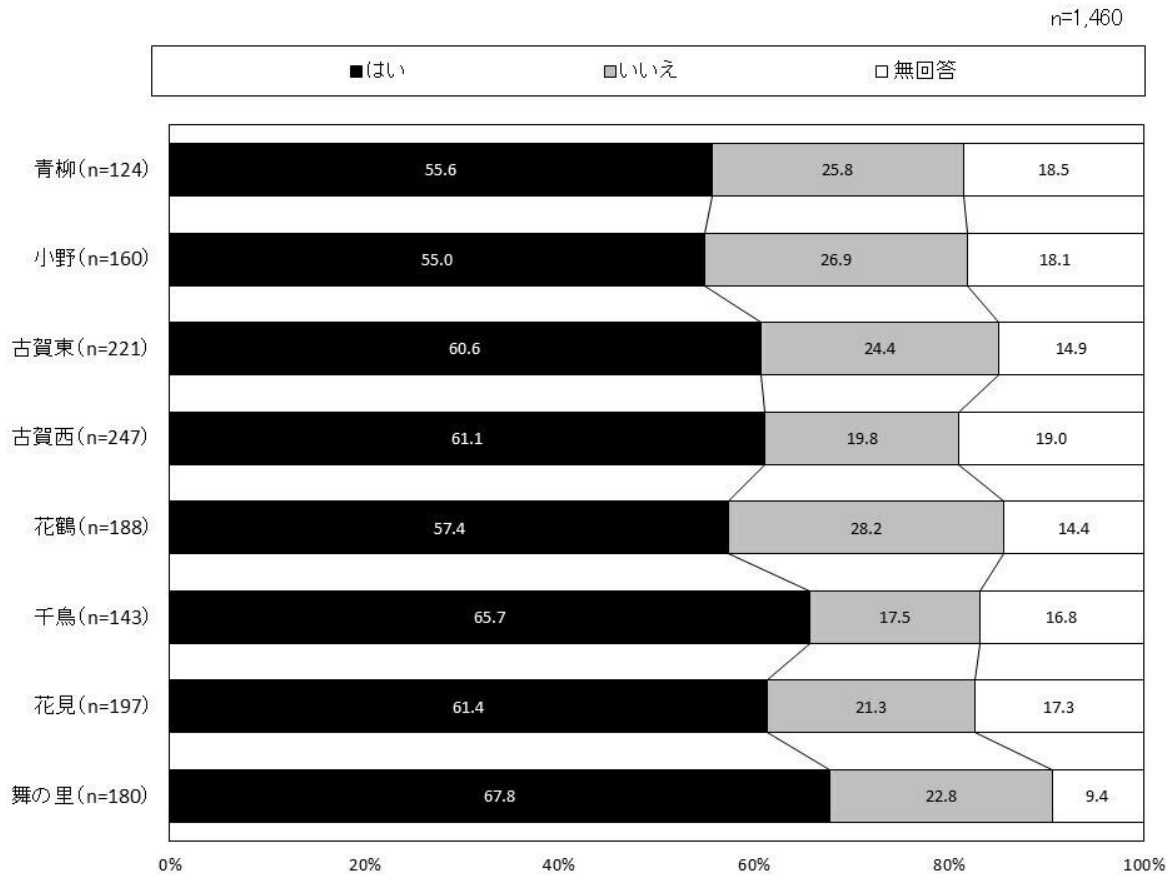
**【全体】**



**【20~40代】**



【校区】



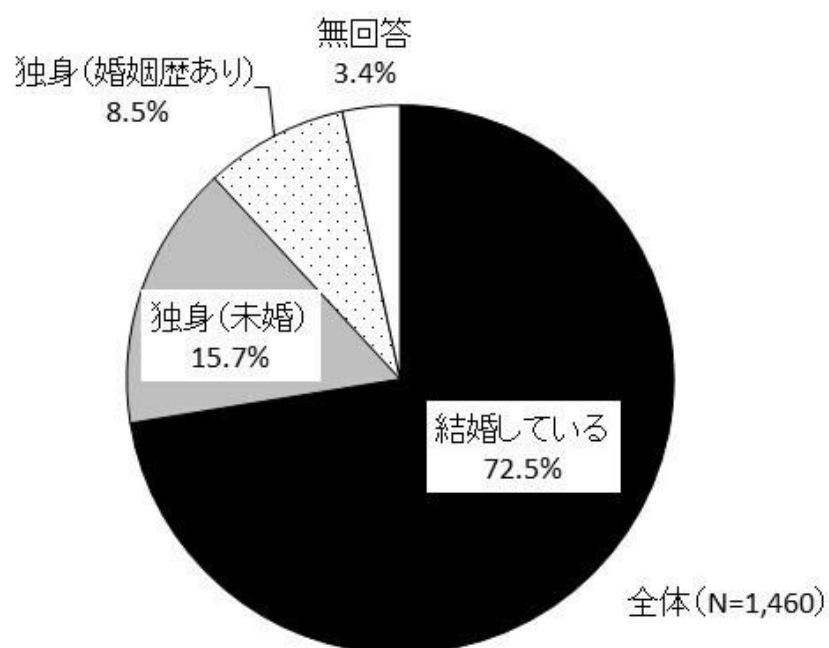
## 5. 結婚・子育て

### (1) 婚姻状況

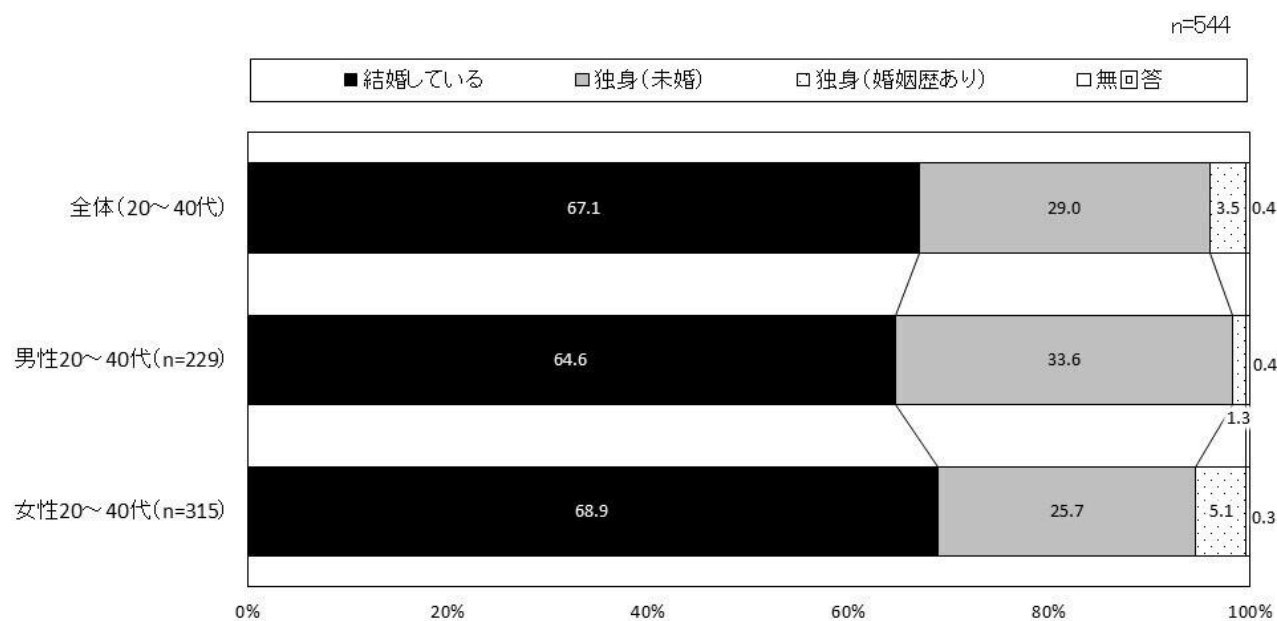
婚姻状況を見ると、「結婚している」(72.5%)が最も多く、次いで「独身(未婚)」(15.7%)、「独身(婚姻歴あり)」(8.5%)となっている。

20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、独身(未婚)が3割程度と全体より増加している。

#### 【全体】



#### 【20~40代】



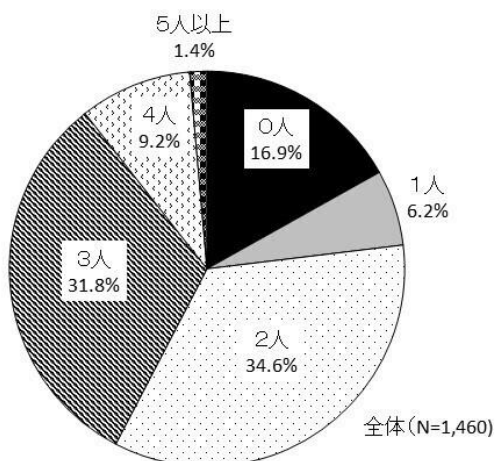
(2) 希望する子どもの数

希望する子どもの数を見ると、「2人」(34.6%)が最も多く、次いで「3人」(31.8%)、「4人」(9.2%)となっている。また、希望する子どもの数の平均は2.15人であった。一方、実際の子どもの数は「2人」(30.8%)が最も多く、次いで「0人」(25.0%)、「3人」(22.2%)となっている。また、実際の子どもの数の平均は1.74人であった。全体として、希望する子どもの数と実際の子どもの数の差は0.41人となっている。

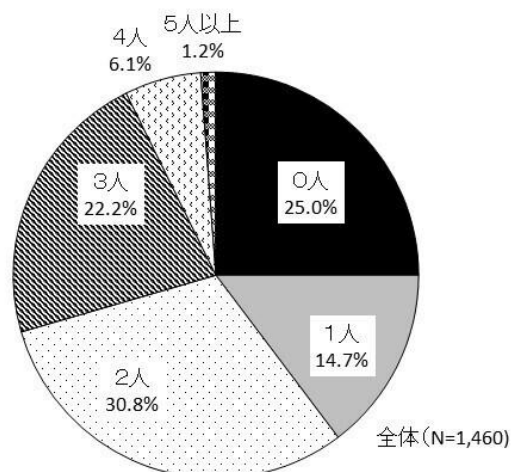
20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、希望する子どもの数の平均は2.36人、実際の子どもの数の平均は1.81人で、その差は0.55人となっており、全体よりも若干差が大きい。なお、前回調査(令和元年)では希望する子どもの数の平均は2.21人、実際の子どもの数は1.48人と差は0.73人であった。

【全体】

<希望する子どもの数(平均2.15人)>

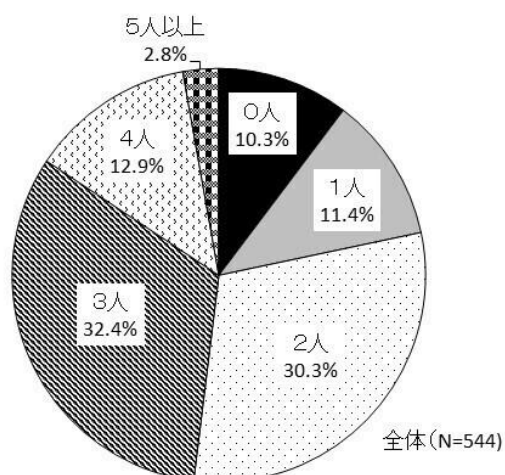


<実際の子どもの数(平均1.74人)>

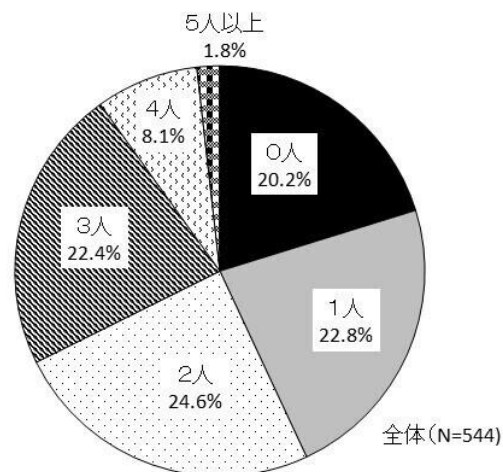


【20~40代】

<希望する子どもの数(平均2.36人)>



<実際の子どもの数(平均1.81人)>

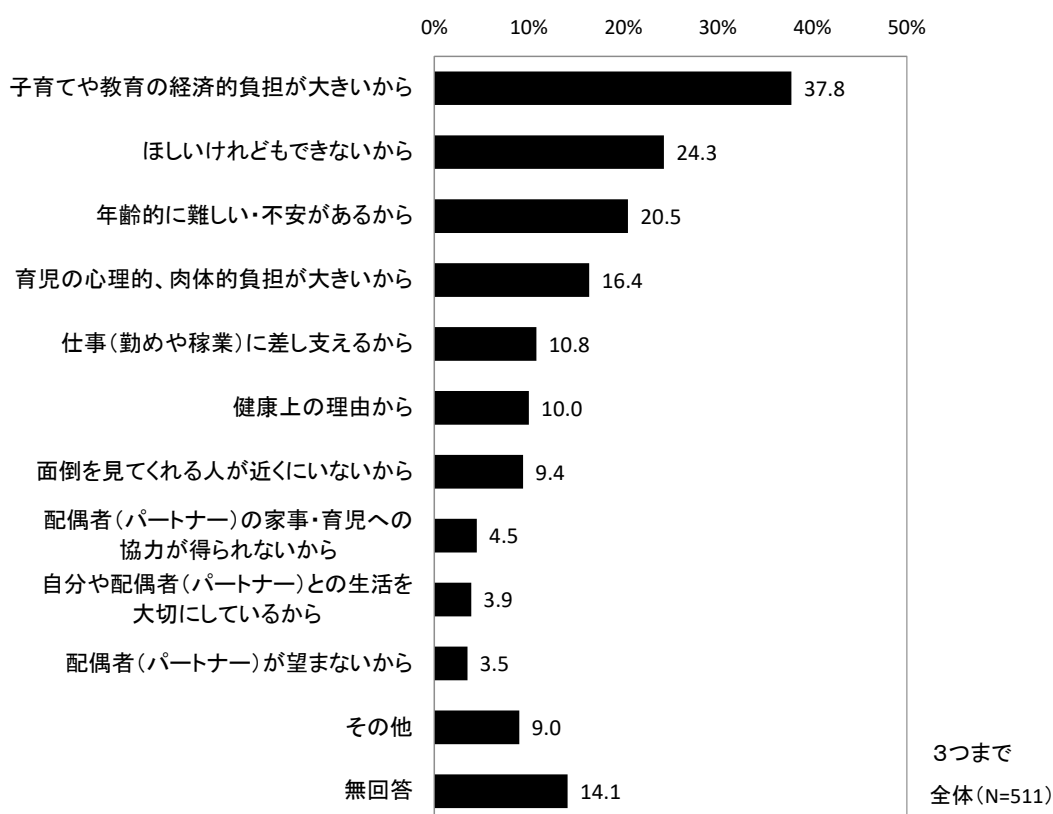


## (3) 希望する子どもの数よりも実際の子どもの数が少ない理由

希望する子どもの数よりも実際の子どもの数が少ない理由をみると、「子育てや教育の経済的負担が大きいから」(37.8%)が最も多く、次いで「ほしいけれどもできないから」(24.3%)、「年齢的に難しい・不安があるから」(20.5%)となっている。

20~40代の子育て世代に絞ってしてみると、上位2項目までは全体と同様であるが、3位は「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」(20.9%)となっている。また、1位の「子育てや教育の経済的負担が大きいから」は、全体よりも10ポイントほど多くなっている。男女差についてみると経済的負担については男性の方が5ポイント高く、心理的・肉体的負担においては女性の方が6ポイントほど高くなっている。

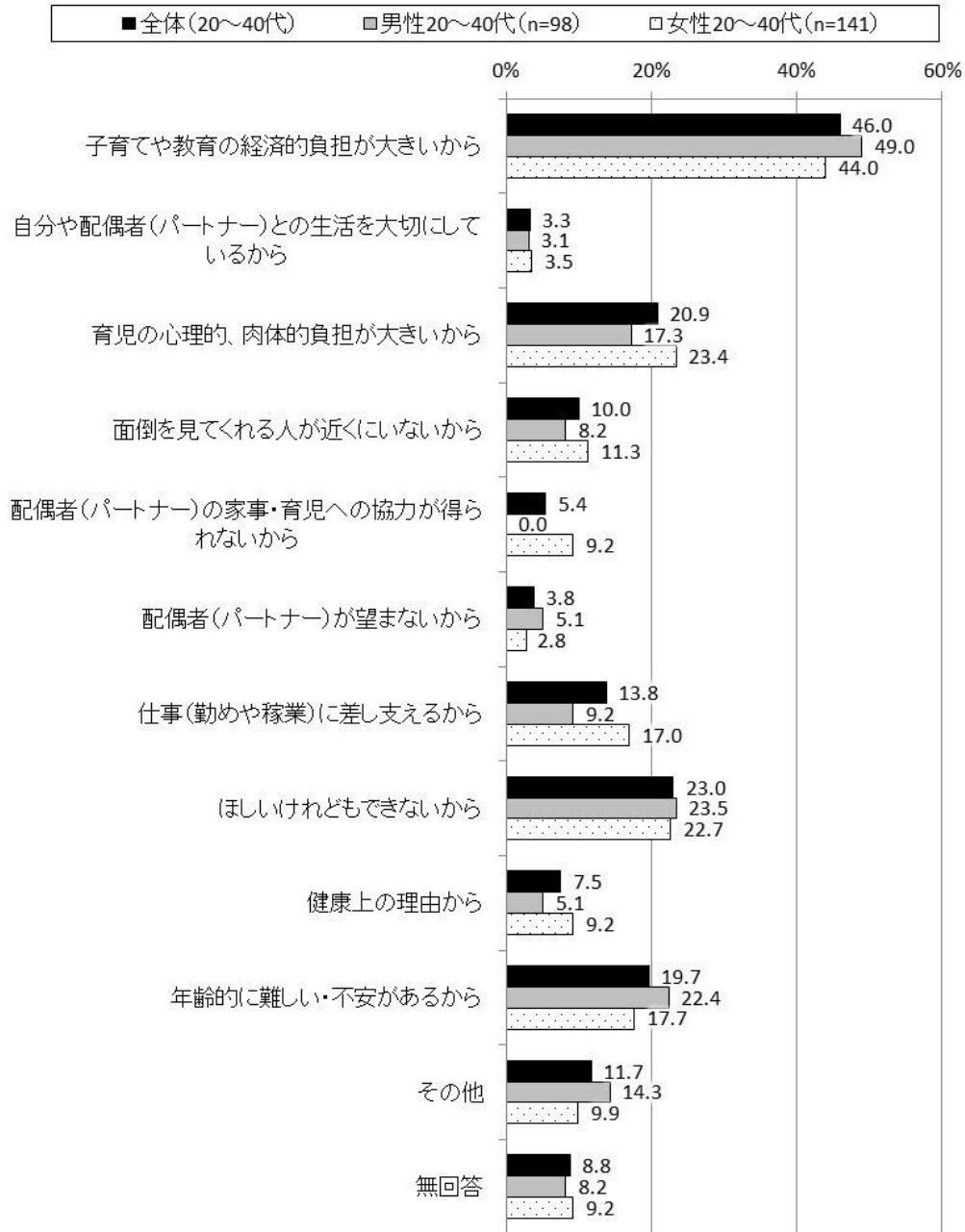
## 【全体】





【20～40代】

3つまで n=239



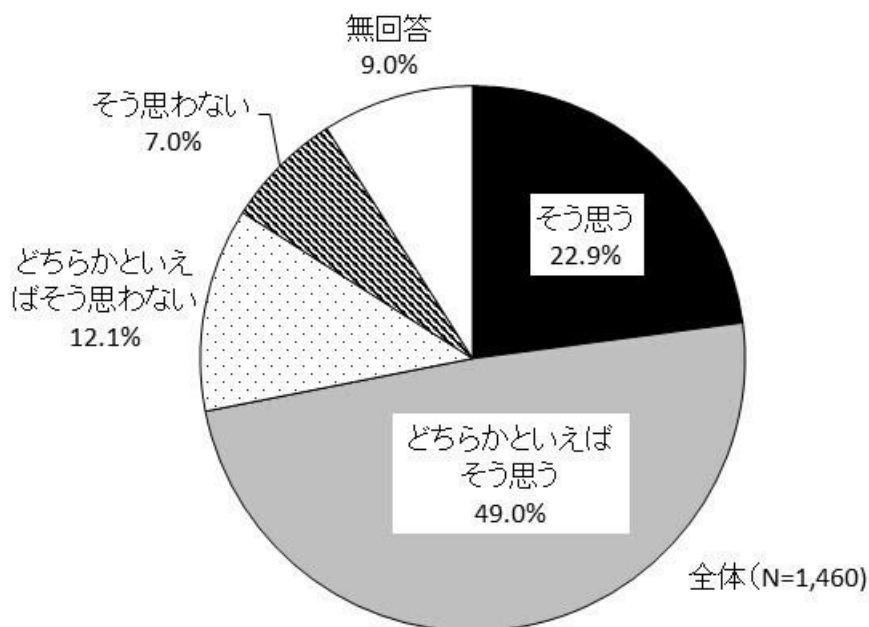
## (4) 古賀市で子育てをしたいか

古賀市で子育てをしたいかみると、「どちらかといえばそう思う」(49.0%)が最も多く、次いで「そう思う」(22.9%)、「どちらかといえばそう思わない」(12.1%)となっている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は約7割を占めており、古賀市での子育てを肯定的に捉えている人が多い。

20～40代の子育て世代に絞ってしてみると、古賀市での子育てを肯定的に捉えている人の割合は全体同様7割ほどであった。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』は約3割となっており、全体よりも1割弱高い。

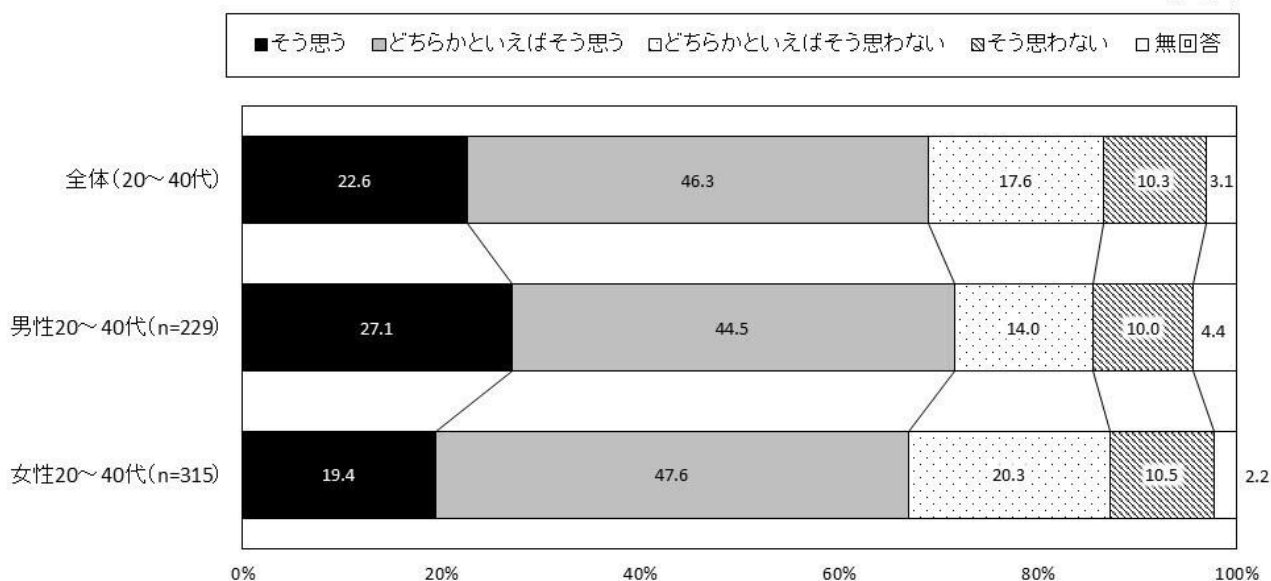
校区別にみると古賀西小学校区、花鶴小学校区、花見小学校区では「そう思わない」が約1割と他の地域に比べて多くなっている。

## 【全体】

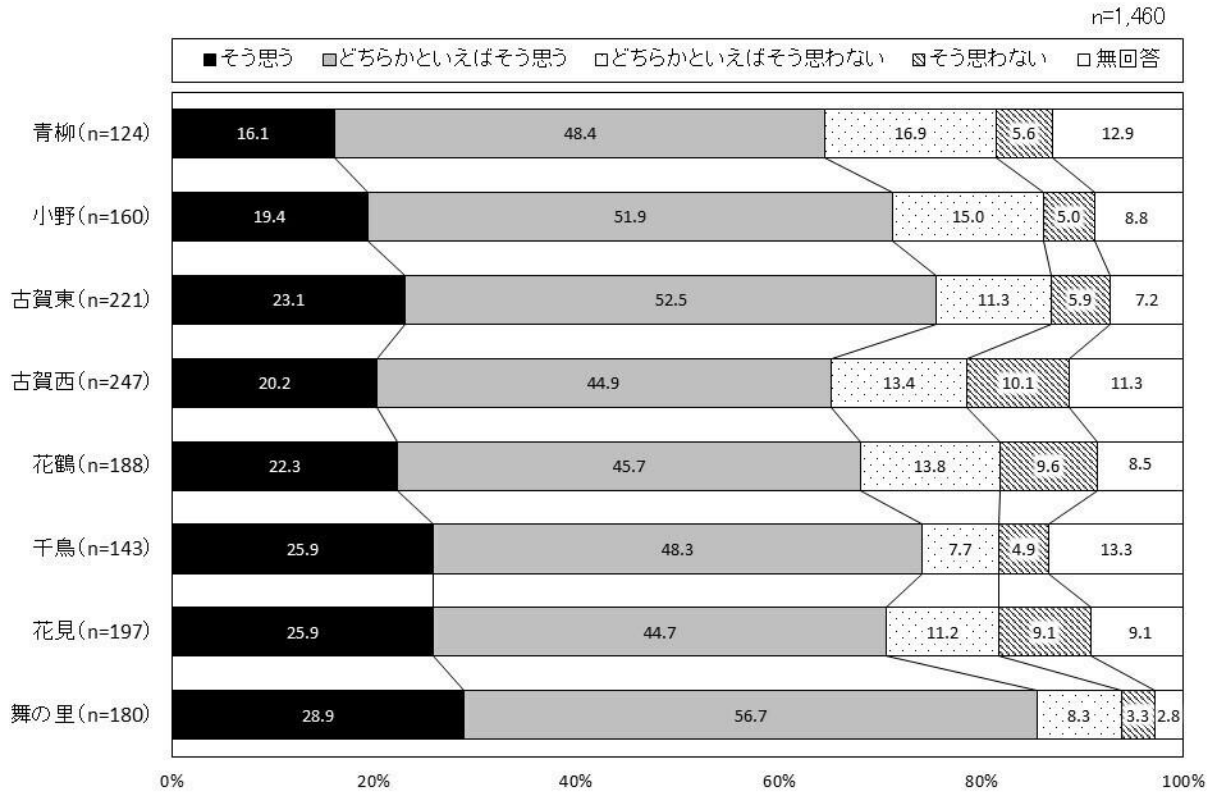


## 【20～40代】

n=544



【校区】

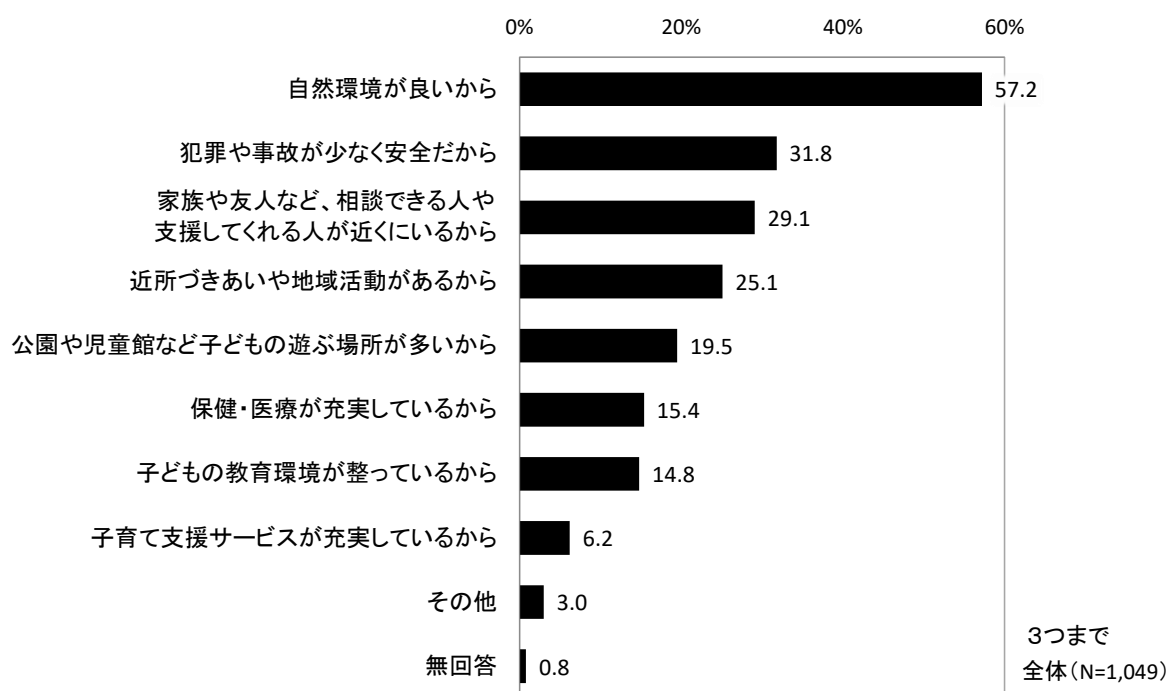


## (5) 古賀市で子育てをしたい理由

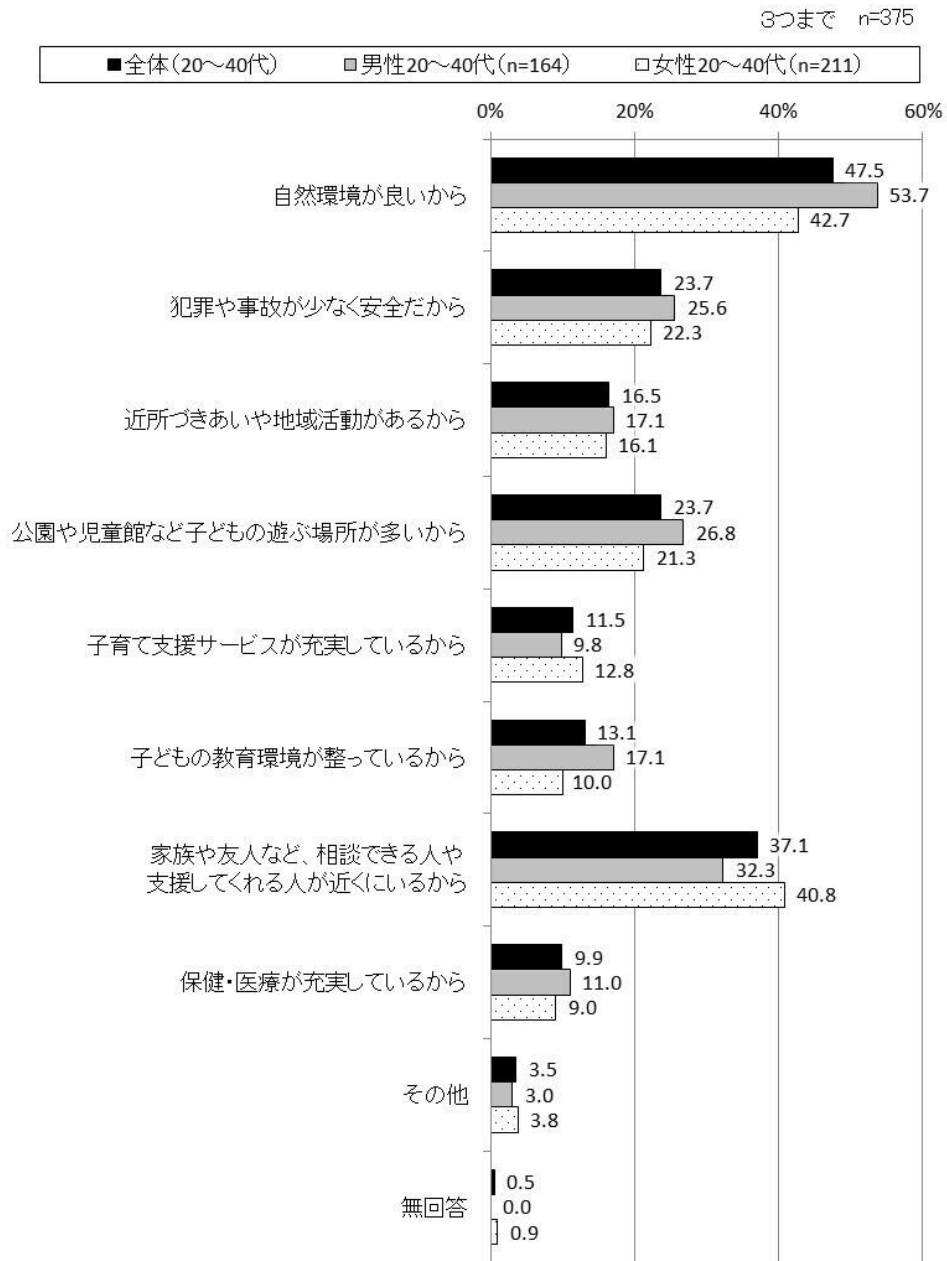
古賀市で子育てをしたい理由は、「自然環境が良いから」(57.2%) が最も多く、次いで「犯罪や事故が少なく安全だから」(31.8%)、「家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから」(29.1%) となっている。

20~40 代の子育て世代に絞ってしてみると、「自然環境が良いから」が最も多いのは全体と変わらないが、2 位が「家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから」となっており、全体よりも 8 ポイント増えている。また子育て世代の男性は女性よりも「自然環境が良いから」が 11 ポイント高いのに対し、女性は男性よりも「家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから」が 9 ポイントほど高い。

## 【全体】



【20～40代】

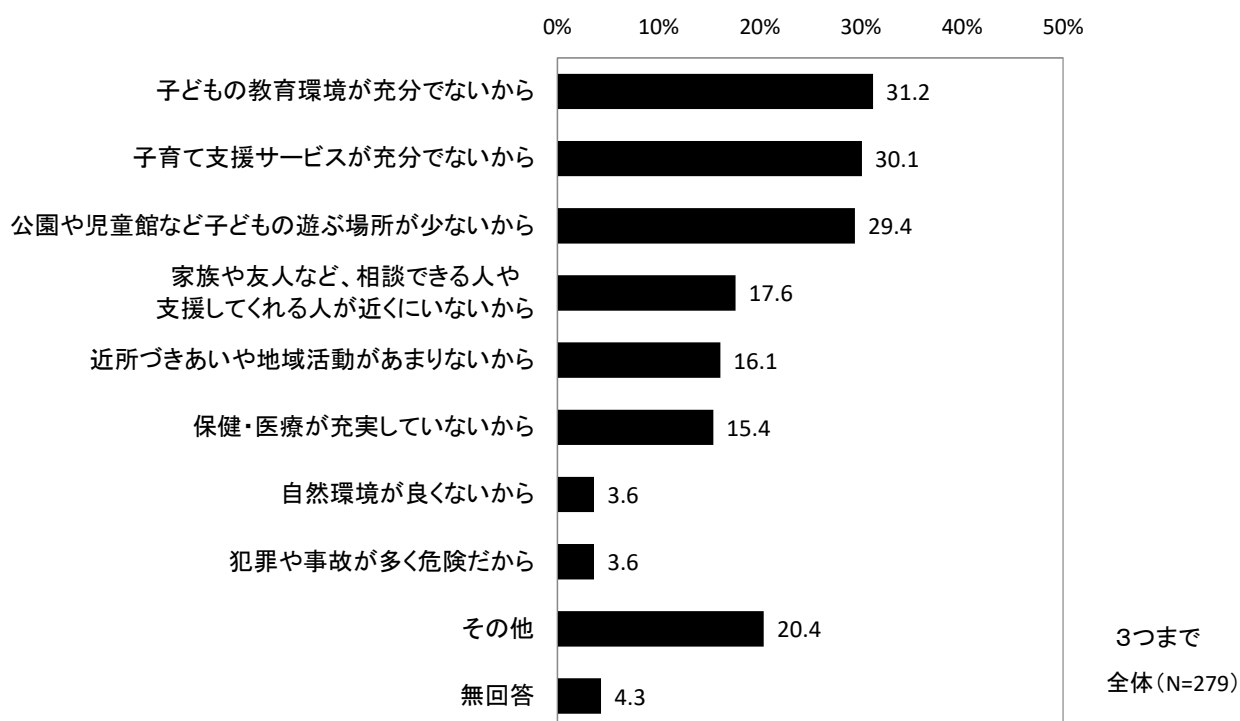


## (6) 古賀市で子育てをしたいと思わない理由

古賀市で子育てをしたいと思わない理由は、「子どもの教育環境が充分でないから」(31.2%)が最も多く、次いで「子育て支援サービスが充分でないから」(30.1%)、「公園や児童館など子どもの遊ぶ場所が少ないから」(29.4%)となっている。

20～40代の子育て世代に絞ってしてみると、順位に相違はあるものの、上位3項目は変わらなかった。ただし全体では上位3項目が僅差となっているのに対し、20～40代の子育て世代では1位である「子育て支援サービスが充分でないから」が約4割、2位である「公園や児童館など子どもの遊ぶ場所が少ないから」が約3割と1割ほどの差がある。

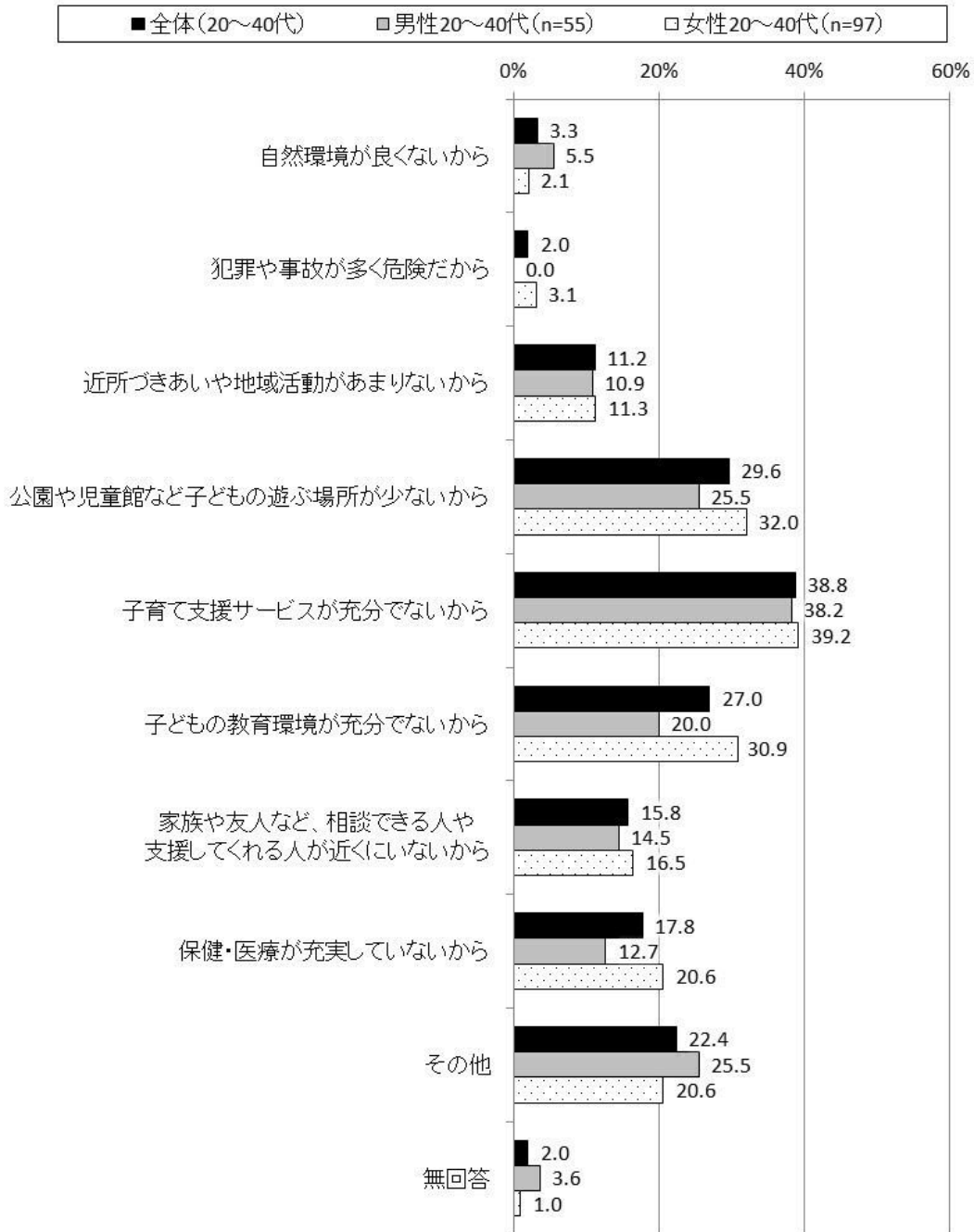
## 【全体】





【20～40代】

3つまで n=152

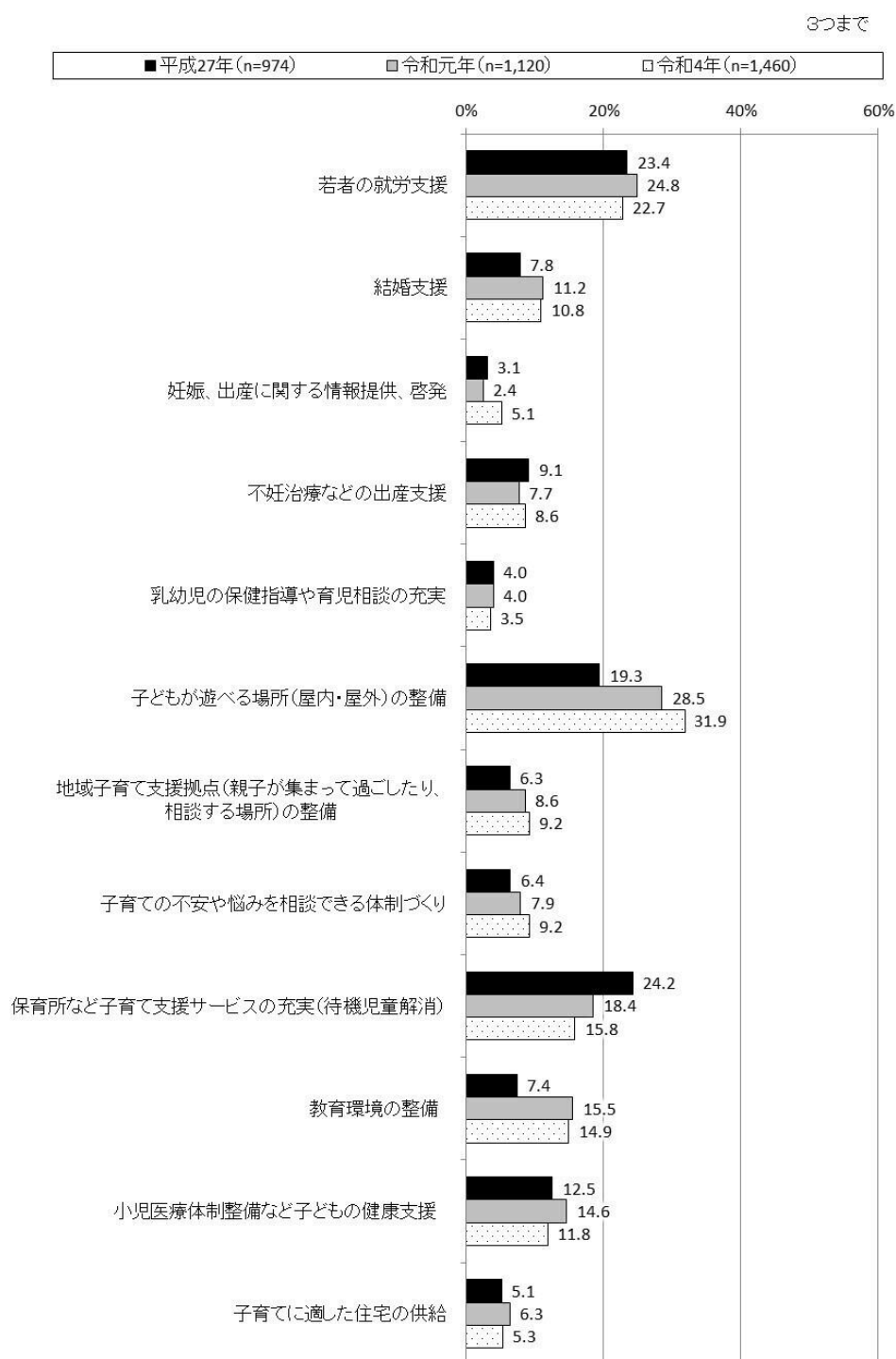


## (7) 行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援

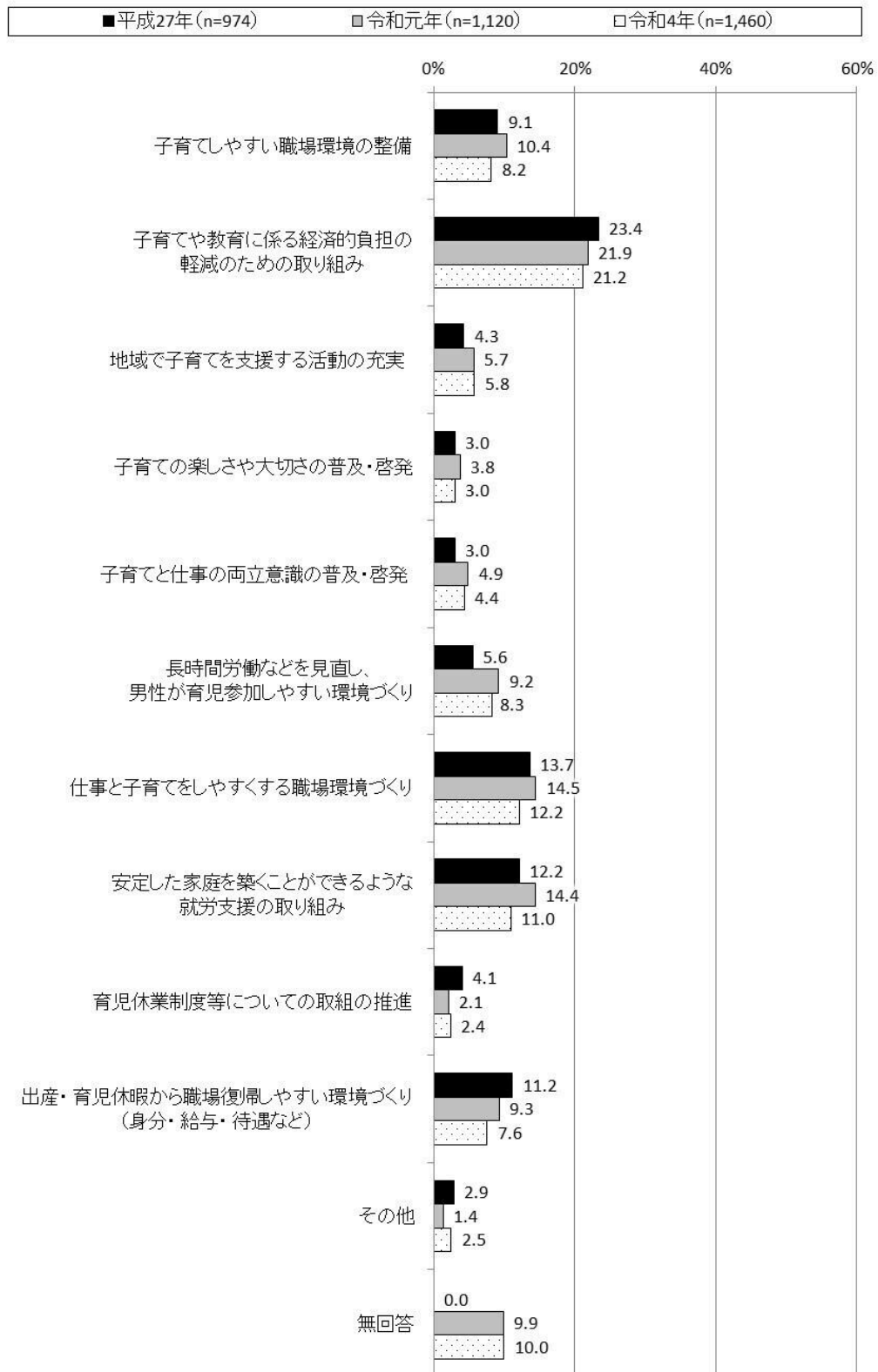
行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援をみると、「子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備」（31.9%）が最も多く、次いで「若者の就労支援（22.7%）」、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み」（21.2%）となっている。

経年比較をみると令和元年の調査結果と同様の傾向となっている。また平成27年の調査結果からの傾向としては、「子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備」が増加傾向である一方、「保育所など子育て支援サービスの充実（待機児童解消）」は減少傾向である。

## 【経年比較】

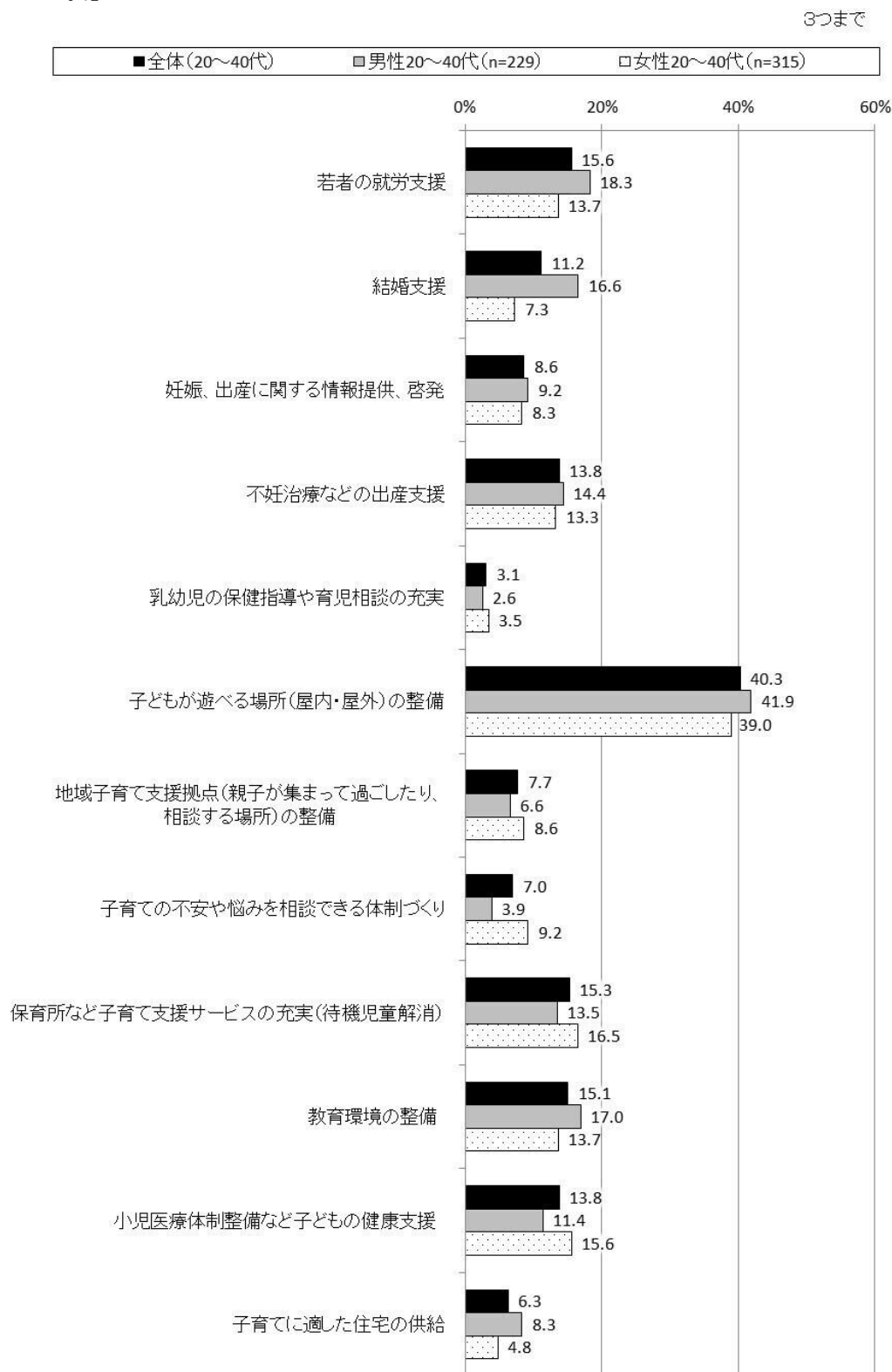


3つまで



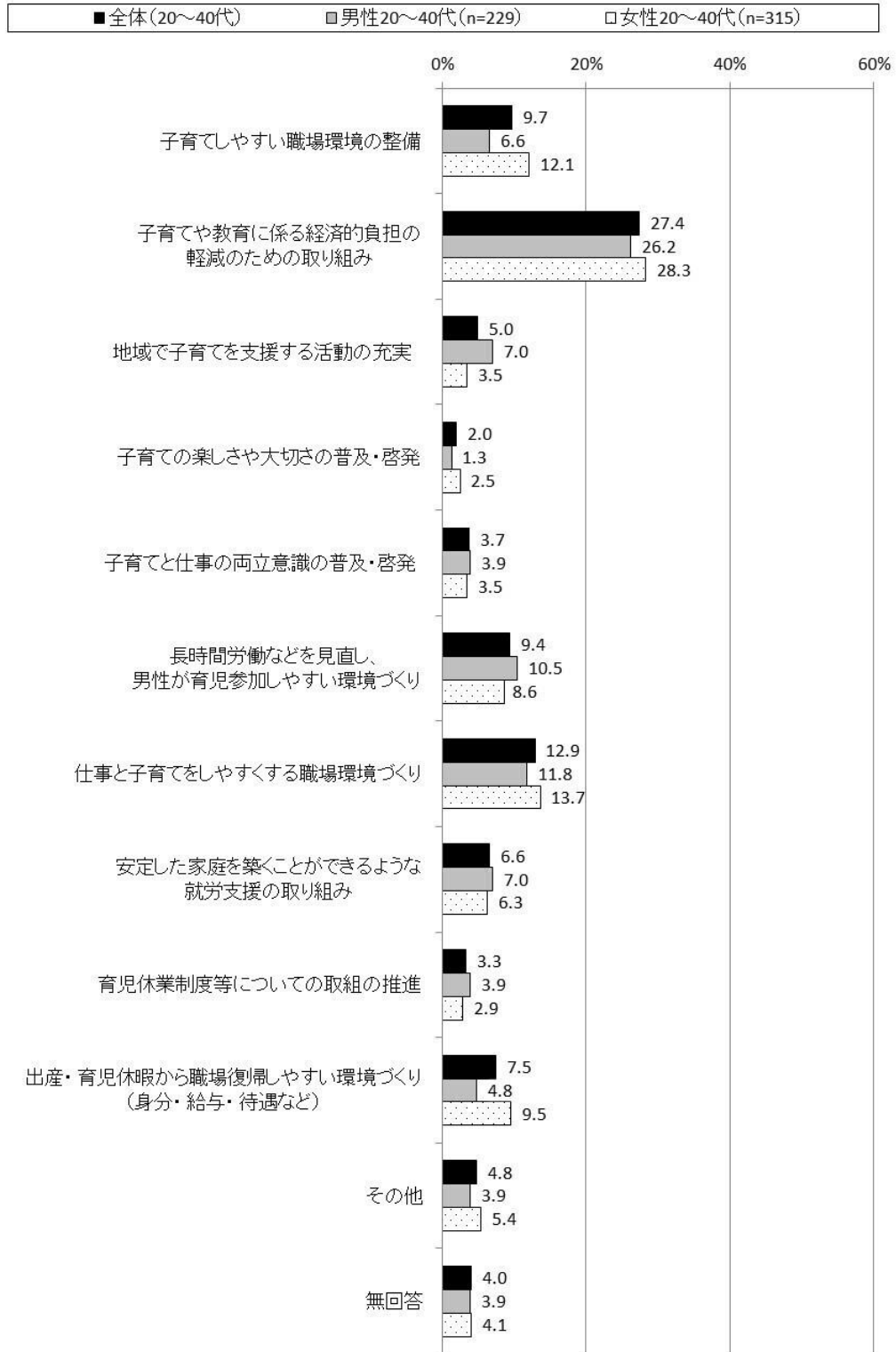
20～40代の子育て世代に絞ってしてみると、「子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備」（40.3%）が最も多く、次いで「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み」（27.4%）、「若者の就労支援」（15.6%）となっている。全体に比べて、「子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備」が21ポイント増えていた。

## 【20～40代】



【20～40代】

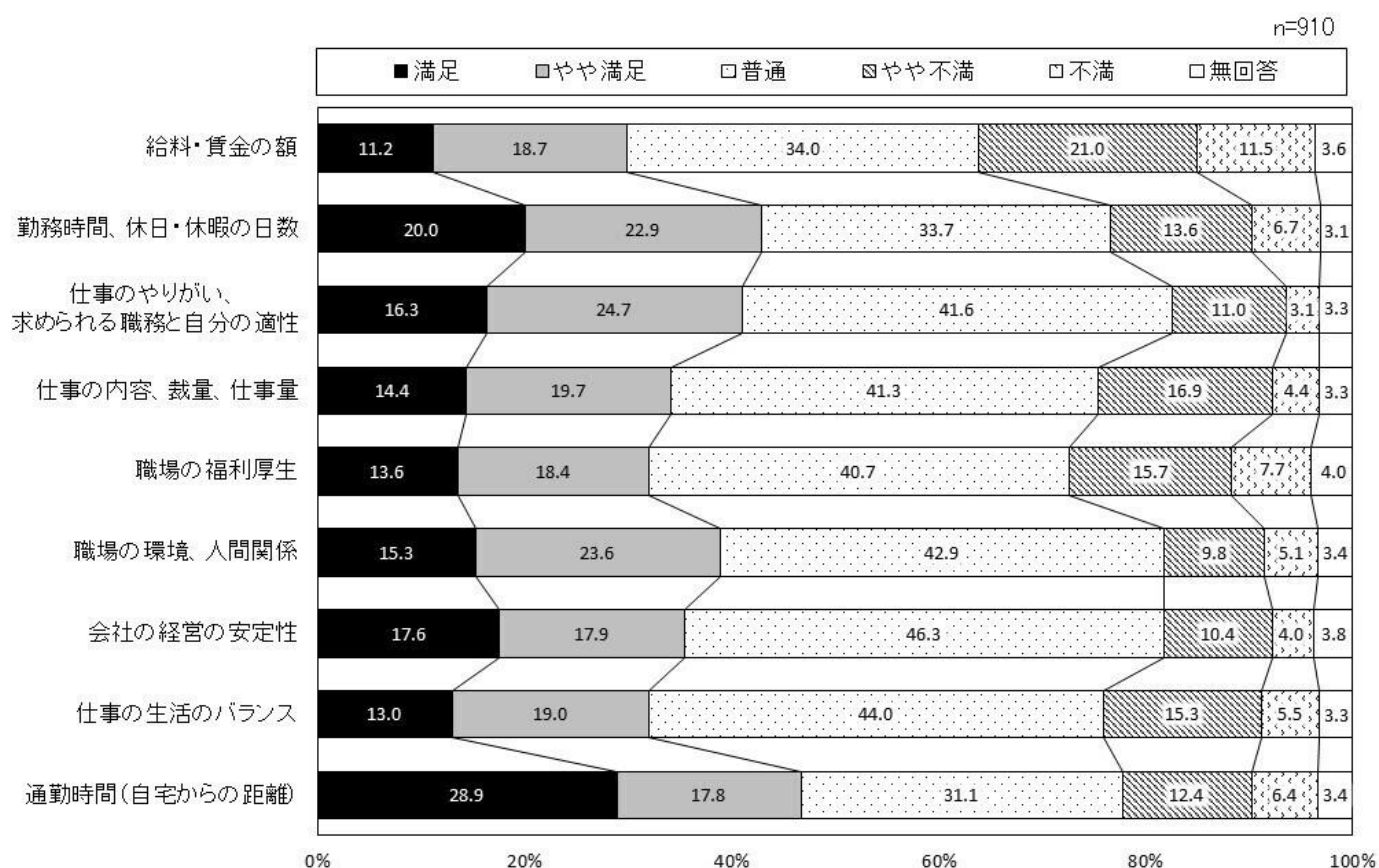
3つまで



## 6. 仕事

### (1) 仕事環境の満足度

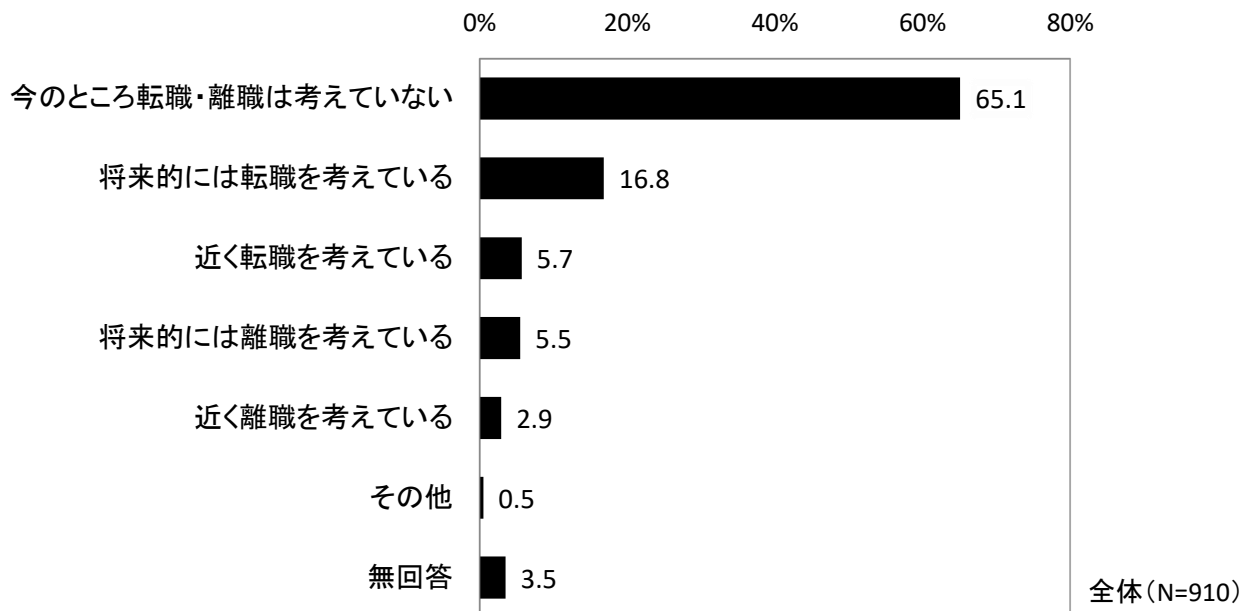
仕事環境の満足度(「満足」「やや満足」の合計)をみると、「通勤時間(自宅からの距離)」(46.7%)が最も多く、次いで「勤務時間、休日・休暇の日数」(42.9%)、「仕事のやりがい、求められる職務と自分の適性」(41.0%)となっている。一方、不満度(「やや不満」「不満」の合計)をみると、「給料・賃金の額」(32.5%)が最も多く、次いで「職場の福利厚生」(23.4%)、「仕事の内容、裁量、仕事量」(21.3%)となっている。





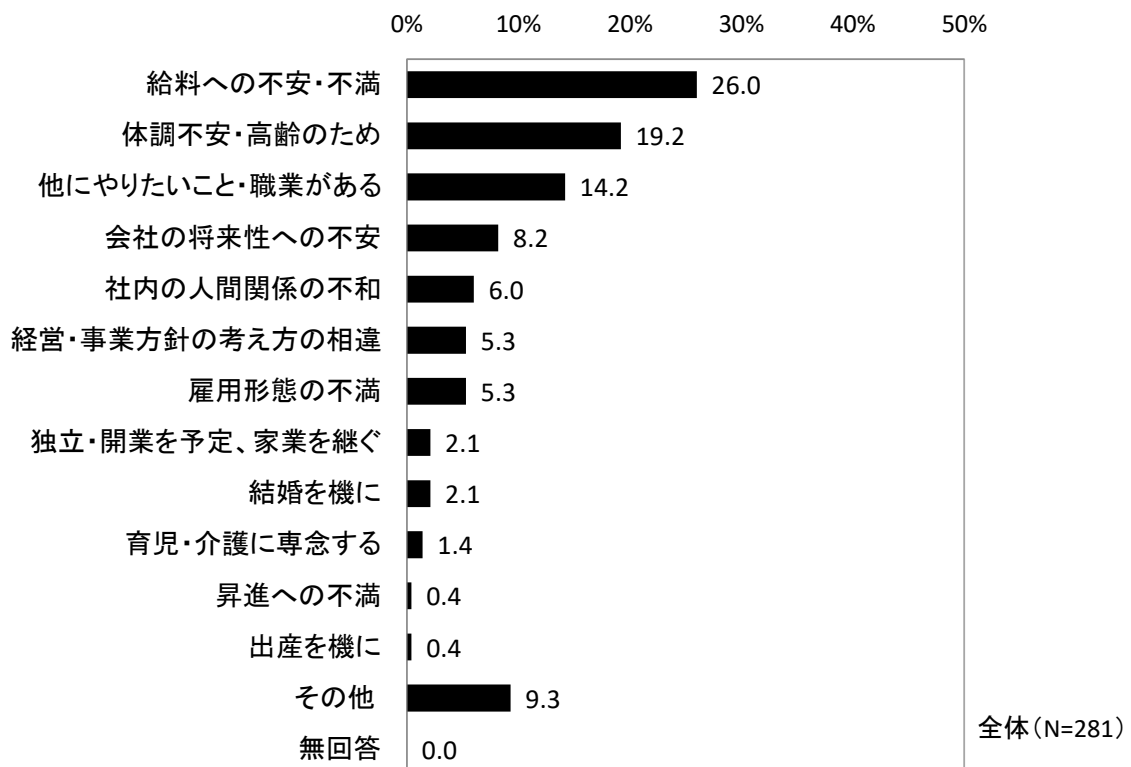
(2) 将来的な転職・離職意向

将来的な転職・離職意向をみると、「今のところ転職・離職は考えていない」(65.1%)が最も多く、次いで「将来的には転職を考えている」(16.8%)、「近く転職を考えている」(5.7%)となっている。



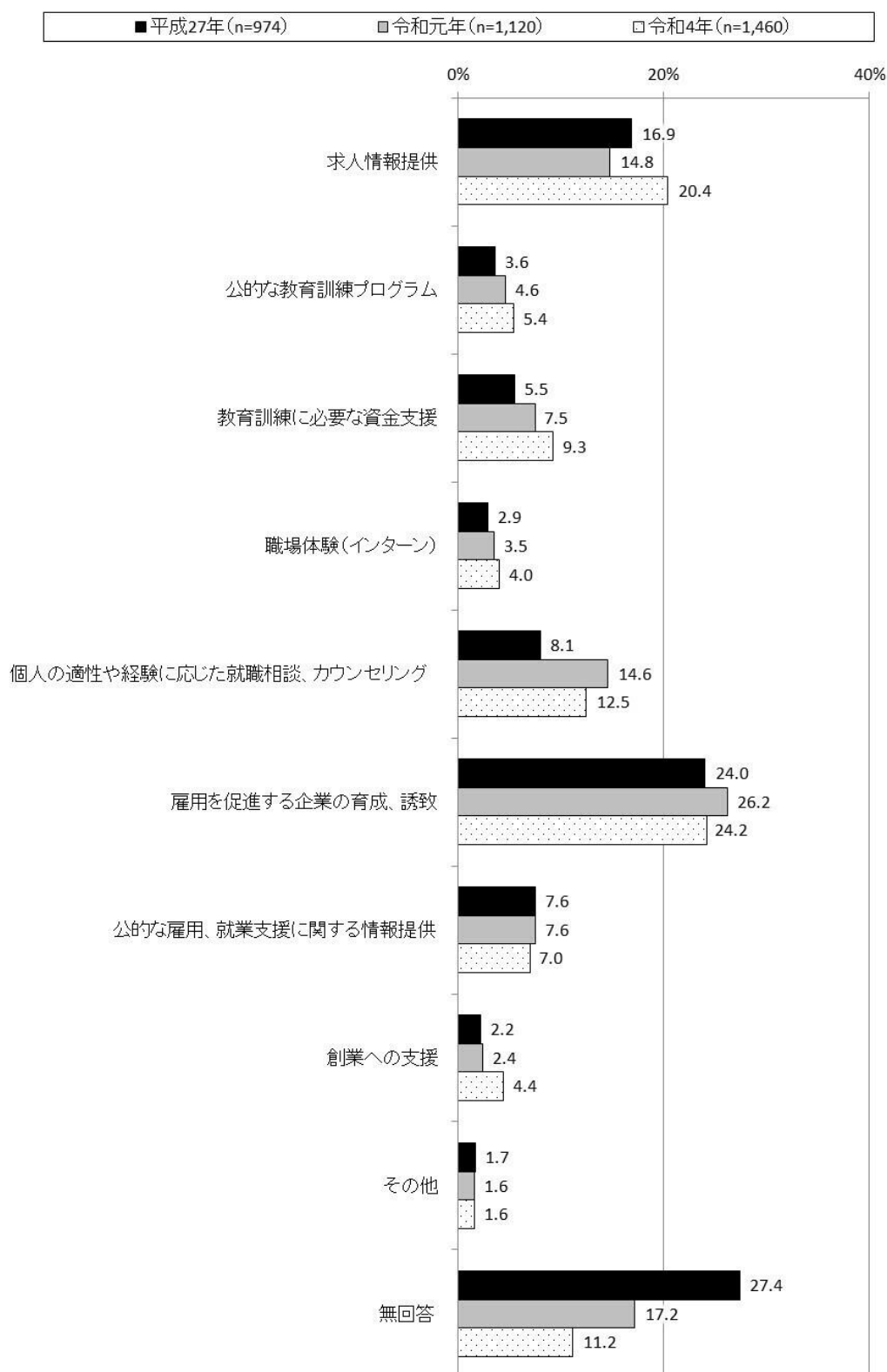
(3) 転職・離職を考える理由

転職・離職を考える理由をみると、「給料への不安・不満」(26.0%)が最も多く、次いで「体調不安・高齢のため」(19.2%)、「他にやりたいこと・職業がある」(14.2%)となっている。



## (4) 今後充実して欲しい雇用対策

今後充実して欲しい雇用対策をみると、「雇用を促進する企業の育成、誘致」(24.2%)が最も多く、次いで「求人情報提供」(20.4%)、「個人の適正や経験に応じた就職相談、カウンセリング」(12.5%)となっている。また、令和元年調査よりも特にニーズが高くなっているのは「求人情報提供」で6ポイントほど増えている。



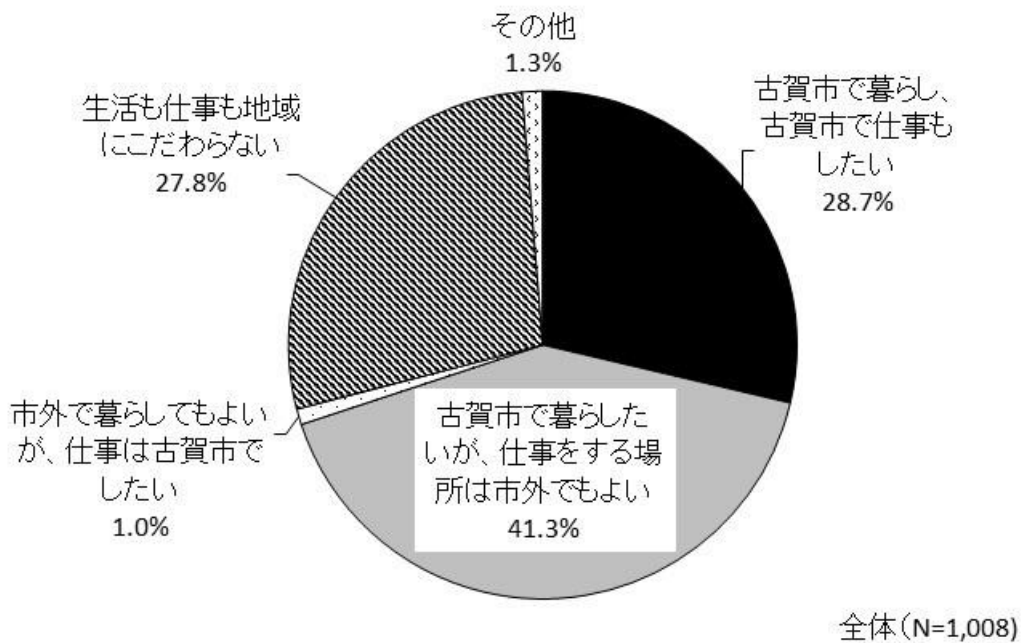
(5) 古賀市での暮らしや仕事

古賀市での暮らしや仕事をみると、「古賀市で暮らしたいが、仕事をする場所は市外でもよい」(41.3%) が最も多く、次いで「古賀市で暮らし、古賀市で仕事もしたい」(28.7%)、「生活も仕事も地域にこだわらない」(27.8%) となっている。また、古賀市での暮らしを望む人は約7割となっていた。

校区別にみると他の地域に比べ、小野小学校区では、古賀市での暮らしを望む人が約6割と少ない。また、「生活も仕事も地域にこだわらない」人が約3割と、他の地域に比べて多い。

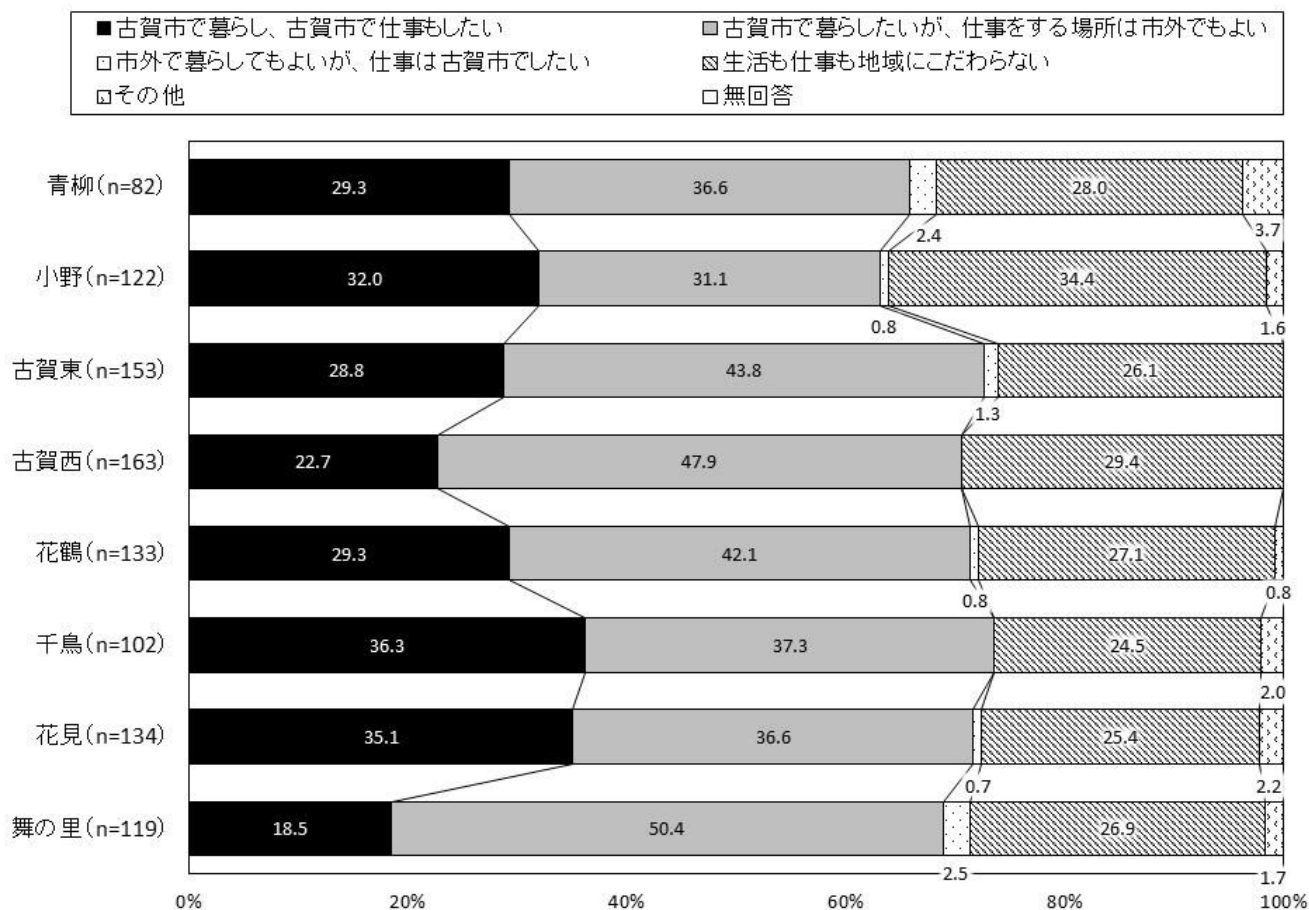
経年比較をみると、古賀市で暮らしたい人の割合は4ポイント増えていた。

【全体】

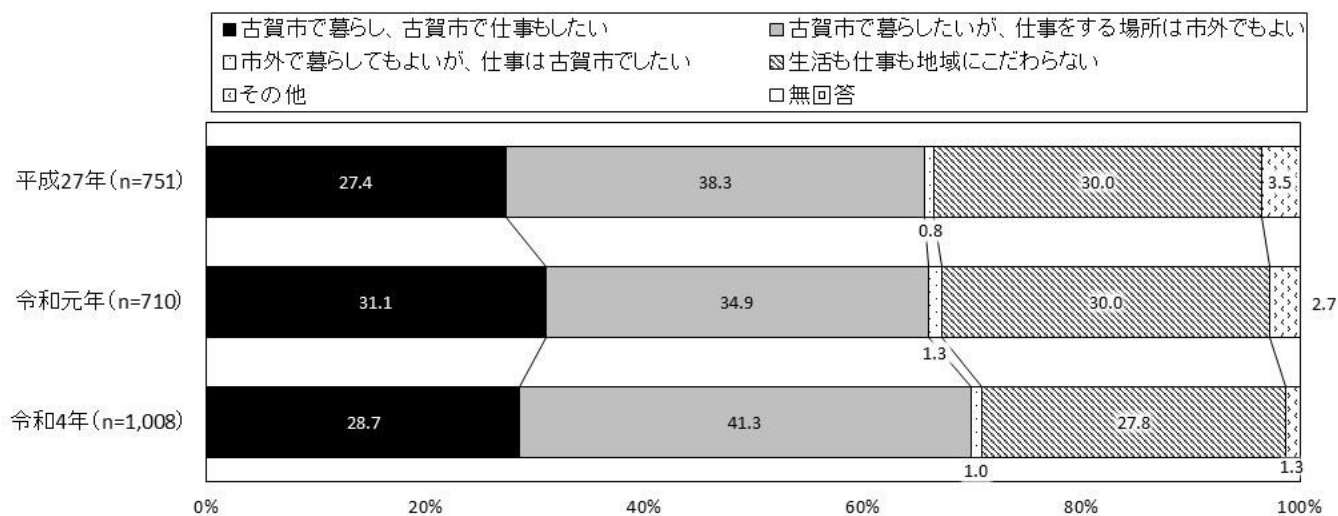


【校区】

n=1,008



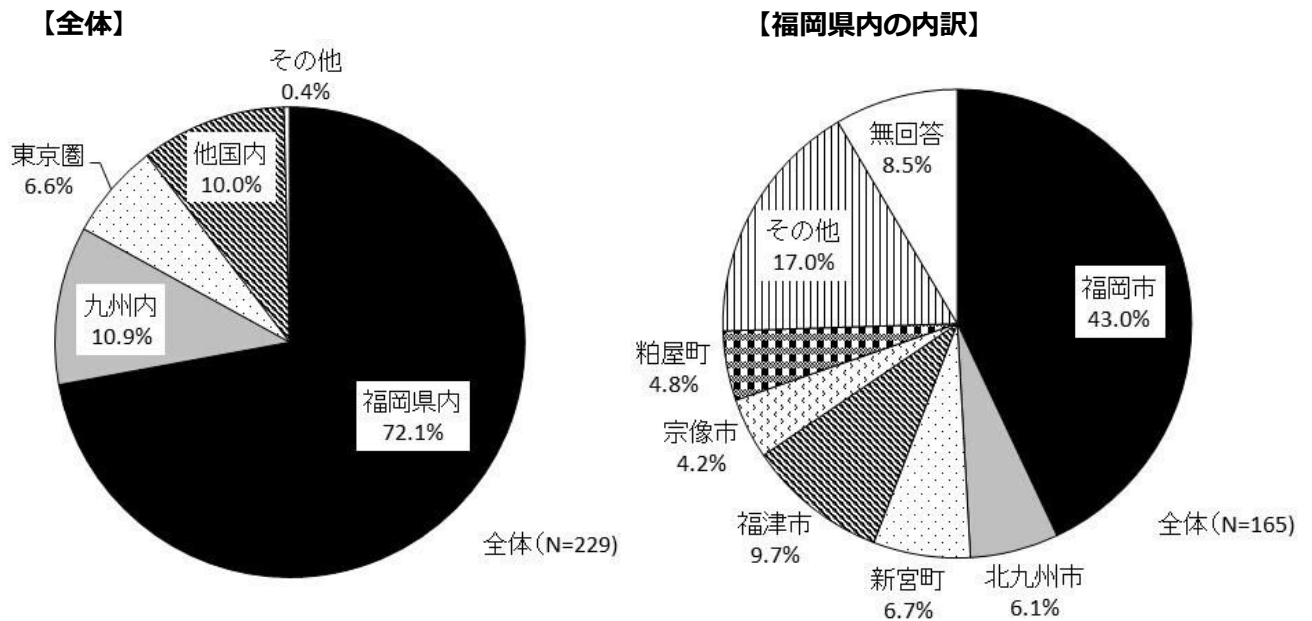
【経年比較】



## 7. 転入者の状況（直近5年間の転入者）

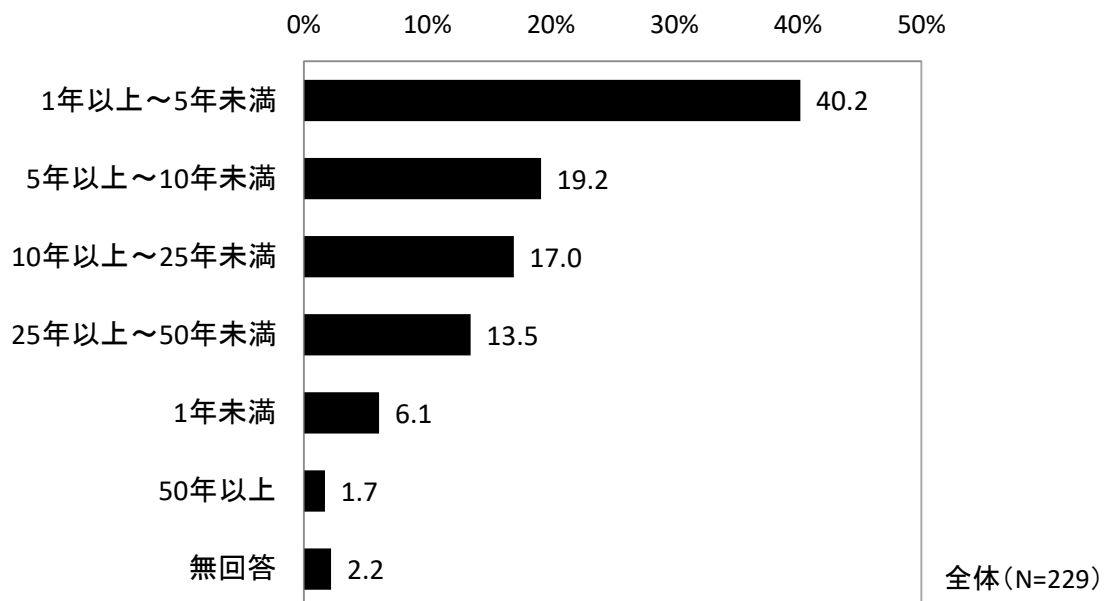
### （1）転入前の住まい

直近5年間に古賀市に転入した人についてみると、転入前の住まいは「福岡県内」（72.1%）が最も多く、次いで「九州内」（10.9%）、「他国内」（10.0%）となっている。また、「福岡県内」の内訳をみると、「福岡市」（43.0%）が最も多く、次いで「福津市」（9.7%）、「新宮町」（6.7%）となっている。



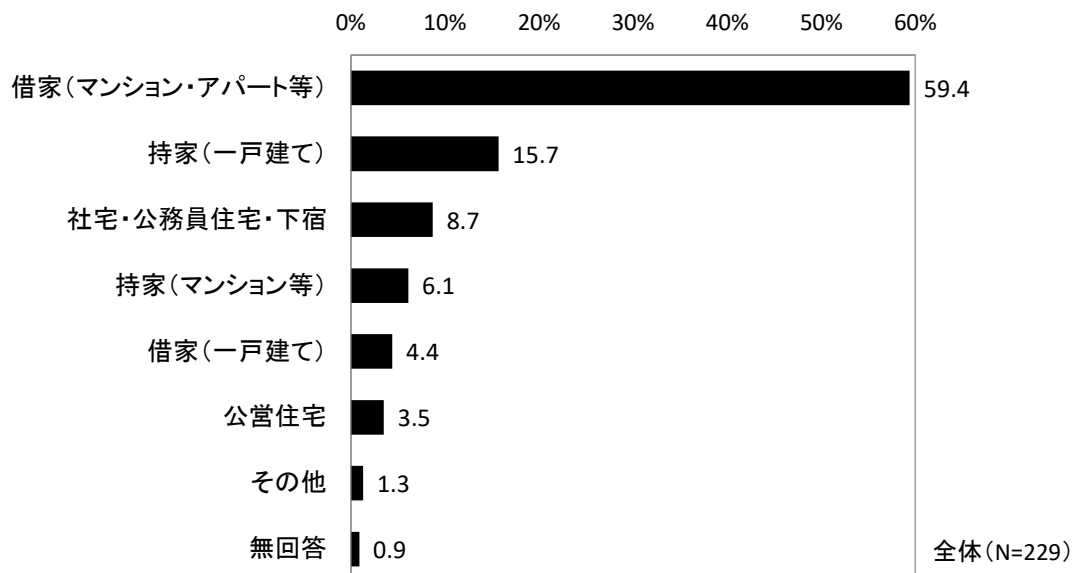
### （2）転入前の居住地での居住年数

転入前の居住地での居住年数をみると、「1年以上～5年未満」（40.2%）が最も多く、次いで「5年以上～10年未満」（19.2%）、「10年以上～25年未満」となっている。



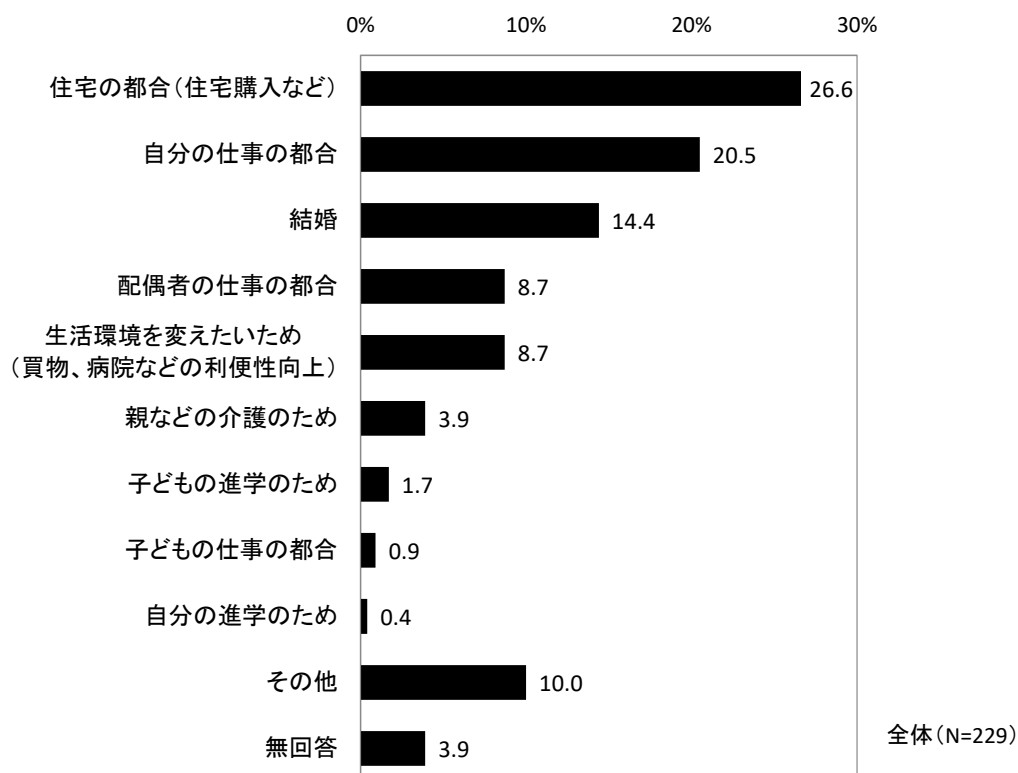
## (3) 転入前の居住形態

転入前の居住形態をみると、「借家（マンション・アパート等）」（59.4%）が最も多く、次いで「持家（一戸建て）」（15.7%）、「社宅・公務員住宅・下宿」（8.7%）となっている。



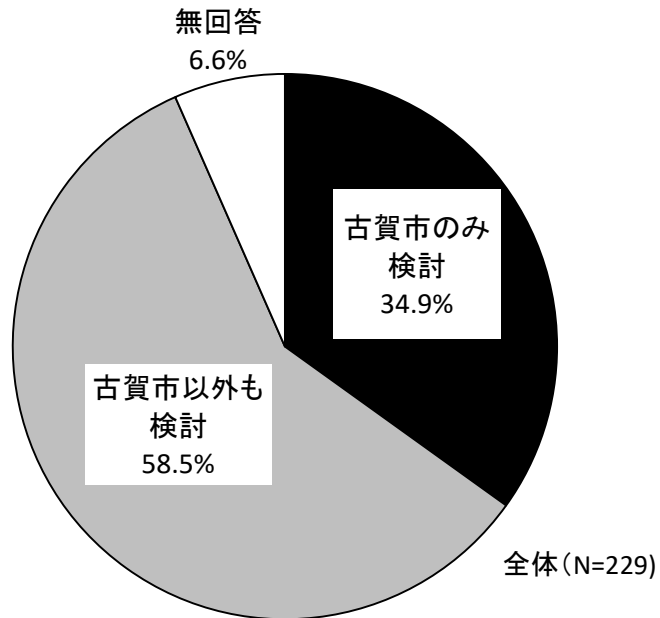
## (4) 主な転入の理由

主な転入の理由をみると、「住宅の都合（住宅購入など）」（26.6%）が最も多く、次いで「自分の仕事の都合」（20.5%）、「結婚」（14.4%）となっている。



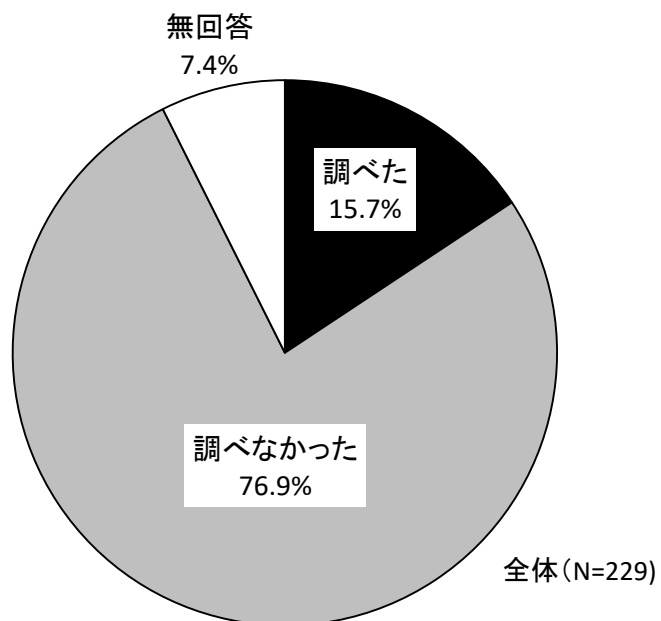
(5) 古賀市以外の検討候補の有無

古賀市以外の検討候補の有無をみると、「古賀市以外も検討」(58.5%)が半数以上となっており、他地域と比較した上で古賀市を選んでいる人が多かった。



(6) 古賀市の行政サービスの確認

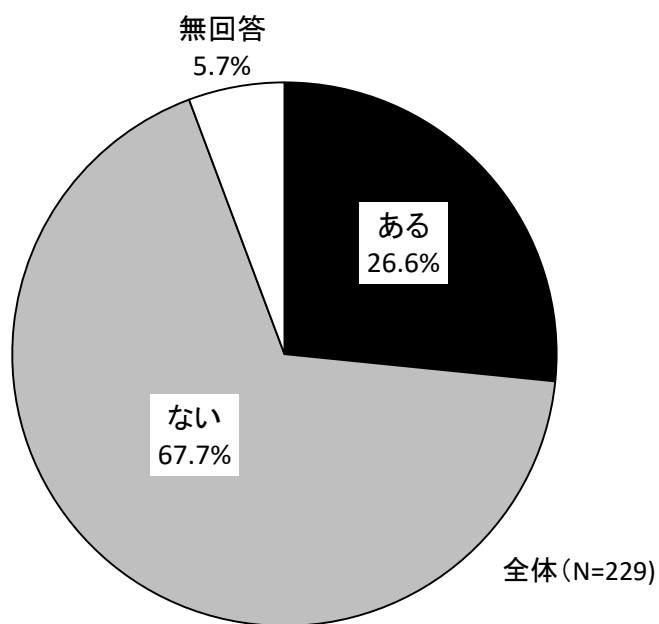
古賀市以外の行政サービスの確認をみると、「調べなかった」(76.9%)が8割ほどを占めていることから、行政サービスの有無が転入先の決定に影響を与えることは少ないと思われる。





## (7) 今回の転入以前での古賀市内での居住有無

今回の転入以前での古賀市内での居住有無をみると、「ない」(67.7%)が7割を占めており、最も多い。



## Ⅲ. 総括

### 1. 全体

#### (1) 回答者の属性

居住年数は 25 年～50 年未満が約 4 割となっており、居住年数の長い人ほど多い傾向にある。また、持家（一戸建て）に住んでいる人が約 7 割と多い。移住経験をみると 1 割の人が古賀市で生まれて住み続けているのに対し、およそ 7 割の人が市外から移住してきた 1 ターン者となっている。

生活環境をみると通勤通学、日用品の買い出し、衣料品や家電等の買い出し全てにおいて、自家用車（自分で運転）が 6～7 割となっており、多くの人が日常生活で車を利用している。また、通勤通学先では古賀市が約 4 割、福岡市が約 3 割となっているのに対し、日用品の買い出し先は古賀市が 7 割、福津市が 2 割、衣料品や家電等を買い出しは福津市、古賀市ともに約 3 割となっている。

#### (2) 古賀市での暮らし・まちづくり

市の施策に対する満足度では「消防・救急体制」「上下水道」などの生活基盤に対する満足度は高い一方、「中心市街地活性化」「魅力ある観光地の形成」「公共交通機関の利便性」において不満足度が高い。特に、「中心市街地活性化」に関しては不満に思っている人が約 7 割となっている。そのため、市の施策で重要だと思っても「中心市街地活性化」「公共交通機関の利便性」「高齢者が安心できる環境」が上位 3 項目となっている。

移住者の受け入れについては約 6 割の人が歓迎しており、その理由も「地域に活気が生まれる」が半数以上を占めている。

#### (3) 古賀市の地域活動・情報・防災

地域活動への参加状況をみると年 1～4 回参加している人が約 4 割、今後も含めて参加していない人が約 4 割と二極化している。地域活動に参加しない理由は「時間がない」が約 5 割と半数程度を占めており多い。自治会に加入している人は約 7 割で、加入しない理由としては地域活動に参加しない理由と同じく「時間がない」が約 4 割となっている。ただし、約 2 割の人は「自治会に関する情報が身近にない・分からない」と答えていることから、自治会に関する周知・広報を行うことで、加入者が増える可能性もある。

外国籍市民等との関わりでは約 5 割の人が見かけたことがある一方、約 3 割の人は全く関わりがないと答えている。挨拶以上の関係性がある人達は 2 割弱に留まっていることから、外国籍市民等の社会的孤立を防ぐためにも、多文化共生の地域づくりが求められる。

市報に関しては約 9 割の人が読んでおり、「市からのお知らせ」を読む人が約 7 割と半数以上を占めている。また、読まない理由としては「時間がない」が圧倒的に多かった。

市報以外で市の情報を取得する手段は「市公式ホームページ」が約 4 割、「知人・友人」が約 3 割となっている。

災害に備えてしている対策に関して、「ハザードマップの把握・確認」や「非常食・持出袋の準備」が約 4 割ずつ挙げられているのに対し、約 3 割の人は「特に何もしていない」と答えている。

#### (4) 古賀市の住みやすさ

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』と答えた人は約 8 割と多く、前回調査（令和元年）と比べても、8 ポイントほど増えている。住みやすい理由としては、「大きな災害がない」が約 5 割、「自然環境が良い」「日常の買い物が便利」「交通の便が良い」が 4 割以上となっている。一方、住みにくい理由としては「交通の便が悪い」「日常の買い物が不便」が約 5 割、「観光・娯楽に魅力がない」が約 3 割となっており、一部住みやすい理由と重複している。このことから「日常の買い物」「公共交通の利便性」においては、評価が二極化していると思われる。

古賀市への居留意向は「今の場所に住み続けたい」が約 6 割となっており、前回調査（令和元年）から 5 ポイントほど増えている。市外に移りたい理由としては「買い物が便利な場所へ移りたい」が約 4 割、「公共交通の便利な場所へ移りたい」が約 3 割、「娯楽や余暇を過ごせる場所に移りたい」が約 2 割となっている。

現在の居住地を選ぶ際に重視したことは「公共交通の利便性・都心部へのアクセス性」「職場・学校からの近さ」が約 3 割、「大きな災害がないこと」が約 2 割となっている。

#### (5) 結婚・子育て

希望する子どもの数の平均は 2.15 人、実際の子どもの数の平均は 1.74 人となっている。希望する子どもの数よりも実際の子どもの数が少ない理由としては「経済的負担の大きさ」が約 4 割、「ほしいけれどもできない」「年齢的に難しい・不安」が約 2 割となっている。

古賀市で子育てをしたい人は約 7 割となっており、その理由は「自然環境が良い」が約 5 割、「犯罪や事故が少なく安全」「家族や友人などの支援してくれる人が近くにいる」が約 3 割となっている。一方、古賀市で子育てをしたくない理由としては「子どもの教育環境が不十分」「子育て支援サービスが不十分」「子どもの遊ぶ場所が少ない」が約 3 割となっている。

行政に期待する結婚・子育て支援は「子どもが遊ぶ場所の整備」が約 3 割、「若者の就労支援」「子育て支援サービスの充実」が約 2 割となっている。また、平成 27 年の調査結果から今回の調査結果までの経年変化をみると、「子どもが遊ぶ場所の整備」は増加傾向である一方、「子育て支援サービスの充実」は減少傾向となっている。

#### (6) 仕事

仕事環境の満足度は「通勤時間」が約 5 割となっている一方、不満度は「給料・賃金の額」が約 3 割となっている。また、将来的な転職・離職意向は約 7 割の人が「今のところ、考えていない」と答えている。転職・離職を考える理由としては「給料への不安・不満」が約 3 割となっ

ていた。

行政に期待する雇用対策は「雇用を促進する企業の育成・誘致」「求人情報提供」が約 2 割となっている。前回調査（令和元年）と比較すると「求人情報提供」が 6 ポイントほど増えている。

現在仕事をしている人または就業・就学意向のある人に対して、仕事と暮らしについて尋ねると約 7 割の人が古賀市での暮らしを望んでいた。一方、3 割の人は暮らしも仕事も地域にこだわらないと答えている。また、前回調査（令和元年）と比べると古賀市で暮らしたい人が 4 ポイント増えていた。

## 2. 校区

### （1）回答者の属性

通勤通学先、日用品の買い出し、衣料品や家電等の買い出しは、校区によって傾向が異なっていた。通勤通学先については、小野小学校区、千鳥小学校区、花見小学校区では古賀市内に通勤通学する人が約 4 割と他地域に比べて多い。一方、舞の里小学校区では福岡市への通勤通学が約 5 割となっている。日用品の買い出しについては古賀東小学校区、古賀西小学校区、花見小学校区では古賀市内が約 8 割となっているのに対し、舞の里小学校区では福津市内が約 5 割となっている。衣料品や家電等の買い出しについては、青柳小学校区、小野小学校区、花鶴小学校区では新宮町内が約 2 割と他地域に比べて多い。一方、千鳥小学校区、花見小学校区、舞の里小学校区では福津市内が 4 割以上となっている。衣料品や家電等については、どの校区でも古賀市内での購入が 2～3 割に留まっており、市外で購入する人が多い。

### （2）古賀市での暮らし・まちづくり

移住者の受け入れについては、校区によって傾向が異なっていた。「歓迎する」と「どちらかといえば歓迎する」を合わせた『歓迎する』はどの校区でも同程度の割合だが、「歓迎する」については花鶴小学校区と舞の里小学校区で約 7 割と他地域に比べて多くなっている。この 2 校区に関して移住者を歓迎する理由をみても、「地域に活気が生まれる」が約 6 割と他地域に比べて多いことから、特に地域の活性化を求めていると思われる。

### （3）古賀市の地域活動・情報・防災

地域活動への参加状況については、校区によって傾向が異なっていた。他地域に比べて、舞の里小学校区では現在参加しておらず、今後も参加しない人が 3 割以下と少なくなっており、参加意欲の高い人が多い。また、参加しているまたは参加したい地域活動の種別は、古賀西小学校区では他地域に比べて「自治会」「校区コミュニティ」「市民活動団体」の割合差が少なく、多様な地域活動に参加している、または参加したいと考える傾向にある。一方、舞の里小学校区では「自治会」が約 8 割と圧倒的に多く、他の選択肢との差が 50 ポイント以上あった。

自治会への加入有無については、校区によって傾向が異なっていた。古賀東小学校区、古賀西小学校区では「加入していない」が2割を超えており、他地域に比べて多い。また、青柳小学校区では「加入していたが退会した」が約2割と他地域に比べて多くなっている。

外国籍市民等との関わりについては、校区によって傾向が異なっていた。千鳥小学校区、花見小学校区では「全く関わりがない」が約4割と他地域に比べて多い。一方、花鶴小学校区と舞の里小学校区では「見たことがある」「挨拶したことがある」「話したことがある」「交流したことがある」を合わせた『関わりがある』人が約8割と他地域に比べて多くなっている。

災害に備えてしている対策については校区によって傾向が異なっており、花鶴小学校区では「特に対策はしていない」が約2割と他地域に比べて低くなっていた。

#### (4) 古賀市の住みやすさ

古賀市の住みやすさについては、校区によって傾向が異なっていた。青柳小学校区と小野小学校区を除いた全ての校区では、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が8割以上となっているのに対し、青柳小学校区と小野小学校区では「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『住みにくい』が2~3割と他地域に比べて多くなっている。

古賀市への居住意向については、校区によって傾向が異なっていた。千鳥小学校区と花見小学校区では、「今の場所に住み続けたい」人が約7割と他地域に比べて多い。一方、青柳小学校区、小野小学校区、花鶴小学校区では1割以上の人が市外に移りたいと考えており、他地域に比べて若干多くなっている。

居住地域として古賀市を勧めたいかについては、校区によって傾向が異なっていた。千鳥小学校区と舞の里小学校区では、勧めたい人が約7割と他地域に比べて多い。一方、青柳小学校区、小野小学校区、花鶴小学校区では勧めたくない人が約3割と他地域に比べて多くなっている。

#### (5) 仕事

古賀市での暮らしや仕事をみると、校区によって傾向が異なっていた。小野小学校区では「古賀市で暮らし、古賀市で仕事したい」と「古賀市で暮らしたいが、仕事をする場所は市外でもよい」を合わせた『古賀市で暮らしたい』人が約6割と他地域に比べて少ない。また、併せて「生活も仕事も地域にこだわらない」が約3割と、他地域に比べて多くなっている。

### 3. 子育て世代（20代~30代）

#### (1) 古賀市での暮らし・まちづくり

市の施策で、重要だと思うことの1位は全体と同様の「市街地活性化」だったが、2位は「子育て支援の充実」3位は「教育内容や教育施設の充実」といったように、子育てに関する施策が上位に挙がっている。また、地域の将来像に関しても同様に、子育てに関連した施策については、

全体よりも割合が増えている。

#### (2) 古賀市の地域活動・情報・防災

地域活動に参加しない理由は、全体では「時間がない」が5割程度だったのに対し、子育て世代では約7割と多くの方が「時間のなさ」を挙げている。

自治会に加入しない理由は、地域活動同様に「時間がない」が全体では4割程度だったのに対し、子育て世代では約6割となっている。また子育て世代の男性では「地域との関わりがわずらわしい」「活動を行う体力がない」と答えている人が、女性よりも多い。一方、子育て世代の女性では「役員になりたくない」「時間がない」と答えている人が、男性よりも多くなっており、性差がある。

#### (3) 古賀市の住みやすさ

古賀市に住みにくい理由は全体に比べて、子育て世代では「子育て環境・支援が充実していない」が10ポイントほど増えている。また、市外に移りたい理由としても同様に、全体に比べて「教育環境が整っている場所に移りたい」が7ポイントほど増えて3位となっており、子育て環境が重視されている。

現在の居住地を選ぶ際に重視したことは2位までは全体と同様であるが、3位に「知り合いや親戚がいること」が挙げられている。また、1位の「職場・学校に近いこと」が34.4%、2位の「公共交通の利便性・都心部へのアクセス性」が28.5%、3位の「知り合いや親戚がいること」が26.1%であり、割合差がそう大きくないことからどの項目も重要視されていると考えられる。

#### (4) 結婚・子育て

希望する子どもの数が実際の子どもの数より少ない理由は、2位までは全体と同様であるが、3位に「育児の心理的負担・肉体的負担」が挙げられている。子育て世代の男性では、「経済的負担の大きさ」が子育て世代の女性よりも5ポイント高い。一方、子育て世代の女性では「育児の心理的負担・肉体的負担」が子育て世代の男性よりも6ポイントほど高くなっている。また、1位の「経済的負担の大きさ」は全体では約4割、子育て世代では約5割と1割ほど増えていた。

古賀市で子育てをしたいかをみると、肯定的意見の人は全体とほぼ同様の割合だが、否定的意見の人は全体よりも1割ほど多い。古賀市で子育てをしたい理由について、1位は全体と同様であるが、2位に「相談できる人や支援できる人が近くにいるから」、3位に「犯罪や事故が少なく安全だから」「子どもの遊ぶ場所が多いから」となっており、子育て環境に関する項目が上位に入っている。また、子育て世代の男性では「自然環境が良いから」が子育て世代の女性よりも11ポイント高くなっている。一方、子育て世代の女性では「相談できる人や支援できる人が近くにいるから」が子育て世代の男性よりも9ポイントほど高くなっている。



古賀市で子育てをしたくない理由は、順番に相違はあるものの、上位 3 項目は全体と同様であった。ただし割合に差があり、全体では上位 3 項目が僅差となっているのに対し、子育て世代では最も多い「子育て支援サービスが充分ではないから」(38.8%) が、2 位の「子どもの遊ぶ場所が少ないから」(29.6%) より 10 ポイントほど高い。このことから、特に「子育て支援サービスの充実化」を重視している傾向にあると思われる。

行政に期待する結婚・子育て支援は順位が異なるものの、上位 3 項目は全体と同様である。1 位の「子どもが遊べる場所の整備」は全体では 2 割ほどであるところ、子育て世代では 4 割ほどとなっており、2 割ほど増えていた。このことから、子育て世代では特に「子どもの遊べる場所の整備」を求めていると思われる。

#### 4. 直近 5 年間の転入者

転入者の傾向をみると、福岡県内から古賀市へと転入している人が約 7 割であった。そのうちの約 4 割が福岡市、約 1 割が福津市、新宮町、北九州市となっている。転入前の居住地では 1 年以上に限ると、居住期間が短いほどに割合が高く、1 年以上～5 年未満が約 4 割と比較的短い期間の居住となっている。転入前の居住形態は借家が約 6 割と半数以上を占めている。転入理由としては、住宅の都合が約 3 割、回答者自身の仕事の都合が約 2 割、結婚が約 1 割となっている。転入先の検討候補として、約 6 割が古賀市以外も検討しており、他地域と比較していた。また、転入時に行政サービスを調べた人は 2 割以下となっており、多くの人は転入先を検討する際に行政サービスを調べることはないと思われる。直近 5 年間の転入者のうち、以前古賀市に住んでいたことがある人は約 3 割だった。



## IV. 資料編

## 【古賀市】まちづくりに関する市民アンケートへのご協力をお願い

皆さまには日頃から、市政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
この調査は、市民の皆さまが市政に対し、どのようなご意見、ご要望をお持ちかお尋ねすることで、今後のまちづくりの貴重な資料として活用させていただくことを目的に実施しております。

調査の実施にあたりましては、市内にお住まいの満 18 歳以上の方から 3,000 名を無作為に選ばせていただき、回答をお願いしております。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月  
古賀市長 田辺 一城

## (回答にあたって)

- ・回答は封筒の宛名のご本人様がお答えください。  
(※ご本人様が回答できない場合、ご家族の方がご本人様の考えを聞き代理で記入ください。)
- ・各質問の回答は、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つのみ」「複数回答可」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
- ・質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内に沿ってお答えください。
- ・「その他」を選ばれたときは、その内容を( )の中に記入してください。

## (回答方法・回答期限)

次のいずれかの方法で、ご回答ください。

## 回答 目安時間:8分

## 1. 郵送回答

ご記入後、アンケート用紙を折って同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、  
令和 4 年 11 月 14 日(月)までにポストへ投函してください。

## 2. インターネット回答

次の URL または右記 QR コードから回答画面へアクセスし、  
回答してください。

回答期限:令和 4 年 11 月 14 日(月)

<https://questant.jp/q/H21K6CIQ>



## (その他)

- ・返送いただいたアンケート用紙の取り扱いについては、全てを統計的に処理し、お答えいただいた方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- ・集計のため、お住まいの地域ごとに調査票の色を変更しておりますが、個人を特定することはありません。
- ・本アンケートの集計・分析は古賀市が委託する(株)サーベイリサーチセンターが実施します。

## 【本調査に関するお問い合わせ先】

古賀市役所 総務部 経営戦略課 経営戦略係

TEL:092-942-1113

メール:k-senryaku@city.koga.fukuokajp



9-1. 通勤・通学の有無 [一つ選択]	<input type="checkbox"/> 1. 通勤をしている <input type="checkbox"/> 2. 通学をしている <input type="checkbox"/> 3. 通勤・通学をしていない
9-2. 通勤・通学先の所在地 [一つ選択]	<p>上記、9-1 で <input type="checkbox"/>1 か <input type="checkbox"/>2 「通勤・通学をしている」と回答した方に伺います。</p> <input type="checkbox"/> 1. 古賀市 <input type="checkbox"/> 2. 福岡市 <input type="checkbox"/> 3. 北九州市 <input type="checkbox"/> 4. 福津市 <input type="checkbox"/> 5. 宗像市 <input type="checkbox"/> 6. 新宮町 <input type="checkbox"/> 7. その他 (                      県                      市・町・村 )
9-3. 通勤・通学の交通手段 [主なもの一つ選択]	<p>上記、9-1 で <input type="checkbox"/>1 か <input type="checkbox"/>2 「通勤・通学をしている」と回答した方に伺います。</p> <input type="checkbox"/> 1. 徒歩 <input type="checkbox"/> 2. 自転車 <input type="checkbox"/> 3. バイク <input type="checkbox"/> 4. 自家用車 (自分で運転) <input type="checkbox"/> 5. 自家用車 (家族などの送迎) <input type="checkbox"/> 6. バス <input type="checkbox"/> 7. 鉄道 <input type="checkbox"/> 8. タクシー <input type="checkbox"/> 9. 職場、学校などの送迎車 <input type="checkbox"/> 10. その他 (                      )
10. 日用品や食料品等の買物先 [主なもの一つ選択]	<input type="checkbox"/> 1. 古賀市 <input type="checkbox"/> 2. 福岡市 <input type="checkbox"/> 3. 北九州市 <input type="checkbox"/> 4. 福津市 <input type="checkbox"/> 5. 宗像市 <input type="checkbox"/> 6. 新宮町 <input type="checkbox"/> 7. 普段買物をしない <input type="checkbox"/> 8. その他 (市町村名:                      )
11. 日用品や食料品等の買物の交通手段 [主なもの一つ選択]	<input type="checkbox"/> 1. 徒歩 <input type="checkbox"/> 2. 自転車 <input type="checkbox"/> 3. バイク <input type="checkbox"/> 4. 自家用車 (自分で運転) <input type="checkbox"/> 5. 自家用車 (家族などの送迎) <input type="checkbox"/> 6. バス <input type="checkbox"/> 7. 鉄道 <input type="checkbox"/> 8. タクシー <input type="checkbox"/> 9. 施設などの送迎車 <input type="checkbox"/> 10. 普段買物をしない <input type="checkbox"/> 11. その他 (                      )
12. 衣料品や家電等の買物先 [主なもの一つ選択]	<input type="checkbox"/> 1. 古賀市 <input type="checkbox"/> 2. 福岡市 <input type="checkbox"/> 3. 北九州市 <input type="checkbox"/> 4. 福津市 <input type="checkbox"/> 5. 宗像市 <input type="checkbox"/> 6. 新宮町 <input type="checkbox"/> 7. 普段買物をしない <input type="checkbox"/> 8. その他 (市町村名:                      )
13. 衣料品や家電等の買物の交通手段 [主なもの一つ選択]	<input type="checkbox"/> 1. 徒歩 <input type="checkbox"/> 2. 自転車 <input type="checkbox"/> 3. バイク <input type="checkbox"/> 4. 自家用車 (自分で運転) <input type="checkbox"/> 5. 自家用車 (家族などの送迎) <input type="checkbox"/> 6. バス <input type="checkbox"/> 7. 鉄道 <input type="checkbox"/> 8. タクシー <input type="checkbox"/> 9. 施設などの送迎車 <input type="checkbox"/> 10. 普段買物をしない <input type="checkbox"/> 11. その他 (                      )

## Ⅱ. 古賀市での暮らし・まちづくりについて伺います。

それぞれの選択肢であてはまるものに○をつけてください。

問Ⅱ-1 あなたは、ご自身の生活を通して市の施策をどのように感じていますか。1から3の全ての質問について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

番号	質問内容	選択肢				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
	<b>記入例</b> 右の欄に○印をつけてください。	1	2	3	4	5
1	農林業の基盤(担い手確保、農地の集積など)が整備されている <u>市の取組</u> 新規就農支援、ほ場整備、集落営農化・法人化支援 など	1	2	3	4	5
2	農業の高付加価値化(ブランド化、6次産業化など)が進んでいる <u>市の取組</u> スイーツコーンやあまおうなどのブランド化、販路拡大や特産品PR など	1	2	3	4	5
3	中心市街地の賑わいが形成されている <u>市の取組</u> JR古賀駅周辺の中心市街地活性化 など	1	2	3	4	5
4	企業立地の支援、創業支援などによる産業振興が充実している <u>市の取組</u> 土地利用転換等による産業用地の創出、商工会と連携した創業支援 など	1	2	3	4	5
5	魅力ある観光地が形成できている <u>市の取組</u> 薬王寺温泉周辺の活性化、なの花祭りの支援 など	1	2	3	4	5
6	環境教育・美化活動など、環境保全の取組が進んでいる <u>市の取組</u> 環境に関する啓発や地域、海岸、河川の美化活動など	1	2	3	4	5
7	ごみの減量化・資源化や省エネなどの取組が進んでいる <u>市の取組</u> 4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の推進、地球温暖化対策の取組 など	1	2	3	4	5
8	小学校・中学校における教育内容や教育施設などが充実している <u>市の取組</u> 少人数学級の推進、多様な人的配置による児童生徒の支援、外国語教育・キャリア教育の推進 など	1	2	3	4	5
9	生涯にわたり学習・活動ができる環境が整っている <u>市の取組</u> リーバスプラザこが交流館の利用促進、学校図書館市民開放、リーバスカレッジの実施 など	1	2	3	4	5
10	国際交流・多文化共生の取組が進んでいる <u>市の取組</u> 子どもたち向け国際交流事業の推進、交流型日本語教室の充実、「やさしい日本語」啓発事業の推進 など	1	2	3	4	5
11	青少年を育む環境が充実している <u>市の取組</u> 放課後子供教室・児童センターにおける子どもの居場所づくり、地域における通学合宿・寺子屋の支援 など	1	2	3	4	5
12	文化芸術について鑑賞・参加・創造する機会が充実している <u>市の取組</u> 古賀市文化芸術振興計画の策定・推進、文化芸術の振興に係る人材育成 など	1	2	3	4	5



	質問内容	選択肢				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
13	ふるさと古賀の歴史・遺産に親しむ機会が充実している 市の取組 船原古墳をはじめとした文化財の保存・公開・活用 など	1	2	3	4	5
14	幅広くスポーツを楽しめる環境が整っている 市の取組 スポーツ指導者の育成、スポーツ環境の充実、社会体育施設の運営・維持管理 など	1	2	3	4	5
15	良好な市街地や住環境が形成されている 市の取組 都市公園の適切な管理、空き家対策の実施、屋外広告物の適正な規制 など	1	2	3	4	5
16	鉄道やバスなど市内の公共交通機関の利便性が良い 市の取組 西鉄バス古賀市内線の継続運行、公共施設等連絡バス「コガバス」の運行 など	1	2	3	4	5
17	生活に密着した主要な道路、広域交通に利便性の良い道路が整備されている 市の取組 浜大塚線・栗原水上線ほか「東西」幹線道路の整備、道路・橋梁の改良・維持管理 など	1	2	3	4	5
18	水道を安心して使うことができる 市の取組 水道施設の計画的な更新、水道料金の改定 など	1	2	3	4	5
19	生活排水などの処理が適正に行われている 市の取組 公共下水道・農業集落排水事業の推進、合併処理浄化槽設置の支援 など	1	2	3	4	5
20	消防・救急体制が整っている 市の取組 消防団活動の推進・活性化、小児救急医療体制の整備、粕屋北部消防本部との連携 など	1	2	3	4	5
21	各種災害に対する体制が整っている 市の取組 総合防災マップの配布・活用、防災訓練の実施 など	1	2	3	4	5
22	犯罪や交通事故を抑止する対策が進められている 市の取組 防犯カメラの設置、犯罪情報の提供強化、交通安全教室の実施 など	1	2	3	4	5
23	地域で健康づくりや介護予防の取組が進んでいる 市の取組 ヘルス・ステーションの推進、食育の推進、市民ウォーキング・体成分分析等による健康意識の向上 など	1	2	3	4	5
24	地域の医療・保健体制が整っている 市の取組 特定健診・がん検診など健診事業の推進、休日・夜間救急医療体制の維持、かかりつけ医の普及啓発 など	1	2	3	4	5
25	子育て支援が充実している 市の取組 保育所定員増による待機児童対策、休日保育・病児保育の導入、子育て世代包括支援センターの設置 など	1	2	3	4	5
26	高齢者が安心して生活できる環境が整っている 市の取組 地域包括支援センターによる支援、介護予防サポーター・認知症サポーター等の人材育成 など	1	2	3	4	5
27	障がい者の福祉サービスや社会参加への取組が進んでいる 市の取組 障がい者生活支援センター「咲」における支援、障がい福祉サービス事業所等と連携した就労支援 など	1	2	3	4	5

	質問内容	選択肢				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
28	生活トラブル解消、就労支援など生活安定のための体制が充実している 市の取組 無料法律相談・消費者生活相談の実施、市役所内無料職業紹介所の充実、生活困窮者の自立支援 など	1	2	3	4	5
29	すべての市民の人権が尊重されている 市の取組 「同和問題を考える市民のつどい」「いのち輝くまち☆こが」の開催等による人権のまちづくりの推進 など	1	2	3	4	5
30	社会のあらゆる場面において男女共同参画が進んでいる 市の取組 男女共同参画推進のための啓発、DV対策、女性の起業・キャリアアップの支援 など	1	2	3	4	5
31	市民や多様な主体が参加したまちづくりが進んでいる 市の取組 自治会や校区コミュニティにおける活動の活性化、つながりひろばでの相談や情報発信による支援 など	1	2	3	4	5
32	市政情報や市の魅力が十分に発信されている 市の取組 広報紙の発行、市公式HP、SNSを活用した情報発信、マスコミを通じた広報活動 など	1	2	3	4	5
33	市民のニーズに対応した行政サービスが効率的に提供されている 市の取組 効率的な行財政運営、公共施設の計画的な維持管理、職員の資質の向上、広域行政・定住化の推進 など	1	2	3	4	5

→ 問Ⅱ-2 「問Ⅱ-1」の1から33の質問内容のうち、古賀市のまちづくりで何が重要だと思いますか。重要であると思う項目を5つ選んで、重要度の高いものから番号を記入してください。

重要度1位	重要度2位	重要度3位	重要度4位	重要度5位

問Ⅱ-3 将来の古賀市がどのようなまちになることを望みますか。(2つまで)

1. 美しい自然環境に恵まれたまち
2. 産業に活気があり働きやすいまち
3. 生活環境が整い便利で快適に暮らせるまち
4. 地域の保健・医療体制が整ったまち
5. 高齢者・障がい者などが健康で、生きがいをもって暮らせるまち
6. 防災・防犯・交通安全に配慮した安全なまち
7. 子どもを安心して産み育てられるまち
8. 教育体制が充実したまち
9. スポーツや芸術・文化活動が盛んなまち
10. 市民が参加した地域づくりが進んでいるまち
11. 多くの人が訪れる観光・交流のまち
12. その他 ( )

問Ⅱ-4 人口維持や地域の活性化のために、他の地域から移住者を受け入れることについて、あなたはどのような考えを持っていますか。(1つのみ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 歓迎する         | 2. どちらかという歓迎する |
| 3. どちらかという歓迎しない | 4. 歓迎しない       |
| 5. その他 ( )      |                |

上記、問Ⅱ-4で「1. 歓迎する」「2. どちらかという歓迎する」と回答した方に伺います。

問Ⅱ-5 移住者を歓迎する理由は何ですか。(1つのみ)

- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 地域に活気が生まれる               | 2. 人口減少に歯止めがかかる |
| 3. 自治会・子ども会など地域活動の担い手ができる   | 4. 地域産業の担い手ができる |
| 5. 雇用や税収など、地域への経済波及効果が期待できる |                 |
| 6. その他 ( )                  |                 |

### Ⅲ. 古賀市の地域活動・情報・防災について伺います。

それぞれの選択肢ではまるものに○をつけてください。

問Ⅲ-1 過去1年間に地域活動(自治会・校区コミュニティ・ボランティア・NPOなど)に参加しましたか。(1つのみ)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 積極的に参加している(年5回以上)   | 4. 現在参加しておらず今後も参加しない |
| 2. ときどき参加している(年1~4回程度) |                      |
| 3. 現在参加していないが、今後参加したい  |                      |

「1~3」と回答された方

「4」と回答された方

どのような地域活動に参加していますか。または今後参加したいですか。(複数回答可)

その理由にあてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- |   |
|---|
| 1. 自治会(中央区、舞の里1区、小山田区など主に町名単位でのまちづくり活動: 分別収集、夏祭り、高齢者サロン、分館活動など) |
| 2. 校区コミュニティ(小学校区単位でのまちづくり活動: 清掃活動、登下校の見守りなど)                    |
| 3. 市民活動団体(ボランティア団体、NPOなど)                                       |
| 4. その他 ( )  |

- |                     |
|---------------------|
| 1. 地域活動を行う時間がない     |
| 2. 地域活動に関する情報が身近にない |
| 3. 興味ある行事が行われぬ      |
| 4. 地域活動を行う体力がない     |
| 5. 地域との関わりがわずらわしい   |
| 6. その他 ( )          |

問Ⅲ-2 あなたは自治会に加入していますか。(1つのみ)

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 加入している             | 3. 加入していない     |
| 2. 自分の地域に自治会があるか分からない | 4. 加入していたが退会した |

上記で「3. 加入していない」「4. 加入していたが退会した」と回答した方にその理由を伺います。

問Ⅲ-3 自治会に加入していない、退会した理由を選んでください。(複数回答可)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 会費の支払いに負担を感じる | 2. 自治会に関する情報が身近にない・分からない |
| 3. 役員になりたくない     | 4. 活動を行う体力がない            |
| 5. 活動を行う時間がない    | 6. 地域との関わりがわずらわしい        |
| 7. その他 ( )       |                          |



## 問Ⅲ-4 外国籍市民等と日常生活で、どの程度関わりがありますか。(1つのみ)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1. 全く関わりがない(見たことがない) | 2. 見たことがある  |
| 3. 挨拶したことがある         | 4. 話したことがある |
| 5. 交流したことがある         |             |

## 問Ⅲ-5 市の広報紙「こがんと。」を読んでいますか。(1つのみ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 毎月読む  | 3. 読まない |
| 2. たまに読む |         |

「1」または「2」と回答された方

よくご覧になるページはどれですか。  
(複数回答可)

- |                        |
|------------------------|
| 1. 表紙                  |
| 2. 巻頭ページ               |
| 3. 市からのお知らせ            |
| 4. 読者の声(あのかさ)          |
| 5. 市内店舗や工場の紹介(イイコガ探し隊) |
| 6. 図書館だより              |
| 7. 市内の出来事(Hotな話題)      |
| 8. 古賀市の自慢の人や場所の紹介(裏面)  |
| 9. その他( )              |

「3」と回答された方

その理由にあてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 他の手段で情報を得ているから    |
| 2. 読む時間がないから         |
| 3. 市政に関心がないから        |
| 4. 文字が小さくて読めないから     |
| 5. レイアウトが好みでないから     |
| 6. 内容が難しいから          |
| 7. 必要な情報がのっていないから    |
| 8. 毎回同じような内容でつまらないから |
| 9. その他( )            |

## 問Ⅲ-6 広報紙「こがんと。」以外で市の情報をどのような手段で得ていますか。最も利用するものを選んでください。(1つのみ)

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 市公式ホームページ    | 2. dボタン広報誌(KBCテレビデータ放送) |
| 3. 市公式Facebook  | 4. 市公式Twitter           |
| 5. 市公式Instagram | 6. 知人・友人                |
| 7. その他( )       |                         |

## 問Ⅲ-7 災害に備えて対策していることがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 自宅や職場などの災害リスクをハザードマップなどで把握、確認している |
| 2. 洪水や土砂災害などの災害に対し、緊急避難場所を決めている      |
| 3. 非常食などの備蓄や非常用持出袋を用意している            |
| 4. 地震に備えて自宅の耐震化の工事をしている              |
| 5. 地震に備えて家具の転倒防止をしている                |
| 6. 地域の防災訓練など防災行事に参加している              |
| 7. 特に対策はしていない                        |
| 8. その他( )                            |

## IV. 古賀市の住みやすさについて伺います。

それぞれの選択肢ではまるものに○をつけてください。

問IV-1 現在の古賀市の「住みやすさ」について、どのようにお感じですか。(1つのみ)

1. 住みやすい  
2. どちらかといえば住みやすい

3. どちらかといえば住みにくい  
4. 住みにくい

「1」または「2」と回答された方

「3」または「4」と回答された方

その理由にあてはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

その理由にあてはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

1. 郷土・ふるさとである
2. 人情が厚い
3. 自然環境が良い
4. 働きやすい環境が整っている
5. 物価が安い
6. 日常の買い物 convenient
7. 交通の便が良い
8. 医療・福祉が充実している
9. 子育て環境・支援が充実している
10. 教育環境が整っている
11. 大きな災害が少なく安心できる
12. 治安が良い
13. 観光資源や娯楽施設が豊富である
14. コミュニティが充実している
15. その他 ( )

1. 郷土・ふるさとでない
2. 人情が薄い
3. 自然環境が悪い
4. 働きやすい環境が整っていない
5. 物価が高い
6. 日常の買い物が不便
7. 交通の便が悪い
8. 医療・福祉が充実していない
9. 子育て環境・支援が充実していない
10. 教育環境が整っていない
11. 災害が起きたとき不安である
12. 治安が悪い
13. 観光資源や娯楽施設に魅力が少ない
14. コミュニティが充実していない
15. その他 ( )

問IV-2 あなたはこれからも古賀市に住み続けたいと思いますか。(1つのみ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所に移りたい |
| 3. 近くの市町村へ移りたい | 4. 県内のどこかへ移りたい  |
| 5. 県外に移りたい     | 6. 特に考えていない     |

前項、問Ⅳ-2で「2～5」と回答した方に伺います。

問Ⅳ-3 今の場所から移りたいと思う主な理由は何ですか。(3つまで)

1. 就労の機会がある場所に移りたいから
2. 商売や事業経営に有利な場所に移りたいから
3. 勤務地に近い場所に移りたいから
4. 鉄道やバスなどの交通手段が便利な場所へ移りたいから
5. 買い物が便利な場所へ移りたいから
6. 娯楽や余暇を過ごす場がある場所へ移りたいから
7. 公害やごみ処理など衛生環境が良い場所へ移りたいから
8. 道路、歩道の整備がされている場所へ移りたいから
9. 上下水道が完備されている場所へ移りたいから
10. 災害の不安が無いところに移りたいから
11. 医療体制が整備されている場所に移りたいから
12. 福祉サービスが整っている場所に移りたいから
13. 教育環境が整っている場所に移りたいから
14. 住宅が手狭など居住環境を変えたいから
15. 親(子)から独立した住まいを持ちたいから
16. しきたり、近所づきあいなどを気にせず暮らせる場所に移りたいから
17. 親(子)の近くに住みたいから
18. その他 ( )

問Ⅳ-4 今のお住まいの居住地を選んだ際に何を重視されましたか。(3つまで)

1. 職場・学校に近いこと
2. 商業施設(スーパー・小売店)などがあること
3. 病院や介護施設などがあること
4. 居住に必要な家屋・土地・家賃が安いこと
5. 魅力的な住まいの物件があること
6. 子育てに必要な施設・環境が整っていること
7. 公共交通の利便性・都市部へアクセスしやすいこと
8. 文化施設・イベントが充実していること
9. 治安がいいこと
10. 移住に必要な支援・補助金などの自治体支援があること
11. 知り合いや親戚・実家があること
12. 自然環境が良いこと
13. 大きな災害が少なく安心できること
14. 特になし
15. その他 ( )

問Ⅳ-5 居住地域として、古賀市を勧めたいと思いますか。(1つのみ)

1. はい
2. いいえ

## V. 結婚・子育てについて伺います。

それぞれの選択肢ではまるものに○をつけてください。

問V-1 あなたは、結婚していますか。(1つのみ)

- |           |           |              |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 結婚している | 2. 独身(未婚) | 3. 独身(婚姻歴あり) |
|-----------|-----------|--------------|

問V-2 現在の子どもの有無に関わらず、あなたの希望する(希望していた)子どもの人数は何人くらいですか。また、実際の(実際に持つ予定の)子どもの人数は何人くらいですか。

希望する(希望していた) 子どもの人数	人	実際の(実際に持つ予定の) 子どもの人数	人
------------------------	---	-------------------------	---

上記、問V-2で「希望する(希望していた)子どもの人数」より「実際の(実際に持つ予定の)子どもの人数」の方が少ない方に伺います。

問V-3 「実際の(実際に持つ予定の)子どもの人数」の方が少ない理由として、どのようなことが考えられると思いますか。(3つまで)

【考えられること】	1. 子育てや教育の経済的負担が大きいから
	2. 自分や配偶者(パートナー)との生活を大切にしたいから
	3. 育児の心理的、肉体的負担が大きいから
	4. 面倒を見てくれる人が近くにいないから
	5. 配偶者(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
	6. 配偶者(パートナー)が望まないから
	7. 仕事(勤めや稼業)に差し支えるから
	8. ほしいけれどもできないから
	9. 健康上の理由から
	10. 年齢的に難しい・不安があるから
	11. その他( )



全員に伺います。

問V-4 あなたは、古賀市で子育てをしたい（または、「子育てをして良かった」もしくは「子育てをしたかった」と）思いますか。（1つのみ）

1. そう思う  
2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない  
4. そう思わない

「1」または「2」と回答された方

「3」または「4」と回答された方

その理由にあてはまる番号に○をつけてください。（3つまで）

1. 自然環境が良いから  
2. 犯罪や事故が少なく安全だから  
3. 近所づきあいや地域活動があるから  
4. 公園や児童館など子どもの遊ぶ場所が多いから  
5. 子育て支援サービスが充実しているから  
6. 子どもの教育環境が整っているから  
7. 家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから  
8. 保健・医療が充実しているから  
9. その他（ ）

その理由にあてはまる番号に○をつけてください。（3つまで）

1. 自然環境が良くないから  
2. 犯罪や事故が多く危険だから  
3. 近所づきあいや地域活動があまりないから  
4. 公園や児童館など子どもが遊ぶ場所が少ないから  
5. 子育て支援サービスが充分でないから  
6. 子どもの教育環境が充分でないから  
7. 家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいないから  
8. 保健・医療が充実していないから  
9. その他（ ）

問V-5 行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援は何ですか。（3つまで）

1. 若者の就労支援  
2. 結婚支援  
3. 妊娠、出産に関する情報提供、啓発  
4. 不妊治療などの出産支援  
5. 乳幼児の保健指導や育児相談の充実  
6. 子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備  
7. 地域子育て支援拠点（親子が集まって過ごしたり、相談する場所）の整備  
8. 子育ての不安や悩みを相談できる体制づくり  
9. 保育所など子育て支援サービスの充実（待機児童解消）  
10. 教育環境の整備  
11. 小児医療体制整備など子どもの健康支援  
12. 子育てに適した住宅の供給  
13. 子育てしやすい職場環境の整備  
14. 子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み  
15. 地域で子育てを支援する活動の充実  
16. 子育ての楽しさや大切さの普及・啓発  
17. 子育てと仕事の両立意識の普及・啓発  
18. 長時間労働などを見直し、男性が育児参加しやすい環境づくり  
19. 仕事と子育てをしやすくする職場環境づくり  
20. 安定した家庭を築くことができるような就労支援の取り組み  
21. 育児休業制度等についての取組の推進  
22. 出産・育児休暇から職場復帰しやすい環境づくり（身分・給与・待遇など）  
23. その他（ ）

## VI. 仕事について伺います。

それぞれの選択肢であてはまるものに○をつけてください。

全員に伺う設問と現在仕事をしている方のみ伺う設問があります。該当する設問に回答下さい

現在仕事をしている方のみお答えください。

問VI-1 現在、自分の仕事に関してどの程度満足していますか。(各項目1つのみ)

質問内容	選択肢				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
<b>記入例</b> 右の欄に○印をつけてください。	1	2	3	4	5
1. 給料・賃金の額	1	2	3	4	5
2. 勤務時間、休日・休暇の日数	1	2	3	4	5
3. 仕事のやりがい、求められる職務と自分の適性	1	2	3	4	5
4. 仕事の内容、裁量、仕事量	1	2	3	4	5
5. 職場の福利厚生	1	2	3	4	5
6. 職場の環境、人間関係	1	2	3	4	5
7. 会社の経営の安定性	1	2	3	4	5
8. 仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5
9. 通勤時間（自宅からの距離）	1	2	3	4	5

現在仕事をしている方のみお答えください。

問VI-2 現在ならびに将来、転職・離職を考えていますか。(1つのみ)

1. 今のところ転職・離職は考えていない	2. 将来的には転職を考えている
3. 近く転職を考えている	4. 将来的には離職を考えている
5. 近く離職を考えている	
6. その他 ( )	

\* 将来的に漠然と再就職を考えている場合でも、再就職までの期間の目途が立っていない場合は、離職とします。

上記、問VI-2で2～5の「転職」「離職」のいずれかを考えていると回答した方に伺います。

問VI-3 転職・離職を考える理由は何ですか。(1つのみ)

1. 経営・事業方針の考え方の相違	2. 会社の将来性への不安
3. 社内の人間関係の不和	4. 給料への不安・不満
5. 昇進への不満	6. 雇用形態の不満
7. 独立・開業を予定、家業を継ぐ	8. 他にやりたいこと・職業がある
9. 結婚を機に	10. 出産を機に
11. 育児・介護に専念する	12. 体調不安・高齢のため
13. その他 ( )	





